



平成 26 年度 第 2 回 横浜市救急業務検討委員会 次第

平成 26 年 7 月 15 日 (火)
午後 6 時 30 分から
横浜市健康福祉総合センター
6 階 会議室

1 開会

2 今後のスケジュールについて【別紙】

3 議題

議題 1 広報のあり方について

- (1) 平成 26 年度第 1 回横浜市救急業務検討委員会発言要旨・・・【資料 1】
- (2) 救急搬送データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 1-2】

議題 2 平成 26 年度の広報の試行について

- (1) 平成 26 年度の広報の試行について・・・・・・・・・・・・・・【資料 2】
- (2) 住宅内での一般負傷による救急搬送状況・・・・・・・・・・・・・・【資料 2-2】
- (3) メディアの利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 2-3】
- (4) 平成 25 年度横浜市の広報に関するアンケート
調査報告書(抜粋)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 2-4】
- (5) 平成 25 年中の高齢者施設の救急要請状況・・・・・・・・・・・・・・【資料 2-5】

議題 3 横浜市救急受診ガイドについて

- (1) 家庭における緊急度等の判断について(国の動向)・・・・・・・・・・【資料 3】
- (2) 横浜市救急受診ガイドWEB版(案)(イメージ抜粋)・・・【資料 3-2】
- (3) 救急受診ガイド冊子版・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 3-3】
- (4) 救急受診ガイド冊子版 対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 3-4】

4 その他

ケガの予防対策パンフレットの見直し(案)について

- (1) ケガの予防対策パンフレット高齢者編の見直し(案)・・・・・・・・・・【資料 4】
- (2) ケガの予防対策パンフレットこども編の見直し(案)・・・・・・・・・・【資料 4-2】

横浜市救急業務検討委員会 委員名簿

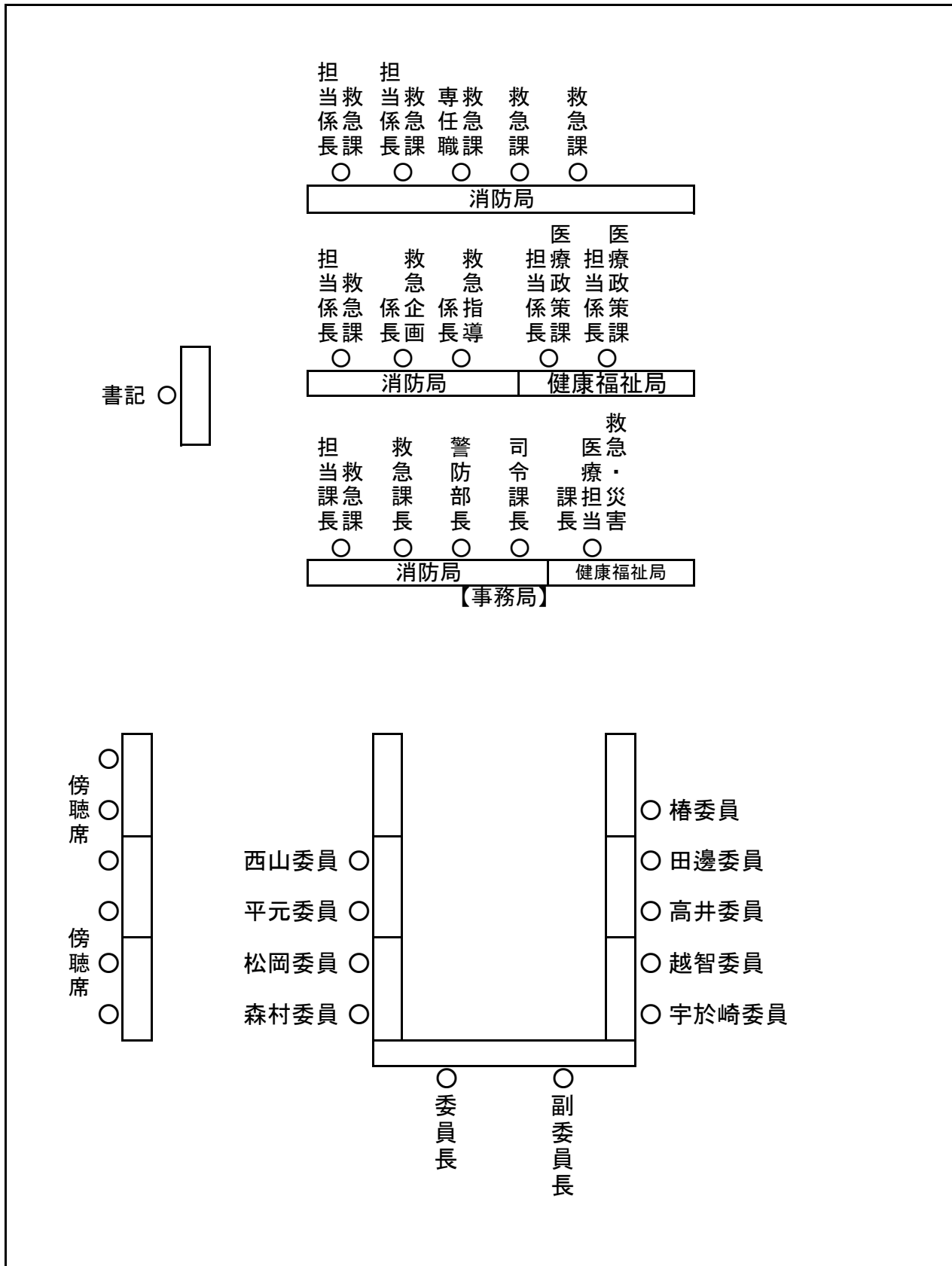
有限会社 エンカツ社 代表取締役社長	うおざき ひろみ 宇 於 崎 裕 美
Journalist Freelance	おち とよこ 越 智 登 代 子
横浜市立みなと赤十字病院 院長	しのみや けんいち 四 宮 謙 一
弁護士	たかい かえこ 高 井 佳 江 子
横浜市社会福祉協議会 社会福祉部長	たなべ ゆうこ 田 邊 裕 子
神奈川新聞社 総合メディア局 市民情報部兼デジタル編集部員	つばき まり 椿 真 理
一般社団法人横浜市医師会 常任理事	にしやま たかふみ 西 山 貴 郁
杏林大学 総合政策学部 教授	はしもと ゆうたろう 橋 本 雄 太 郎
公益社団法人横浜市病院協会 副会長	ひらもと まこと 平 元 周
一般社団法人横浜市医師会 会長	ふるや まさひろ 古 谷 正 博
NPO法人グリーンママ 緑区地域子育て支援拠点いっぽ 施設長	まつおか よしこ 松 岡 美 子
横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター 部長 横浜市メディカルコントロール協議会 会長	もりむら なおと 森 村 尚 登
公益社団法人横浜市病院協会 会長	よしい ひろし 吉 井 宏

五十音順;敬称略

計 13名

横浜市救急業務検討委員会 席次表

平成26年7月15日
18時30分から
横浜市健康福祉総合センター



今後のスケジュールについて

— 平成 26 年度 —

7 月 15 日

第 2 回

- ・データを踏まえた広報対象の絞り込み
- ・救急広報の試行について
- ・救急受診ガイド内容の決定
- ・ケガの予防対策（小児版・高齢者版）の検討

12 月

第 3 回

- ・中間報告書の確認
- | | |
|---|------------------------|
| { | 効果的な広報を実施するためのターゲットの抽出 |
| | ケガの予防対策（小児版・高齢者版）の内容決定 |

— 平成 27 年度 —

5 月

第 1 回

- ・試行結果の報告
- ・試行結果を踏まえた広報方法の検討・決定

7 月

第 2 回

- ・第 15 次報告骨子案の検討

9 月

第 3 回

- ・第 15 次報告の決定

平成 26 年度 第 1 回 横浜市救急業務検討委員会 発言要旨

— 横浜市の救急搬送の現状に関すること —

- ◆ 救急活動時間の延伸について、119 番通報から現場到着、現場滞在、現場から医療機関の時間がそれぞれ延びているのか。
- ◆ 現場滞在時間を短くするためには、市民に対して傷病者の情報を正確に救急隊へ伝える旨の理解を求めるといった、入口対策も必要。
- ◆ 高齢化がどれくらい救急業務に影響しているかは、年齢層別の救急車の利用率が必要。
- ◆ 救急搬送された後の初診時傷病程度について、年代別に推移を見ると、とるべき対策がそれぞれのケースで違ってくる。
- ◆ 救急搬送人員の割合は高齢者が増加しているが、絶対値では高齢者以外の年代も増加しているはず。そういった統計も駆使して問題点のあぶり出しをしてほしい。
- ◆ かかりつけ医がない在宅介護の方が看取りのために救急車を呼ぶことが課題。
- ◆ 65 歳以上の救急車の利用率を約 5% に抑えるようにするなど数値目標を設定し、年齢層ごとに、経時的に見ていくことで、突破口が開くのではないか。
- ◆ 病院が転院搬送のために救急要請するのは午前中が多い。救急隊を増隊するだけでなく別の社会政策を考えていかないといけない。

— 広報に関すること —

- ◆ 高齢者向け住宅など中間施設での救急車を呼ぶ際のルール作りや施設関係者への啓蒙も視野に入れてはどうか。
- ◆ 近所付き合いが減り相談できる人がいない中で、救急車を呼ばなくても解決できる方法を市民にどう伝えるか。また、救急車を呼ぶ状況をシミュレーションすることも大切。
- ◆ 高齢者へは、孫からおじいちゃんおばあちゃんへお願いするような手法が効果的。
- ◆ 子育て支援拠点や意識が高い地域のボランティアなどを巻き込んでシミュレーションを行ってはどうか。
- ◆ 往診システムの拡大、在宅医療の充実、自宅や施設での見取りなど総合的な施策を横浜市として取り組まなければいけないのではないか。
- ◆ 広報する側がデータから見てどこに問題があるのか解析し、検討した上で広報の仕方
も考えていかなければいけない。

— 救急受診ガイドに関すること —

- ◆ 救急受診ガイドとはどういうものか。 → 次回委員会では委員の皆様へ配付する。
- ◆ 先行している都市から学ぶべき。すでに作成している東京都は色分けや機種による見え方などを工夫している。情報共有しながら効率よく進めるべき。
- ◆ 救急受診ガイドを機能させるためには、両輪の輪と言われている救急相談センター（#7119）の整備も是非検討してもらいたい。

救急搬送データ

平成 26 年度第 1 回横浜市救急業務検討委員会における各委員からの御意見を踏まえた救急統計の集計結果をお示しします。

1 平均救急活動時間の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1

2 年代別救急車の利用率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3

3 年代別傷病程度別搬送人員の状況・・・・・・・・・・・・・・・・P4

4 高齢者施設からの救急搬送状況・・・・・・・・・・・・・・・・P5

5 年代別時間帯別救急出場件数の状況・・・・・・・・・・・・・・・・P6

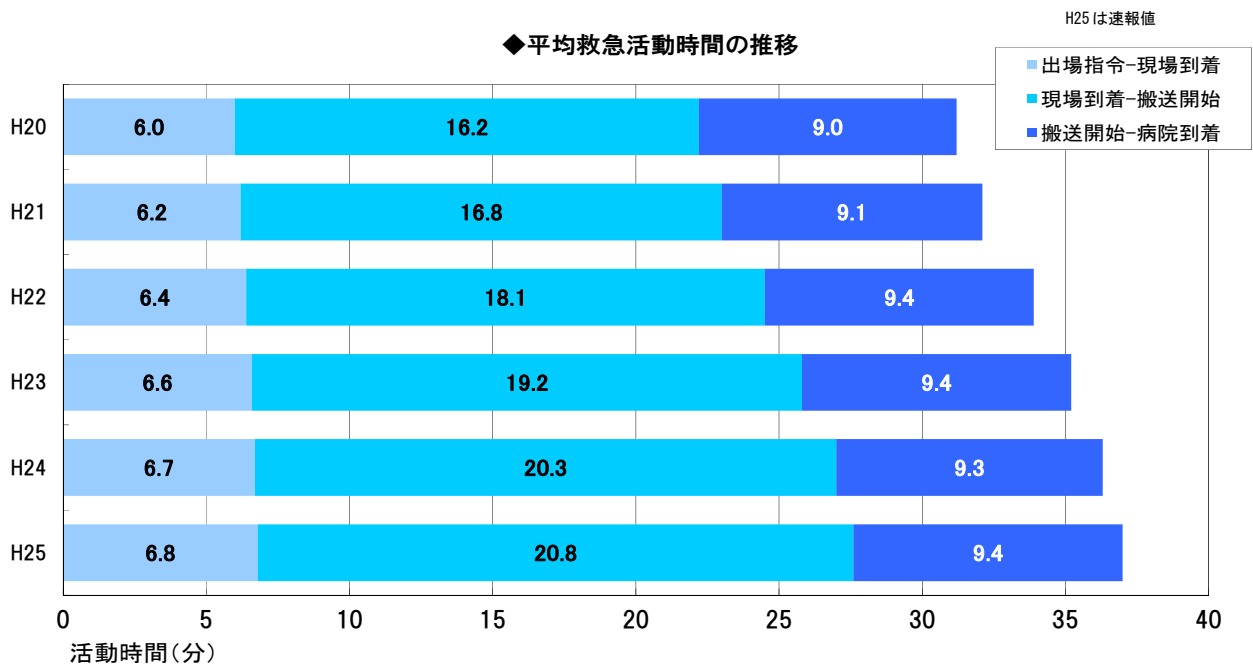
6 年代別時間帯別救急出場件数（軽症）の状況・・・・・・・・P7

7 行政区ごとの年齢別人口の割合及び増加率・・・・・・・・P8

8 平成 25 年中 65 歳以上の要請区・居住区別搬送人員・・・・・・・・P9

1 平均救急活動時間の推移

平均救急活動時間は5年間で出場指令から現場到着までは0.8分、現場到着から搬送開始までは4.6分、搬送開始から病院到着までは0.4分の延伸傾向となっており、全体の救急活動時間は5年間で5.8分延伸している。

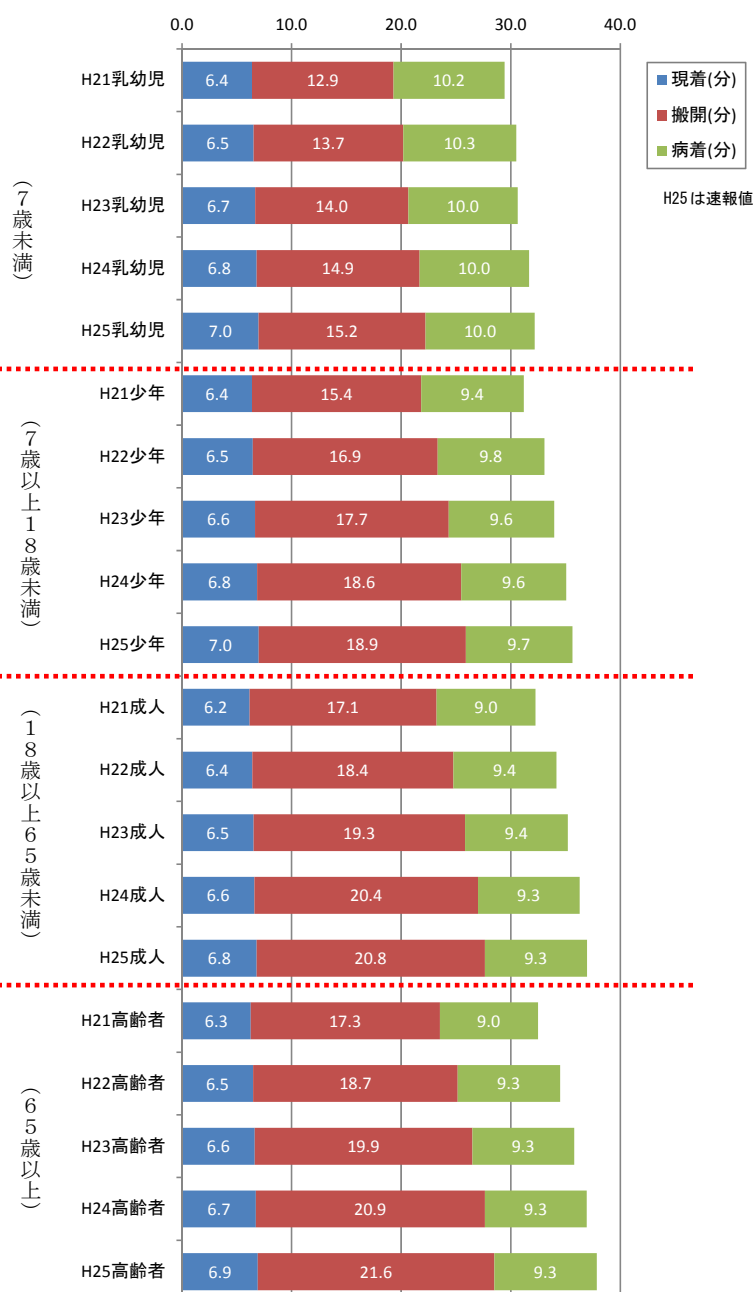


各年代ごとの過去5年の平均救急活動時間は、現場到着から搬送開始までは乳幼児が2.3分、少年が3.5分、成人が3.7分、高齢者が4.3分と年代が上がるにつれて、より延伸する傾向にある。

出場指令から現場到着までと搬送開始から病院到着までは、各年代が同様に若干の延伸傾向が大きな変化はないが、乳幼児の搬送開始から病院到着までが若干短縮した。

◆年代別平均救急活動時間の推移

年・年代	現着(分)	搬開(分)	病着(分)
H21乳幼児	6.4	12.9	10.2
H22乳幼児	6.5	13.7	10.3
H23乳幼児	6.7	14.0	10.0
H24乳幼児	6.8	14.9	10.0
H25乳幼児	7.0	15.2	10.0
H21少年	6.4	15.4	9.4
H22少年	6.5	16.9	9.8
H23少年	6.6	17.7	9.6
H24少年	6.8	18.6	9.6
H25少年	7.0	18.9	9.7
H21成人	6.2	17.1	9.0
H22成人	6.4	18.4	9.4
H23成人	6.5	19.3	9.4
H24成人	6.6	20.4	9.3
H25成人	6.8	20.8	9.3
H21高齢者	6.3	17.3	9.0
H22高齢者	6.5	18.7	9.3
H23高齢者	6.6	19.9	9.3
H24高齢者	6.7	20.9	9.3
H25高齢者	6.9	21.6	9.3



2 年代別救急車の利用率

年代別救急車の利用率は、50歳代までは平均値より低く、60歳代はほぼ平均値と同様、70歳以上は平均値より高くなっている。

◆年代別救急車の利用率

	21年			22年			23年			24年			25年		
	人口	搬送人員	利用率	人口	搬送人員	利用率	人口	搬送人員	利用率	人口	搬送人員	利用率	人口	搬送人員	利用率
10歳未満	325,984	10,824	3.32%	324,833	10,548	3.25%	318,623	10,495	3.29%	315,274	10,737	3.41%	313,456	10,388	3.31%
10歳代	321,144	5,920	1.84%	324,391	5,557	1.71%	334,594	5,587	1.67%	332,455	5,605	1.69%	332,976	5,742	1.72%
20歳代	444,924	11,177	2.51%	439,483	11,013	2.51%	420,065	10,946	2.61%	415,924	10,786	2.59%	409,677	10,118	2.47%
30歳代	602,363	12,190	2.02%	587,281	12,517	2.13%	578,108	12,059	2.09%	555,751	11,424	2.06%	534,952	11,097	2.07%
40歳代	527,031	11,315	2.15%	545,680	11,921	2.18%	569,749	12,646	2.22%	586,796	13,075	2.23%	601,832	13,351	2.22%
50歳代	458,909	11,729	2.56%	440,503	11,856	2.69%	434,874	12,096	2.78%	430,626	11,911	2.77%	431,529	12,272	2.84%
60歳代	465,364	17,734	3.81%	483,231	18,851	3.90%	491,401	19,434	3.95%	488,580	19,080	3.91%	484,055	19,397	4.01%
70歳代	314,934	23,748	7.54%	323,209	25,542	7.90%	335,458	27,291	8.14%	348,638	27,934	8.01%	359,746	28,869	8.02%
80歳代	133,773	21,759	16.27%	142,372	25,029	17.58%	151,172	27,107	17.93%	160,019	29,045	18.15%	169,707	30,813	18.16%
90歳以上	25,820	6,779	26.25%	27,625	7,988	28.92%	29,068	8,872	30.52%	31,267	9,116	29.16%	33,195	9,363	28.21%
合計	3,620,246	133,175	3.68%	3,638,608	140,822	3.87%	3,663,112	146,533	4.00%	3,665,330	148,713	4.06%	3,671,125	151,410	4.12%

※H25は速報値

軽症のみの年代別救急車の利用率は、10歳未満、70歳代以上が平均値より高くなっている。

◆年代別救急車の利用率（軽症のみ）

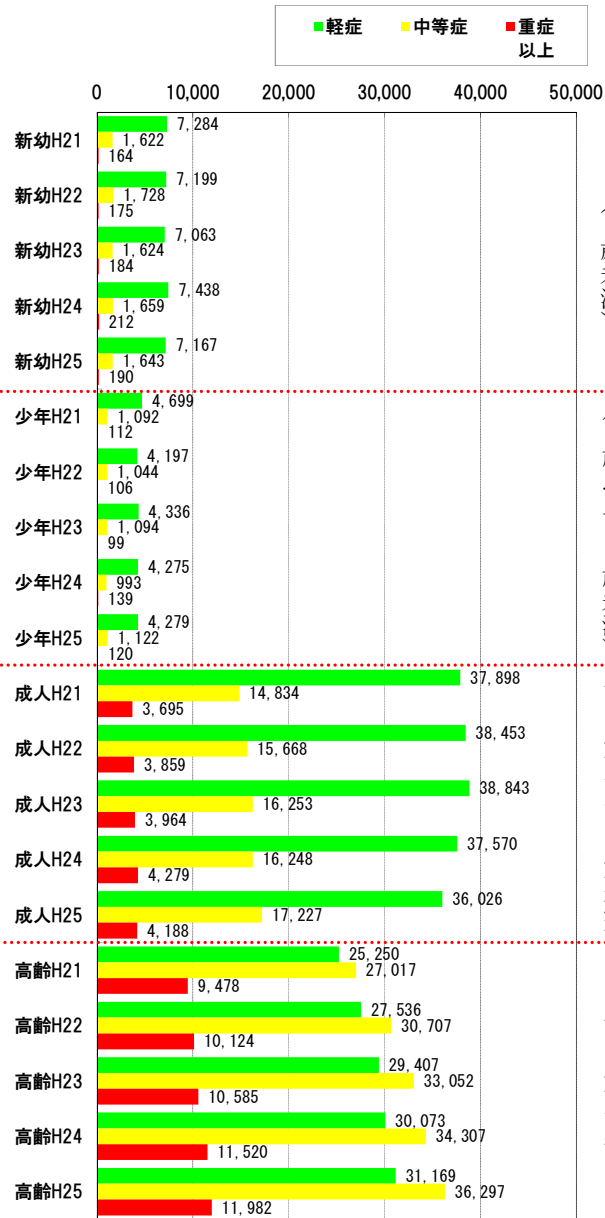
	21年			22年			23年			24年			25年		
	人口	搬送人員	利用率	人口	搬送人員	利用率	人口	搬送人員	利用率	人口	搬送人員	利用率	人口	搬送人員	利用率
10歳未満	325,984	8,722	2.68%	324,833	8,344	2.57%	318,623	8,335	2.62%	315,274	8,601	2.73%	313,456	8,252	2.63%
10歳代	321,144	4,660	1.45%	324,391	4,353	1.34%	334,594	4,346	1.30%	332,455	4,330	1.30%	332,976	4,365	1.31%
20歳代	444,924	8,638	1.94%	439,483	8,316	1.89%	420,065	8,369	1.99%	415,924	7,940	1.91%	409,677	7,304	1.78%
30歳代	602,363	8,786	1.46%	587,281	8,909	1.52%	578,108	8,508	1.47%	555,751	8,006	1.44%	534,952	7,498	1.40%
40歳代	527,031	7,680	1.46%	545,680	8,005	1.47%	569,749	8,423	1.48%	586,796	8,675	1.48%	601,832	8,536	1.42%
50歳代	458,909	6,968	1.52%	440,503	7,160	1.63%	434,874	7,124	1.64%	430,626	6,878	1.60%	431,529	6,860	1.59%
60歳代	465,364	9,199	1.98%	483,231	9,630	1.99%	491,401	10,024	2.04%	488,580	9,580	1.96%	484,055	9,573	1.98%
70歳代	314,934	10,639	3.38%	323,209	11,351	3.51%	335,458	11,936	3.56%	348,638	11,967	3.43%	359,746	12,440	3.46%
80歳代	133,773	7,955	5.95%	142,372	9,129	6.41%	151,172	9,982	6.60%	160,019	10,681	6.67%	169,707	11,138	6.56%
90歳以上	25,820	1,884	7.30%	27,625	2,188	7.92%	29,068	2,602	8.95%	31,267	2,667	8.53%	33,195	2,646	7.97%
合計	3,620,246	75,131	2.08%	3,638,608	77,385	2.13%	3,663,112	79,649	2.17%	3,665,330	79,325	2.16%	3,671,125	78,612	2.14%

※H25は速報値

3 年代別傷病程度別搬送人員の状況

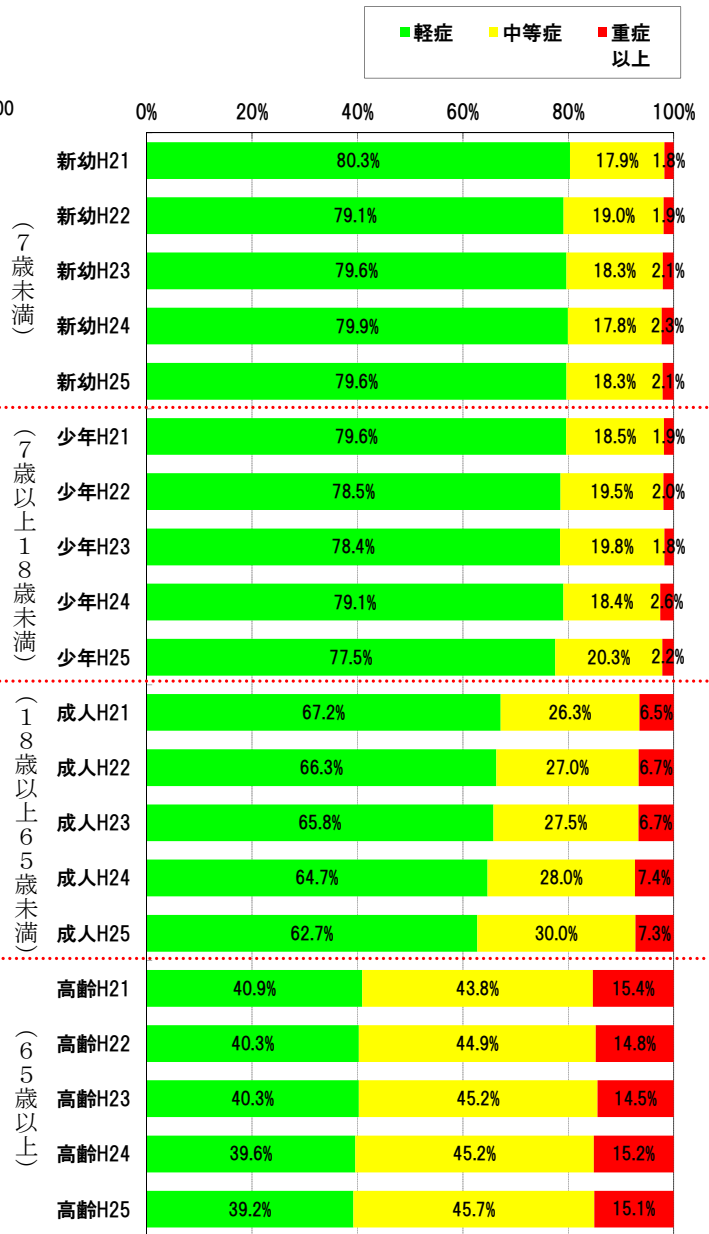
搬送人員を年代別傷病程度別で見ると、高齢者の救急搬送人員は増加が顕著で、中等症の割合が他の年代より高く約45%程度ある。一方、新生児から成人までの軽症は減少傾向、中等症は特に変化がないか微増である。

過去5年間
年代・傷病程度別搬送人員の状況



※H25は速報値

過去5年間
年代・傷病程度別搬送人員割合の状況

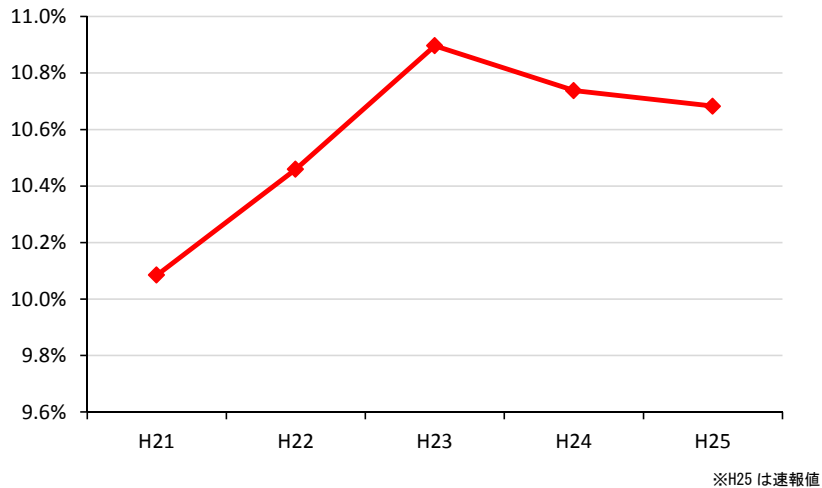


※H25は速報値

4 高齢者施設からの救急搬送状況

高齢者搬送のうち、高齢者施設からの搬送人員割合は、平成 24 年に若干減少し、25 年は前年と同様となった。搬送人員で見ると、毎年増加傾向にある。

高齢者搬送のうち
高齢者施設からの搬送人員割合の推移



◆高齢者搬送人員と高齢者施設からの搬送人員

年別	H21		H22		H23		H24		H25	
高齢者搬送人員	61,748		68,368		73,054		75,900		79,448	
高齢者施設からの搬送人員	6,277	10.2%	7,151	10.5%	7,960	10.9%	8,150	10.7%	8,487	10.7%

※H25 は速報値

5 年代別時間帯別救急出場件数の状況

時間帯別で救急出場件数を見ると、全体的には8時から21時までが多い傾向にある。さらに年代別で見ると、10歳未満は12時～21時、10歳代は11時～20時、20～50歳代は18時～22時、60歳以上は8時～19時が多い傾向にある。

◆年代別時間帯別救急車の利用状況

	合計	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代
合計	151,410	10,388	5,742	10,118	11,097	13,351	12,272	19,397	28,869	30,813	9,017	346
0時	4,418	2.9%	2.6%	4.7%	4.6%	4.3%	3.8%	2.9%	2.2%	1.8%	1.8%	2.9%
1時	3,729	2.4%	2.2%	4.1%	3.8%	3.3%	2.8%	2.5%	2.1%	1.6%	1.6%	0.9%
2時	3,239	2.2%	1.7%	3.2%	3.4%	2.7%	2.5%	2.3%	1.7%	1.5%	1.4%	1.7%
3時	2,960	1.4%	1.4%	2.9%	2.9%	2.6%	2.3%	1.9%	1.8%	1.6%	1.4%	1.4%
4時	3,016	1.4%	1.4%	2.6%	2.4%	2.4%	2.0%	2.3%	2.0%	1.6%	1.8%	1.2%
5時	3,228	1.2%	1.4%	2.6%	2.7%	2.4%	2.5%	2.3%	2.1%	2.0%	1.6%	2.0%
6時	4,378	1.5%	2.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.5%	3.1%	3.1%	2.8%	2.3%	1.7%
7時	5,832	2.0%	3.1%	4.1%	3.9%	4.2%	4.3%	3.9%	4.1%	3.8%	4.1%	4.0%
8時	7,489	2.7%	4.2%	4.8%	5.0%	4.9%	4.8%	5.0%	5.2%	5.5%	5.7%	3.8%
9時	8,697	3.5%	3.8%	4.3%	4.7%	4.8%	5.1%	5.8%	6.1%	7.3%	7.9%	8.4%
10時	8,859	3.8%	4.6%	4.4%	4.3%	4.7%	5.0%	5.8%	6.8%	7.3%	7.2%	9.8%
11時	8,226	4.4%	5.3%	4.1%	4.3%	4.5%	4.7%	5.5%	6.0%	6.5%	6.3%	6.6%
12時	8,092	5.4%	5.8%	4.0%	4.0%	4.5%	4.7%	5.0%	5.8%	6.3%	6.3%	4.3%
13時	8,003	5.7%	5.8%	4.0%	4.1%	4.6%	4.9%	5.4%	5.6%	5.8%	6.2%	6.4%
14時	7,498	5.3%	5.5%	3.9%	4.5%	4.1%	4.5%	4.7%	5.3%	5.4%	5.3%	5.2%
15時	7,603	6.0%	6.0%	3.9%	4.3%	4.0%	4.4%	4.9%	5.1%	5.7%	5.6%	7.5%
16時	7,810	6.6%	6.5%	4.0%	4.3%	4.2%	4.2%	5.0%	5.4%	5.6%	5.7%	6.6%
17時	8,055	7.6%	7.6%	4.3%	4.5%	4.7%	4.6%	5.0%	5.3%	5.5%	5.6%	5.5%
18時	8,058	7.3%	5.8%	5.1%	5.0%	5.2%	5.2%	4.9%	5.1%	5.4%	5.3%	2.6%
19時	7,660	7.1%	5.9%	5.4%	4.8%	5.2%	5.1%	5.1%	4.7%	4.6%	4.4%	5.2%
20時	7,052	6.6%	5.1%	4.9%	5.2%	5.2%	4.8%	4.8%	4.4%	3.8%	4.1%	2.9%
21時	6,493	5.2%	4.7%	5.0%	4.6%	5.2%	5.5%	4.4%	3.8%	3.3%	3.2%	2.6%
22時	5,885	4.4%	3.9%	5.6%	4.9%	4.8%	4.5%	4.0%	3.5%	2.8%	2.7%	2.6%
23時	5,130	3.4%	3.5%	4.8%	4.6%	4.3%	4.3%	3.5%	2.9%	2.4%	2.5%	4.0%

… 5%以上を抽出

6 年代別時間帯別救急出場件数（軽症）の状況

時間帯別で救急出場件数を見ると、全体的には17時から20時までが多い傾向にある。さらに年代別で見ると、10歳未満は12時～21時、10歳代は11時～20時、20～60歳代は18時～22時、70歳以上は8時～18時が多い傾向にある。

◆年代別時間帯別救急車の利用状況（軽症）

速報値
単位：人

	合計	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代
合計	78,612	8,252	4,365	7,304	7,498	8,536	6,860	9,573	12,440	11,138	2,557	89
0時	2,686	3.1%	2.4%	4.9%	5.0%	4.8%	4.2%	3.3%	2.4%	1.9%	2.1%	2.2%
1時	2,227	2.4%	2.3%	4.2%	4.1%	3.5%	3.2%	2.6%	2.4%	1.8%	2.3%	1.1%
2時	1,921	2.3%	1.5%	3.4%	3.5%	2.9%	2.7%	2.5%	2.0%	1.7%	1.9%	3.4%
3時	1,682	1.5%	1.4%	3.0%	3.0%	2.7%	2.5%	1.9%	1.7%	1.8%	1.8%	3.4%
4時	1,675	1.5%	1.4%	2.7%	2.3%	2.3%	2.1%	2.5%	2.2%	1.9%	2.5%	0.0%
5時	1,797	1.1%	1.4%	2.7%	2.7%	2.7%	2.6%	2.4%	2.3%	2.3%	2.0%	4.5%
6時	2,330	1.5%	2.1%	3.1%	3.2%	3.3%	3.4%	3.2%	3.2%	3.2%	2.7%	4.5%
7時	3,055	2.1%	3.2%	4.5%	4.1%	4.4%	4.4%	3.8%	4.1%	4.0%	4.5%	3.4%
8時	3,643	2.7%	4.5%	4.7%	5.1%	4.8%	4.7%	4.5%	5.0%	5.2%	5.2%	3.4%
9時	3,718	2.9%	3.5%	4.1%	4.5%	4.5%	4.5%	5.1%	5.3%	6.2%	5.9%	9.0%
10時	3,804	3.5%	4.4%	4.0%	3.5%	4.3%	4.5%	5.1%	5.9%	6.3%	6.3%	11.2%
11時	3,753	4.0%	5.0%	3.8%	4.0%	4.2%	4.0%	4.9%	5.5%	6.0%	6.3%	5.6%
12時	3,781	5.2%	5.8%	3.9%	3.6%	4.1%	4.0%	4.5%	5.4%	6.1%	5.5%	3.4%
13時	3,910	5.5%	5.9%	3.7%	3.7%	4.3%	4.5%	5.5%	5.3%	5.7%	5.9%	1.1%
14時	3,805	5.2%	5.7%	3.8%	4.4%	4.1%	4.4%	4.6%	5.3%	5.7%	5.1%	7.9%
15時	3,785	5.9%	6.3%	3.8%	4.2%	3.6%	4.2%	4.6%	5.0%	5.6%	5.6%	4.5%
16時	3,929	6.7%	6.8%	4.0%	4.3%	4.2%	3.9%	4.5%	5.3%	5.5%	5.4%	6.7%
17時	4,188	7.8%	7.8%	4.0%	4.7%	4.6%	4.6%	4.8%	5.4%	5.2%	5.7%	6.7%
18時	4,314	7.4%	6.0%	5.3%	5.0%	5.2%	5.2%	5.1%	5.0%	5.6%	5.0%	2.2%
19時	4,387	7.6%	5.9%	5.5%	5.2%	5.4%	5.4%	5.8%	5.2%	4.9%	4.7%	4.5%
20時	4,080	7.0%	5.0%	5.2%	5.3%	5.3%	5.2%	5.5%	4.7%	4.2%	4.4%	4.5%
21時	3,722	5.3%	4.6%	5.1%	4.5%	5.4%	5.9%	5.1%	4.3%	3.7%	3.3%	1.1%
22時	3,467	4.5%	3.7%	5.6%	5.4%	5.1%	5.1%	4.5%	3.9%	3.0%	3.1%	3.4%
23時	2,953	3.3%	3.4%	4.8%	4.8%	4.4%	4.6%	3.8%	3.2%	2.6%	2.7%	2.2%

… 5%以上を抽出

7 行政区ごとの年齢別人口の割合及び増加率

高齢者の割合（高齢率）は27.5%の栄区、年少人口割合は17.4%の都筑区が高い。

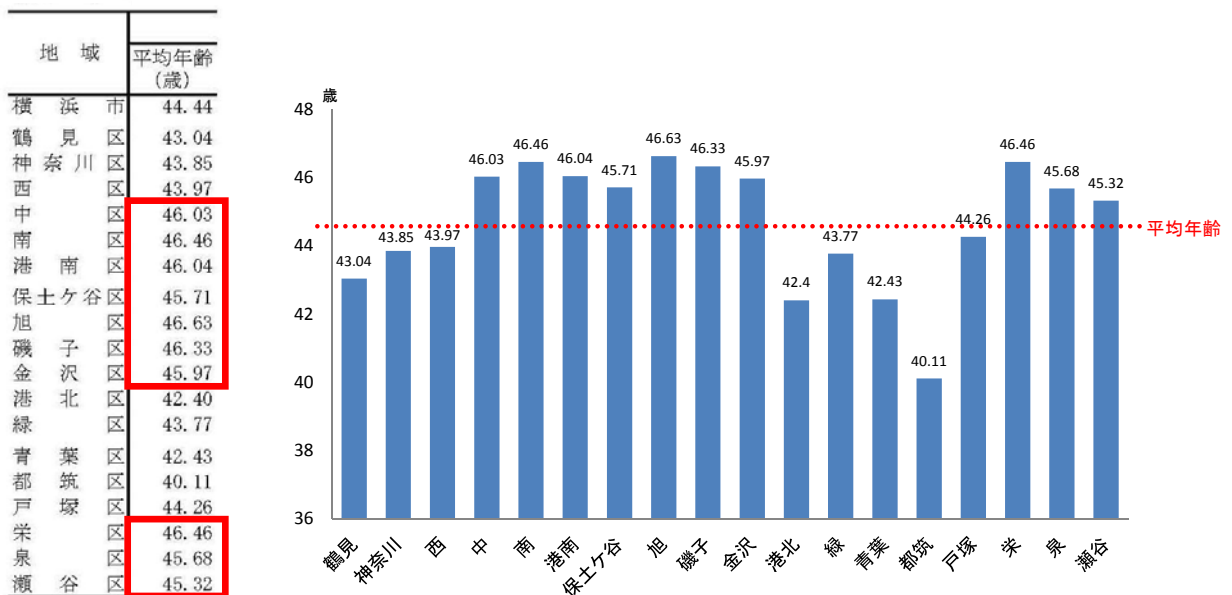
行政区別に年齢3区分を見ると、**高齢者の割合は全ての区で上昇**した。中でも、栄区が最も高く、次いで旭区、磯子区の順となっている。

一方、年少人口は都筑区が最も高く、次いで青葉区、緑区の順となっている。

◆行政区の年齢（3区分）別人口の割合及び人口増加率（平成25年、26年）

地域	年齢別割合 (%)						平成25年中の人口増加率 (%)				
	平成25年			平成26年			総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上					
横浜市	13.0	65.0	21.3	12.9	64.3	22.1	0.17	△ 0.81	△ 0.93	4.13	
鶴見区	13.2	67.3	18.8	13.2	66.6	19.4	1.21	1.32	0.24	4.66	
神奈川区	11.5	68.0	19.7	11.5	67.3	20.4	0.44	0.30	△ 0.54	3.91	
西区	10.7	69.2	18.9	10.8	68.6	19.3	0.44	1.14	△ 0.34	2.94	
中区	10.4	63.6	20.9	10.3	62.9	21.6	△ 0.02	△ 0.54	△ 1.02	3.29	
南区	10.8	64.7	23.7	10.7	63.9	24.6	△ 0.22	△ 1.03	△ 1.49	3.61	
港南区	12.5	63.3	24.1	12.3	62.4	25.3	△ 0.49	△ 2.07	△ 1.95	4.18	
保土ヶ谷区	11.8	64.3	23.4	11.6	63.6	24.2	△ 0.21	△ 1.88	△ 1.20	3.34	
旭区	12.6	61.4	25.8	12.4	60.6	26.8	△ 0.47	△ 1.57	△ 1.81	3.26	
磯子区	12.0	63.1	24.6	12.0	62.1	25.5	0.17	0.21	△ 1.30	3.94	
金沢区	12.5	63.3	23.7	12.3	62.3	24.9	△ 0.74	△ 2.38	△ 2.30	4.27	
港北区	12.4	69.4	17.5	12.5	68.8	18.1	1.23	1.41	0.35	4.64	
緑区	14.3	64.7	20.9	14.1	64.0	21.8	0.32	△ 0.82	△ 0.81	4.63	
青葉区	14.7	67.7	17.5	14.4	67.0	18.5	0.25	△ 1.94	△ 0.71	5.79	
都筑区	17.6	66.2	14.5	17.4	65.7	15.2	0.90	△ 0.32	0.20	5.69	
戸塚区	14.1	63.9	21.8	14.0	63.1	22.7	0.07	△ 0.92	△ 1.15	4.31	
栄区	13.2	60.1	26.5	13.0	59.2	27.5	△ 0.63	△ 1.57	△ 2.22	3.43	
泉区	13.5	61.9	24.2	13.3	61.1	25.3	△ 0.39	△ 2.36	△ 1.67	3.96	
瀬谷区	14.1	61.4	24.3	13.7	60.8	25.2	△ 0.26	△ 2.75	△ 1.22	3.61	

◆行政区の平均年齢



8 平成 25 年中 65 歳以上の要請区・居住区別搬送人員

65 歳以上の要請区別搬送人員は、鶴見区が最も多く、次いで戸塚区、旭区、港北区の順となっている。また、居住区別搬送人員は、南区が最も多く、次いで鶴見区、旭区、戸塚区の順となっている。

傷病者居住区

	計	鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	市外	
要請区	鶴見	5,934	5,473	69	3	9	8	4	7	6	4	4	41	7	3	8	9	4	5	2	268
	神奈川	5,151	71	4,592	30	21	29	9	59	24	17	11	89	31	4	10	10	7	5	1	131
	西	2,829	23	104	1,917	63	64	19	121	43	30	32	39	13	12	12	25	9	14	19	270
	中	4,709	17	34	60	3,760	184	44	39	35	83	22	11	9	6	7	28	18	18	10	324
	南	5,492	5	9	20	68	5,061	63	27	14	60	17	7	2		1	17	8	4	2	107
	港南	5,162	9	10	7	21	154	4,472	14	5	163	57	4	1	1	5	55	84	6	2	92
	保土ヶ谷	4,758	10	48	61	24	75	12	4,244	80	11	10	12	12	2	4	23	1	8	14	107
	旭	5,874	18	17	24	33	32	18	127	5,211	14	5	13	64	4	4	17	2	29	93	149
	磯子	4,014	2	5	4	50	67	85	5	4	3,617	86	2	2	1	5	5	12	2	3	57
	金沢	4,774	8	3	2	10	28	41	7	3	91	4,335	3	2	2	1	10	17	3	4	204
	港北	5,705	111	146	14	11	21	7	30	11	9	6	4,910	51	11	84	9	7	9	1	257
	緑	3,424	14	49	11	6	8	7	29	48	3	4	34	2,877	86	41	6	4	5	8	184
	青葉	4,096	10	6	2	4	8	2	8	21		1	32	65	3,440	66	3	2	4	1	421
	都筑	2,550	19	24	7	6	7	8	15	13	3	5	75	44	54	2,052	4	1	5	5	203
	戸塚	5,898	11	14	9	26	63	131	72	34	26	17	8		4	2	5,031	71	161	14	204
	栄	2,711	4	5	4	7	9	44	2		26	29	2			1	38	2,402	8	1	129
	泉	3,574	6	10	11	9	16	14	18	77	11	4	5		1	1	151	13	3,040	81	106
	瀬谷	2,785	6	7	1	5	12	12	20	91	10	5	6		4	4	15	2	41	2,465	79
	市外	8								1		1									6
	計	79,448	5,817	5,152	2,187	4,133	5,846	4,992	4,844	5,721	4,178	4,651	5,293	3,180	3,635	2,308	5,456	2,664	3,367	2,726	3,298

平成 26 年度の広報の試行について

— 前回の御意見 —

- ◆ 広報のターゲットを決めて、そこを突破口とする。
→データから見てどこに問題があるのか解析し、検討した上で広報の仕方を考える。
→大阪府の #7119 の利用者は、ほとんどが子育て世代
→高齢者へは、孫からおじいちゃんおばあちゃんへお願いするような手法が効果的
- ◆ 興味がない人たちにも、広く広報をする必要がある。
→テレビ・新聞・ラジオなどを活用した広報
- ◆ 救急車を呼ばないようにするためのセーフティネットをつくらなければいけない。
→ご近所同士の助け合いの強化
→休日夜間診療所などの広報
- ◆ 高齢者施設に救急車を呼ぶ際のルール作りを促す。
→救急搬送に際してどういうことをして欲しいか、間接的に促して施設でルールを作ってもらうことも必要。

— 試行実施について —

前回の御意見を踏まえ、来年度の広報の方法決定に向けた取組として、試行的に次のことを行います。

1 ケガによる救急要請の多い地域に広報を行います。

ケガによる救急要請が多い地域を抽出し、その地域へケガ予防について、重点的に広報・啓発を行います。

(資料 2-2) 住宅内での一般負傷による救急要請状況

2 テレビ・新聞等を活用した広報を実施します。

一度に広く広報を行うことができる方法を活用し、集中的に広報を行います。

(資料 2-3) メディアの利用状況

(資料 2-4) 横浜市の広報に関するアンケート調査

3 高齢者施設に対して、救急車を呼ぶ際のルール作りを促します。

65 歳以上の救急要請の約 10% が高齢者施設からの要請であり、救急隊による応急処置を希望しない要請もあることから、

- ①救急隊の実施する応急処置の内容の情報提供をする。
- ②救急隊が病院連絡をする際に必要となる事項などをお伝えし、施設内で救急車を呼ぶ際の伝達事項などのルール作りの協力を促す。

などの依頼をします。

また、容態が悪化する前の早めの受診の呼びかけを実施します。

(資料 2-5) 高齢者施設の救急要請状況

住宅内での一般負傷による救急搬送状況

平成 24 年中

行政区別		町丁目別			
要請場所 行政区	合計	要請場所 町丁目	集計	年齢※	程度別
1 鶴見	1,144	1 泉区 A	198	①80歳代59人②70歳代41人③0~9歳36人	①軽症125人②中等症58人③重症以上15人
2 港北	1,106	2 戸塚区 B	119	①80歳代26人②70歳代19人③0~9歳代17人	①軽症77人②中等症39人③重症以上3人
3 戸塚	993	3 泉区 C	102	①70歳代33人②80歳代23人③0~9歳10人	①軽症60人②中等症39人③重症以上3人
4 旭	983	4 港南区 D	94	①80歳代24人②60歳代19人②70歳代19人③0~9歳11人	①軽症63人②中等症28人③重症以上3人
5 神奈川	966	5 保土ヶ谷区 E	80	①70歳代27人②80歳代21人③90歳以上8人	①軽症38人②中等症33人③重症以上9人
6 南	909	6 青葉区 F	64	①80歳代22人②0~9歳11人③70歳代9人	①軽症39人②中等症23人③重症以上2人
7 保土ヶ谷	859	7 緑区 G	62	①80歳代23人②70歳代17人	①軽症38人②中等症22人③重症以上2人
8 金沢	821	8 神奈川区 H	61	①70歳代17人②80歳代12人	①軽症37人②中等症17人③重症以上7人
9 青葉	821	9 旭区 I	58	①70歳代18人②80歳代25人③90歳以上15人	①軽症39人②中等症18人③重症以上1人
10 港南	793	10 栄区 J	57	①70歳代16人②80歳代13人	①軽症37人②中等症19人③重症1人
11 磯子	694	11 戸塚区 K	54	①80歳代19人②0~9歳10人	①軽症36人②中等症13人③重症以上5人
12 中	661	12 戸塚区 L	53	①70歳代23人②80歳代12人	①軽症34人②中等症17人③重症以上2人
13 泉	612	13 戸塚区 M	53	①80歳代15人②0~9歳代9人	①軽症40人②中等症12人③重症以上1人
14 都筑	524	14 旭区 N	52	①80歳代15人②70歳代10人③0~9歳9人	①軽症33人②中等症18人③重症以上1人
15 緑	523	15 戸塚区 O	52	①80歳代15人②70歳代11人③0~9歳8人	①軽症33人②中等症19人
16 栄	454	16 港北区 P	50	①80歳代21人②70歳代10人	①軽症25人②中等症23人③重症以上2人
17 瀬谷	450	17 緑区 Q	48	①80歳代18人②70歳代9人	①軽症32人②中等症16人
18 西	407	18 港北区 R	47	①0~9歳9人①70歳代9人①80歳代9人	①軽症31人②中等症13人③重症以上3人
		19 泉区 S	46	①80歳代12人②70歳代9人③0~9歳代8人	①軽症25人②中等症17人③重症以上4人
		20 戸塚区 T	45	①0~9歳14人②80歳代13人③70歳代7人	①軽症32人②中等症13人
		21 戸塚区 U	45	①70歳代12人①80歳代12人②0~9歳代7人	①軽症27人②中等症14人③重症以上4人
		22 旭区 V	43	①80歳代11人②0~9歳9人③70歳代8人	①軽症23人②中等症17人③重症以上3人
		23 戸塚区 W	43	①80歳代15人②70歳代9人③0~9歳8人	①軽症27人②中等症12人③重症以上4人
		24 旭区 X	42	①70歳代18人②80歳代10人	①軽症20人①中等症20人②重症以上2人
		25 戸塚区 Y	42	①70歳代9人②90歳以上8人③50歳代7人③80歳代7人	①軽症22人②中等症20人
		総計	13,720		

※ 年齢は、上位の年齢を記載しているため、その他の年齢については、表記をしません。

— 平成 25 年中 —

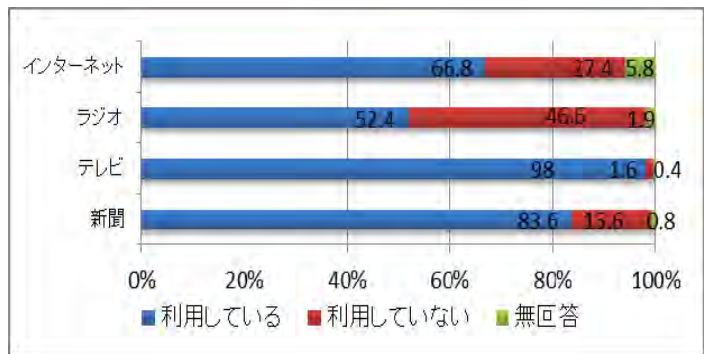
行政区別			町丁目別					
要請場所 行政区	集計	前年度か らの増減	要請場所 町丁目	集計	年齢※	程度別		
1	鶴見	1,182	3.3%	1	泉区 A	166	①80歳代49人②70歳代35人③0～9歳22人	①軽症90人②中等症65人③重症以上11人
2	旭	1,119	13.8%	2	戸塚区 B	139	①80歳代35人②0～9歳31人③70歳代26人	①軽症84人②中等症46人③重症以上9人
3	港北	1,102	-0.4%	3	港南区 D	116	①70歳代30人②80歳代23人③60歳代22人	①軽症74人②中等症39人③重症以上3人
4	戸塚	1,080	8.8%	4	泉区 C	82	①70歳代22人②80歳代21人③60歳代11人	①軽症50人②中等症29人③重症以上3人
5	南	1,011	11.2%	5	戸塚区 M	79	①0～9歳21人②70歳代13人②80歳代13人③60歳代11人	①軽症59人②中等症16人③重症以上4人
6	神奈川	962	-0.4%	6	保土ヶ谷区 E	73	①70歳代23人②80歳代18人③0～9歳10人	①軽症35人②中等症30人③重症以上8人
7	青葉	949	15.6%	7	青葉区 F	68	①70歳代18人②80歳代16人③60歳代13人	①軽症44人②中等症18人③重症以上6人
8	保土ヶ谷	918	6.9%	8	旭区 I	66	①80歳代27人②70歳代17人③60歳代7人	①中等症32人②軽症28人③重症以上6人
9	港南	873	10.1%	9	戸塚区 O	64	①80歳代14人②0～9歳13人③70歳代12人	①軽症37人②中等症25人③重症以上2人
10	金沢	832	1.3%	10	栄区 J	63	①80歳代21人②70歳代16人③0～9歳7人	①軽症41人②中等症21人③重症以上1人
11	磯子	693	-0.1%	11	戸塚区 Y	62	①80歳代16人②70歳代12人③0～9歳9人	①軽症35人②中等症23人③重症以上4人
12	泉	635	3.8%	12	神奈川区 H	62	①70歳代25人②80歳代13人③60歳代7人	①軽症35人②中等症22人③重症以上5人
13	中	611	-7.6%	13	戸塚区 L	61	①80歳代21人②70歳代10人③0～9歳9人	①軽症37人②中等症21人③重症以上3人
14	緑	598	14.3%	14	旭区 N	57	①80歳代15人②70歳代13人③50歳代8人③90歳以上8人	①軽症33人②中等症22人③重症以上2人
15	瀬谷	521	15.8%	15	緑区	57	①80歳代15人②0～9歳9人③70歳代8人③90歳以上8人	①軽症36人②中等症20人③重症以上1人
16	都筑	511	-2.5%	16	緑区 Q	55	①80歳代17人②90歳以上9人③50歳代7人③70歳代7人	①軽症28人②中等症22人③重症以上5人
17	栄	465	2.4%	17	保土ヶ谷区	53	①70歳代14人①80歳代14人②60歳代7人	①軽症24人②中等症23人③重症以上6人
18	西	444	9.1%	18	緑区 G	53	①80歳代16人②70歳代12人	①軽症34人②中等症17人③重症以上2人
	総計	14,506	5.7%	19	戸塚区 K	52	①80歳代14人②70歳代12人③0～9歳9人	①軽症37人②中等症13人③重症以上2人
				20	戸塚区 W	52	①70歳代14人②80歳代11人③50歳代6人	①軽症38人②中等症12人③重症以上2人
				21	戸塚区 U	52	①70歳代11人②90歳以上10人③80歳代9人	①軽症38人②中等症11人③重症以上3人
				22	保土ヶ谷区	48	①70歳代15人②80歳代7人③0～9歳6人	①軽症30人②中等症14人③重症以上4人
				23	瀬谷区	47	①80歳代19人②90歳以上7人③0～9歳6人	①軽症26人②中等症19人③重症以上2人
				24	泉区	47	①60歳代15人②0～9歳9人③70歳代7人③80歳代7人	①軽症35人②中等症11人③重篤以上1人
				25	保土ヶ谷区	47	①0～9歳14人②80歳代11人③70歳代9人	①軽症31人②中等症14人③重症以上2人

※ 年齢は、上位の年齢を記載しているため、その他の年齢については、表記をしていません。

メディアの利用状況

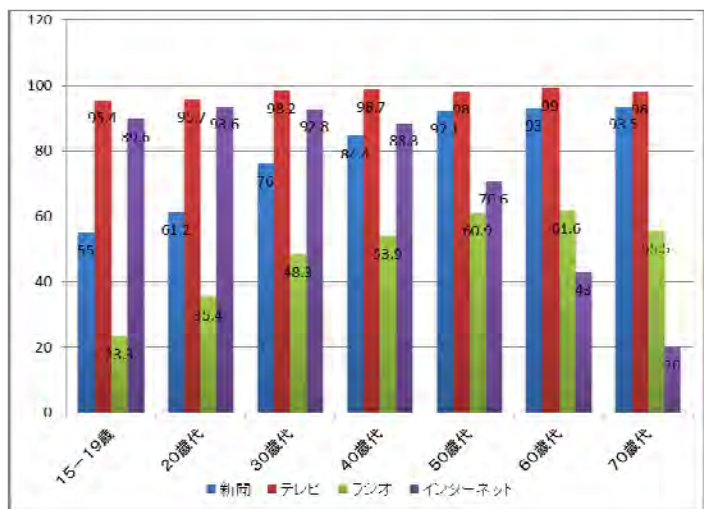
各メディアの利用状況

テレビが最も多く、続いて新聞、インターネット、ラジオとなっている。



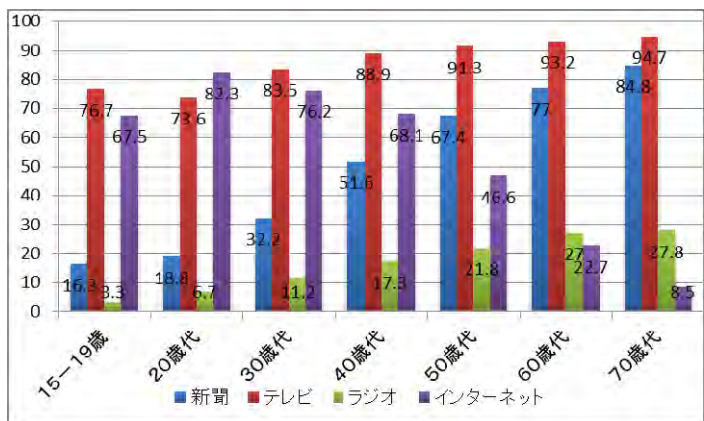
年齢別各メディアの利用状況

どの年代も、テレビの利用率が高く、20歳代～40歳代ではインターネット、50歳代 60歳代では新聞の利用率が高い。



毎日利用しているメディア

毎日利用しているメディアとしては、どの世代もテレビは毎日利用されている。また、20歳代 30歳代はインターネットの利用率が高く、60歳代以上は新聞の利用率が高い。



まとめ

以上のことから、どの世代もテレビの利用率が高く、毎日利用されていることから、広く広報が可能な手段である。また、若年層にはインターネット、高齢者には新聞の利用率が高く、広報を行うメディアによって、ターゲットを絞ることができる。なお、ラジオの利用率は、どの世代も他のメディアに比べては低く、毎日利用している人は、どの世代も30%以下である。

資料：日本新聞協会広告委員会「2013年全国メディア接触・評価調査」より引用

平成 25 年度 横浜市の広報に関するアンケート調査 報告書（抜粋）

■ 1 調査について

(1) 調査の目的、内容

- ア 横浜市民における、市政情報の入手手段をアンケートにより把握する。
- イ 横浜市民における、広報課の作成している広報媒体の認知率をアンケートにより把握する。
- ウ 横浜市民が横浜市に対して広報を望んでいる事項等、市の広報に対する意見をアンケートにより把握する。
- エ アンケート調査により得られたデータの分析を行う。
- オ (アンケート調査前)
広報課の各媒体作成担当に対し、上記ア、イの想定値の聞き取りを行う。
- (アンケート調査後)
調査結果を踏まえ、実際の認知率との差について分析を行い、総括を行う。

(2) アンケート調査について

ア 概要

平成 20 年度、21 年度、22 年度、23 年度に続き実施。

実施主体：横浜市市民局広報課（委託により実施）

調査対象：市内在住の 20 歳以上の男女（住民基本台帳から 5,000 人を無作為抽出）

実施時期：25 年 9 月 10 日配布、同 9 月 30 日回収締切 実施方法：宅配業者メール便にて配布（調査票と広報媒体一覧を同封）、郵送回収

イ 回収結果

送付数 : 5,000 票

回収数・有効票数 : 2,319 票

回収率 : 46.4%

※参考 23 年度回収率 38.5%

(市内在住の 20 歳以上の男女 5,000 人を無作為抽出し、1,925 票回収)

ウ 対象媒体

- ・ 広報よこはま
- ・ 暮らしのガイド
- ・ 市ウェブサイト
- ・ 広報テレビ番組「ハマナビ」
- ・ 広報ラジオ番組「ホッと横浜」
- ・ 広報ラジオ番組「ようこそ横浜」
- ・ 広報ラジオ番組「ヨコハマ マイ チョイス！」
- ・ 季刊誌「横濱」

■ 3 調査結果（設問別）

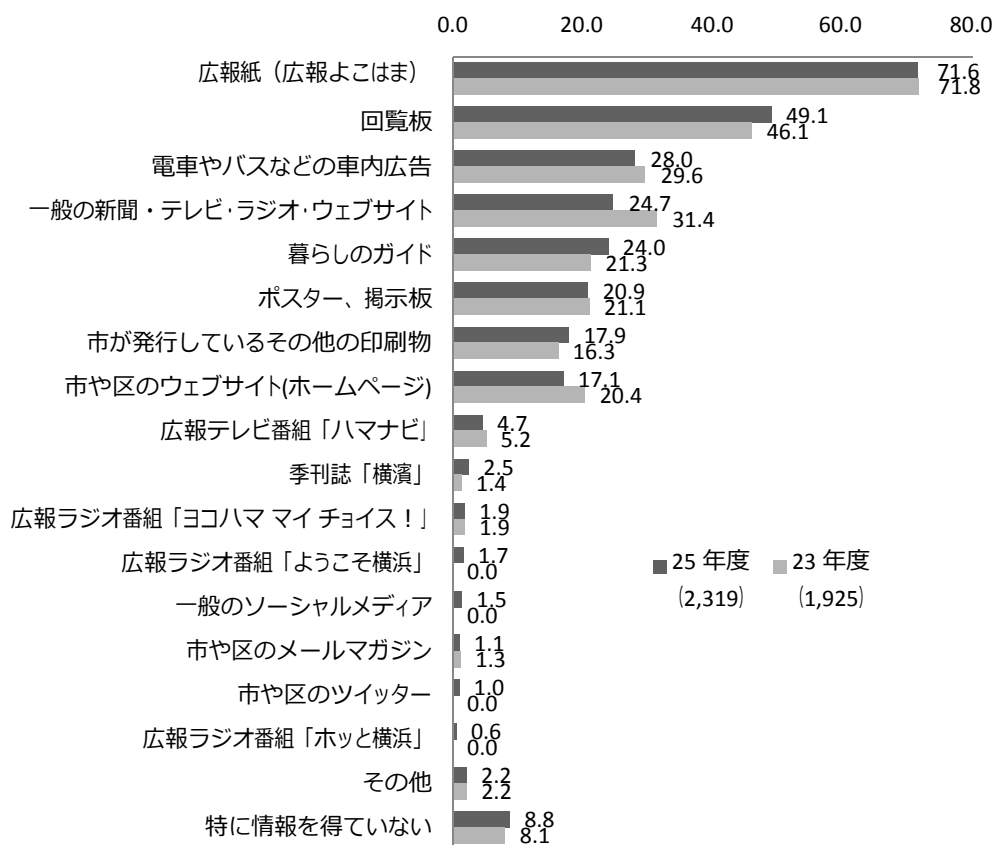
（1）市政情報の入手方法について

【問1】 普段、市や区の情報（事業や行事、お知らせなど）をどのようなものから得ていますか。
 〈複数回答〉

市政情報の入手方法について、「広報よこはま」が7割以上を占めており、一昨年度に引き続き主な入手方法となっている。

また、一昨年度と比べると、多くの媒体において減少しており、特に、「一般の新聞・テレビ・ウェブサイト」では7ポイント程度減少している。

図1-1 市政情報の入手方法（年度比較 複数回答）

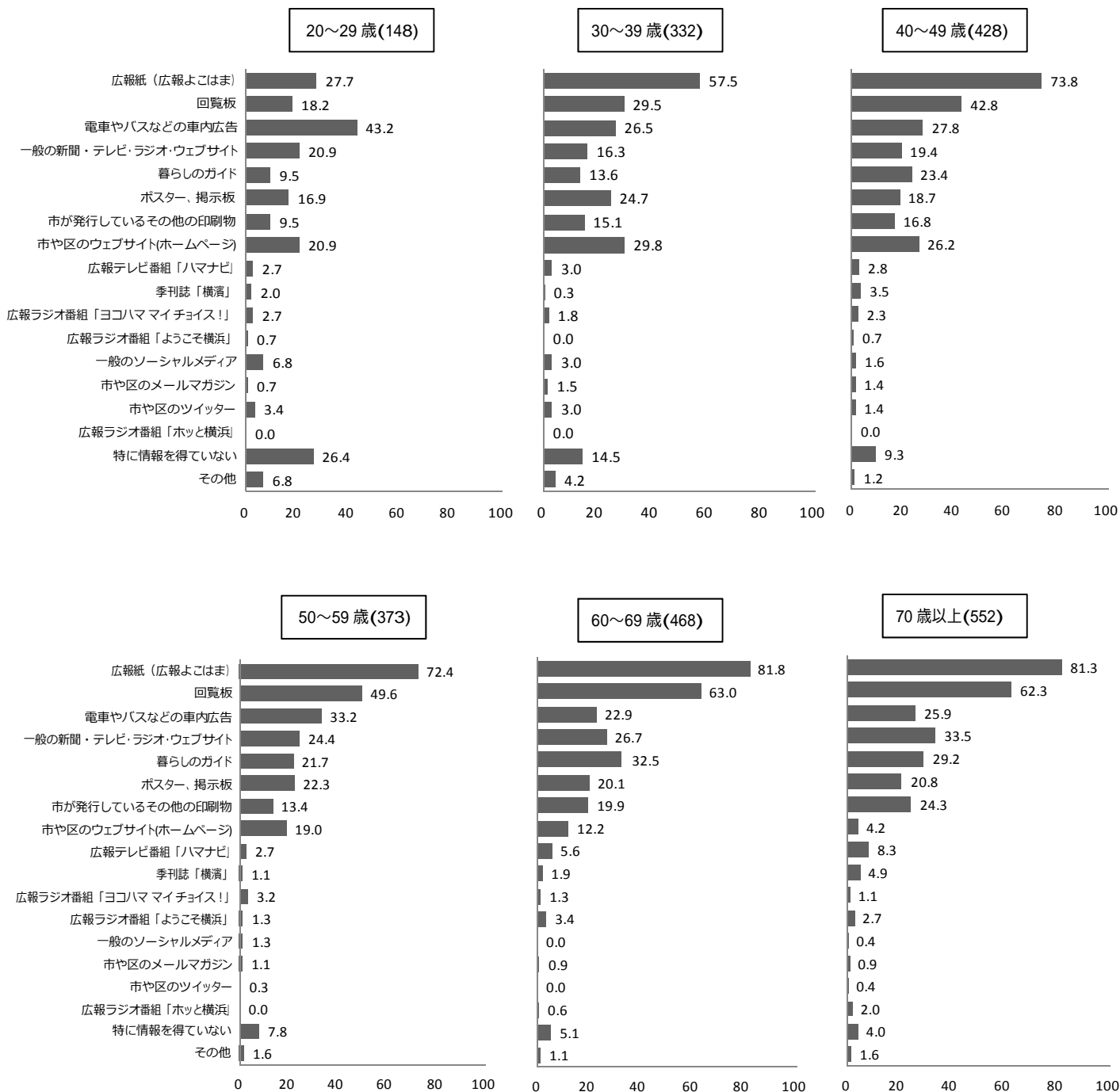


〔年齢別〕

年齢別で見ると、20歳代を除く全ての年代で、「広報紙（広報よこはま）」が最も高く、20～30歳代を除いて「回覧板」が2番目に高くなっている。20歳代では、「電車やバスなどの車内広告」、
「一般のソーシャルメディア」の割合が、他の年齢層と比べて大きい。

また、「特に情報を得ていない」の割合は、若年層ほど大きい。

図1-3 市政情報の入手方法（年齢別 複数回答）

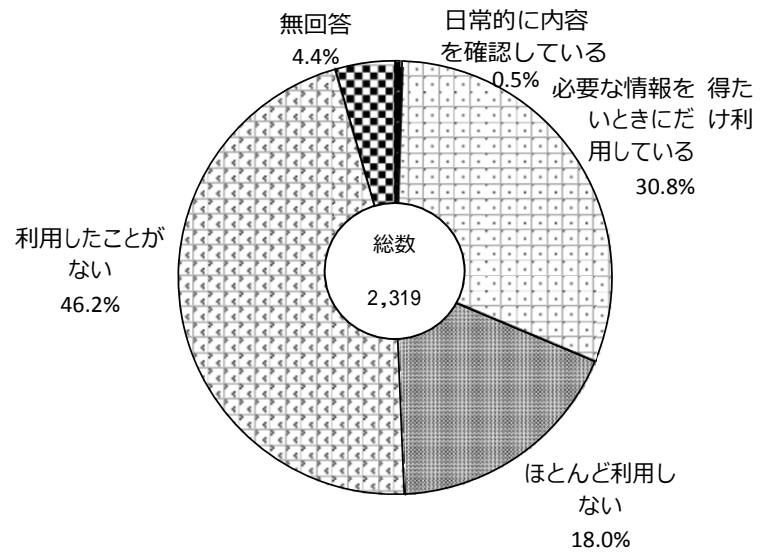


(4) ウェブサイトについて

【問 10】市のウェブサイト（ホームページ）をどのくらい利用していますか。

「市ウェブサイト」の利用頻度は、「利用したことがない」が5割弱、「必要な情報を得たいときにだけ利用している」が3割強となっている。

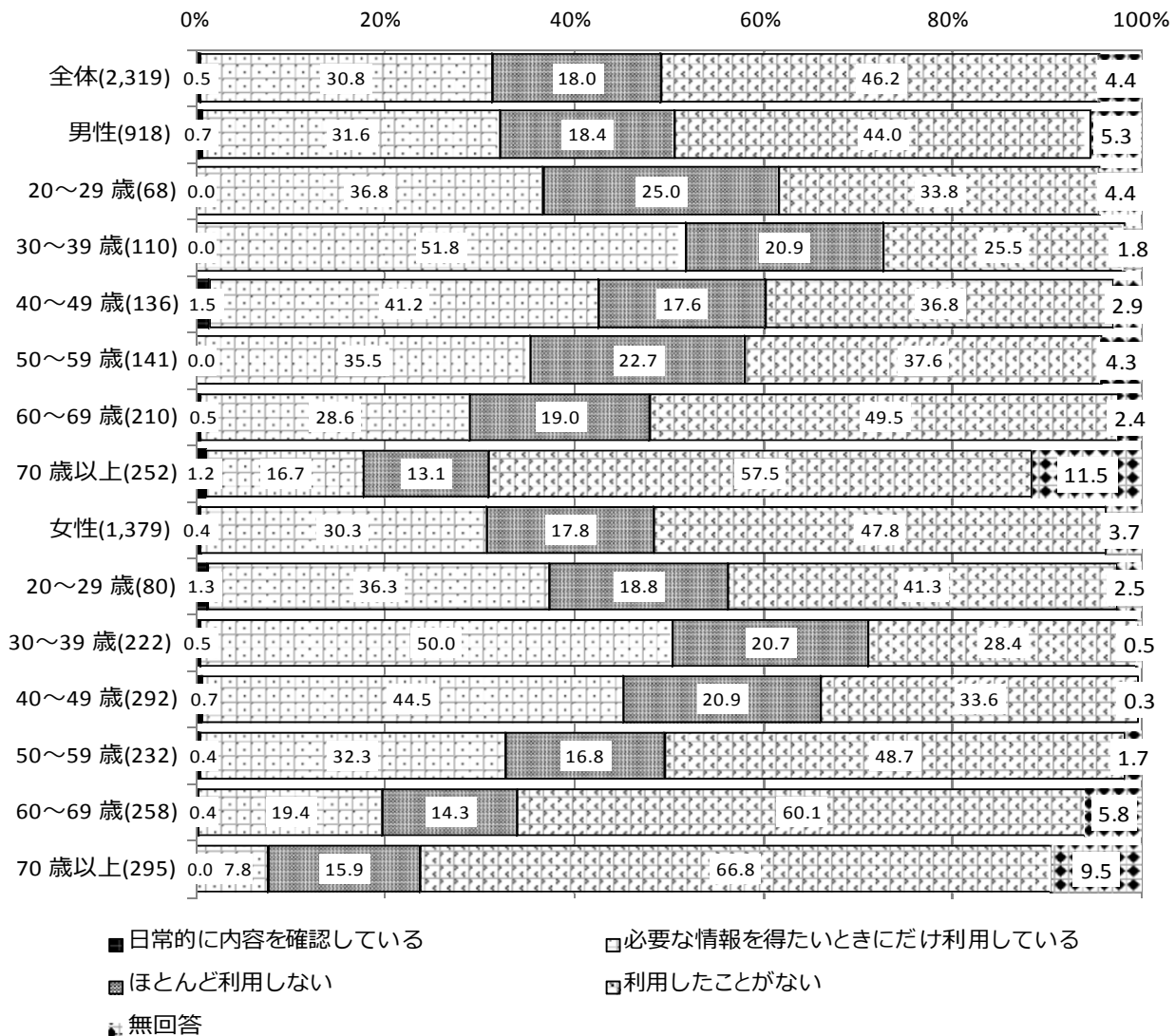
図 10-1 「市ウェブサイト」の利用頻度



〔性別・年齢別〕性別に見ると、「日常的に内容を確認し

ている」「必要な情報を得たいときにだけ利用している」の合計は、男性が女性より高くなっている。年齢別に見ると、**利用している人の割合は、30歳代及び40歳代で高くなっている。**

図 10-2 「市ウェブサイト」の利用頻度（性別・年齢別）



◆問 10 で「日常的に内容を確認している」「必要な情報を得たいときにだけ利用している」を選んだ方にお伺いします。

【問 11】どのような手段（端末）でアクセスしていますか。【複数回答】

「市ウェブサイト」へのアクセスは、パソコンが最も高く、次いでスマートフォン、タブレット端末となっている。また、一昨年度と比較すると「スマートフォン」の割合が大幅に増加している。

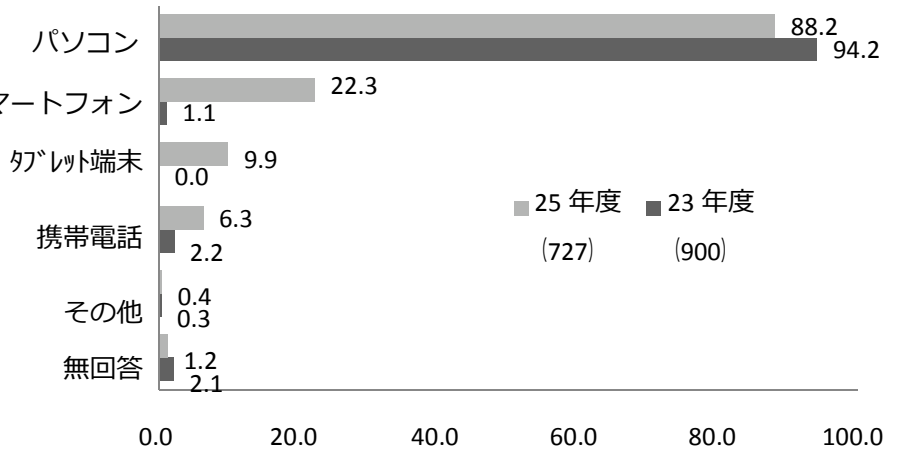


図 11-1 「市ウェブサイトへのアクセス手段」(年度比較)

【問 26】横浜市の事業で関心のあるテーマや、広報を充実してほしいテーマはどれですか。【複数回答】

「市の事業で関心のあるテーマ」は、「健康・医療」「観光・イベント」「福祉」の順に高い。また、一昨年度と比較すると、全体的に減少しており、特に「防災・防犯」の割合が 11.6 ポイント減少している。

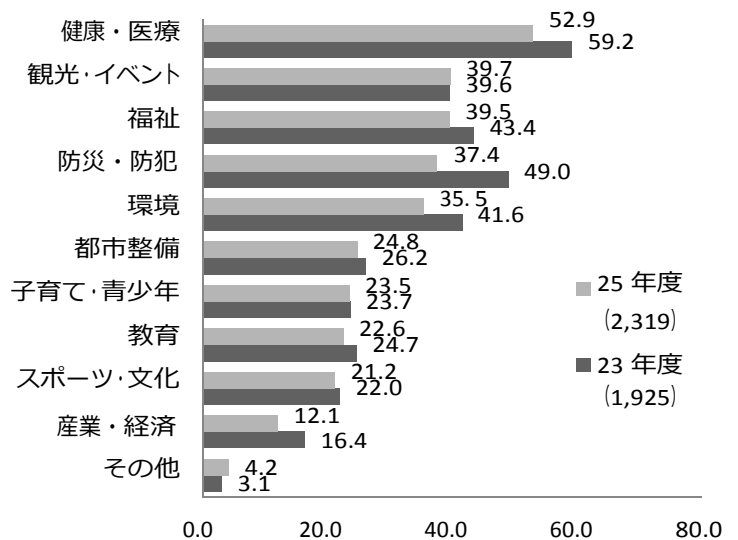
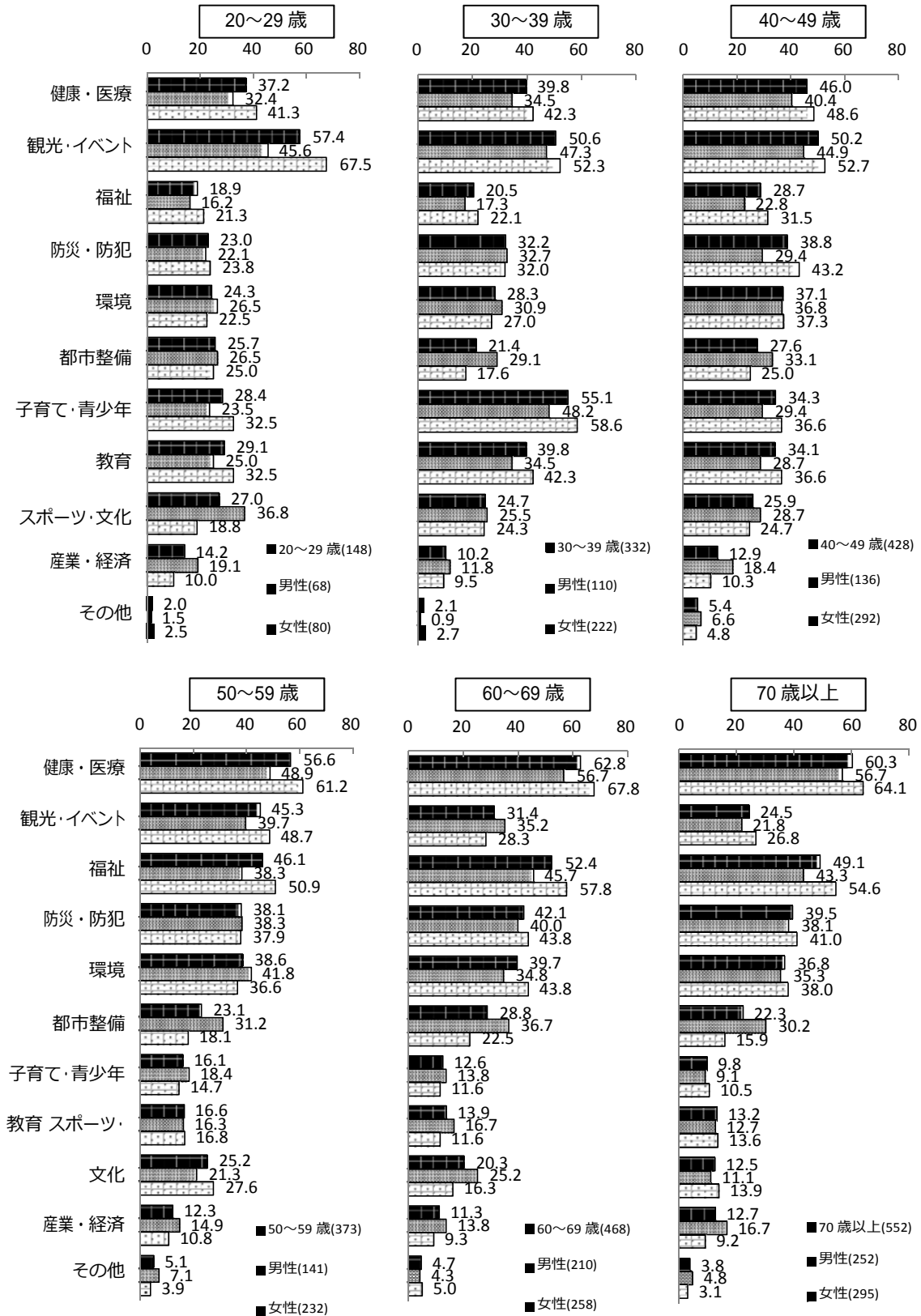


図 26-1 「市の事業で関心のあるテーマ」(年度比較)

〔年齢別〕

年齢別に見ると、「健康・医療」は60歳代で最も高く、高齢層ほど高い傾向がある。「観光・イベント」は20歳代が最も高く、若年層ほど高い傾向がある。

図 26-3 「市の事業で関心のあるテーマ」(性別・年齢別)

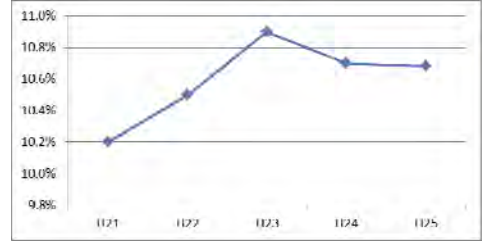


平成 25 年中の高齢者施設の救急要請状況

— 高齢者施設からの救急搬送の占める割合 —

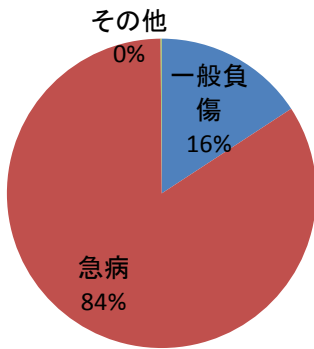
65 歳以上の全救急搬送のうち、高齢者施設からの救急搬送が約 11% を占める。

年別	H21		H22		H23		H24		H25	
高齢者搬送人員	61,748		68,368		73,054		75,900		79,448	
高齢者施設からの搬送	6,277	10.2%	7,151	10.5%	7,960	10.9%	8,150	10.7%	8,487	10.7%



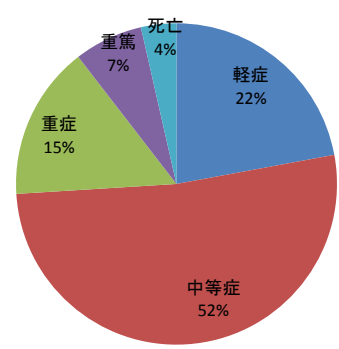
— 高齢者施設の事故種別の内訳 —

急病が約 85% を占めている。



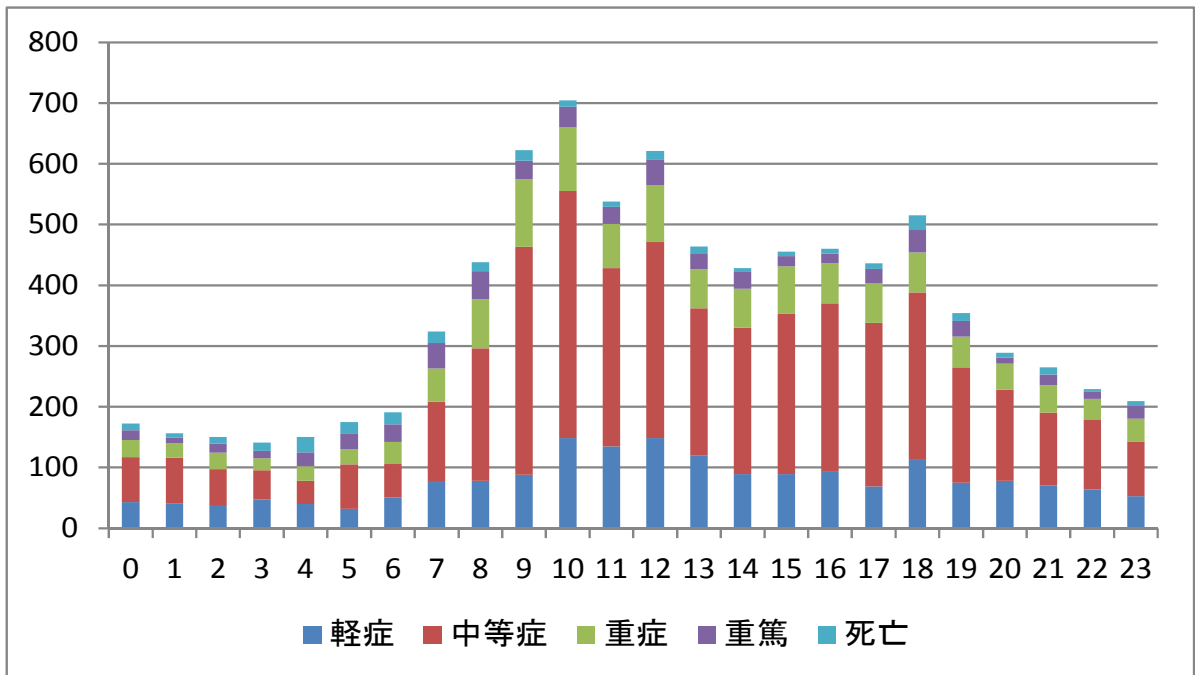
— 高齢者施設の重症度別内訳 —

中等症以上が約 8 割を占めている。

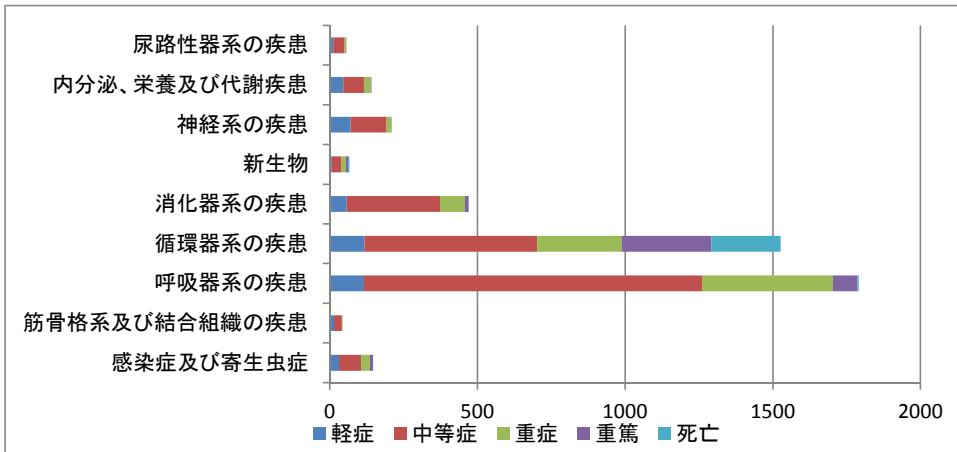


— 救急要請の時間帯 —

午前中の要請が多く、特に 10 時台は最も多い。また、その他の時間帯は、18 時台が最も多い。

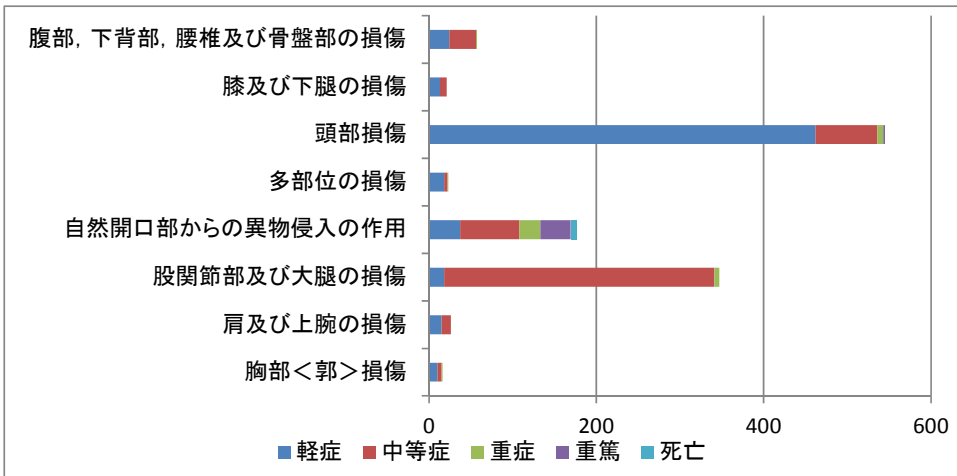


— 疾患・損傷別重症度 — ※主な疾患、損傷を抽出



(内因性)
 高齢者施設からの要請で内因性は、**呼吸器系の疾患によるものが最も多く、続いて循環器系の疾患となっている。**

循環器系の疾患は、最も重症度が高くなっている。



(外因性)
 高齢者施設からの要請で外因性は、**頭部損傷が最も多く、続いて股関節部及び大腿の損傷となっている。**

重症度は、**股関節部及び大腿の損傷が最も高くなっている。**

家庭における緊急度等の判断について（国の動向）

－ 検討会について －

我が国の救急出動件数は、年々増加傾向にあり、平成 25 年中の救急出動件数は過去最多となった。今後も高齢化、核家族化の進行等により、当分増加することが見込まれていることから、**救急医療に投入できる資源を有効的に配分・活用し、緊急性の高い傷病者を優先して搬送することにより救命率の向上を図るという緊急度判定の基本的な考え方を社会全体で共有することを目的に、**総務省消防庁は「平成 25 年度緊急度判定体系に関する検討会」を開催した。

－ これまでの国の検討実績 －

平成 17 年度	緊急度に応じた救急対応を選択する「 緊急度判定 」の適切かつ効果的な導入方法について検討を開始
平成 23 年度	住民が自らの病状の緊急度を判断するための「 家庭自己判断プロトコル 」 各自治体の電話相談窓口で使用することを想定した「 電話相談プロトコル 」 消防機関使用することを想定した「 119 番プロトコル 」「 救急現場プロトコル 」 の4つについて Ver. 0 を策定
平成 24 年度	実証検証事業 として Ver.0 を横浜市、堺市、田辺市にて試行的に運用。 収集したデータを用い、病院前で各プロトコルを用いて判断された緊急度と医療機関における最終的な緊急度がどの程度合致しているか横断的に分析し、 Ver0 の精度向上に向けた課題を抽出
平成 25 年度	実証検証の結果を受け、各プロトコルの医学的精度を高めるような改良を行うとともに、ニーズの高い症候に関するプロトコルを増設し、 Ver. 1 を策定

－ 家庭における緊急度等の判断（救急受診ガイド）の検討内容 －

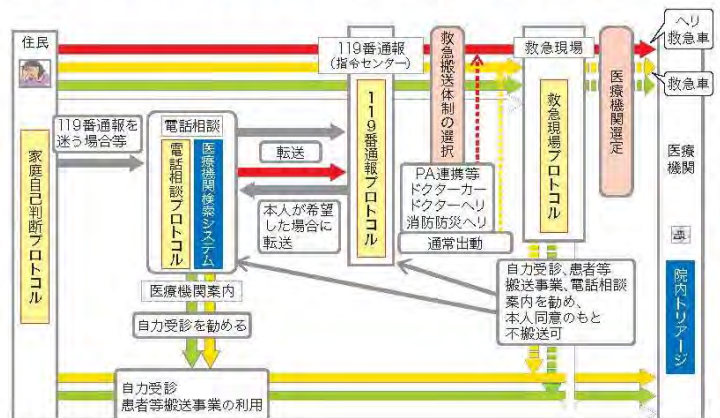
本ガイドは、一般市民が利用するため、**利便性**を考慮し、最低限必要な症候について作成した。Ver.0 で作成していた、最も緊急性の高い 9 症候及び頻度の高い 10 症候のプロトコルに加え、東京消防庁救急相談センターに寄せられる相談内容を参考に、追加すべき症候について検討した。最終的に Ver.1 には、**成人用に 23 症例、小児に 19 症例**（成人・小児共用プロトコル 9 症例を含む。）のプロトコルが盛り込まれた。また、市民にも理解しやすいよう平易な表現にし、さらに、緊急度が「黄」「緑」「白」に分類された場合、受診科の例として「**外科系**」、「**内科系**」、「**医療機関案内**」を加え、**最終的な対応について記載**する工夫を行った。

－ 緊急度判定体系の導入に向けて －

各段階の緊急度判定プロトコルを活用することによって、最大の効果を目指すためには、**社会全体の体系として実現することが重要**である。

このような体系（図 9）を実現するためには、消防機関、医療機関、地域のメディカルコントロール協議会、保健衛生部局等で**協力、連携を図っていくことが必須**であり、また、地域の実情にあわせたアレンジも必要となる。

図 9 緊急度判定における段階と緊急度判定・運用体制の想定図



横浜市救急受診ガイド

背景色 文字サイズ

ご覧になっている機器を選んでください。

パソコンで見ている

スマートフォンで見ている

横浜市消防局 警防部救急課

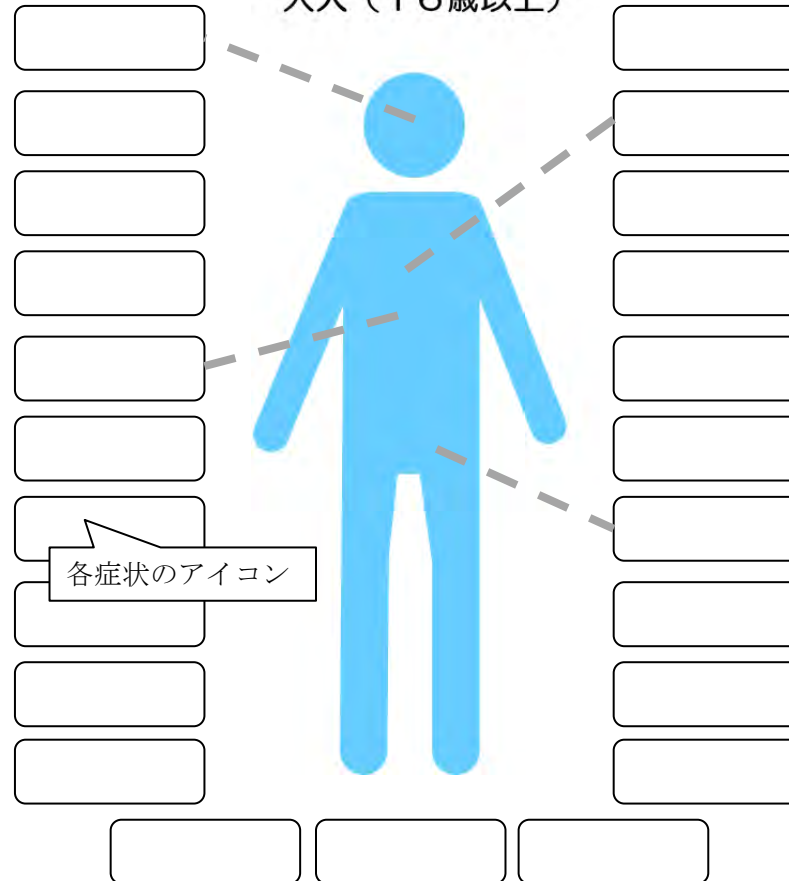
.....

横浜市救急受診ガイド

背景色 文字サイズ

救急受診ガイド≫利用規約≫症状一覧（大人）

大人（16歳以上）



横浜市消防局 警防部救急課

.....

呼吸が苦しい(大人)

急に苦しくなった。

胸の痛みがある。

泡のようなピンク色、または、白い痰がたくさん出る。

しばらく(数時間程度)今の状態が続いている。

.....

.....

.....

※どれもあてはまらない。

呼吸が苦しい(大人)

深呼吸することができない。

最近けがをした。または、手術を受けたことがある。

.....

.....

.....

※どれもあてはまらない。

判定結果

判定結果

119番
すぐに救急車を呼んでください。

緊急度が高いと思われます。
今すぐに119番に電話をしてください。

あなたの症状は

症状の選択結果が表示される。
(例: 息が苦しい・アレルギーがある等)

判定結果

判定結果

今すぐに医療機関を受診しましょう。
2時間以内を目安に病院に行かれた方が良いでしょう。

あなたの症状は

受診科目の参考

参考とする受診科目が表示されます。

医療機関案内

医療機関案内の情報
関係WEBページへのリンク
を表示します。

急な病気やけがで迷ったら・・・

救急受診 ガイド

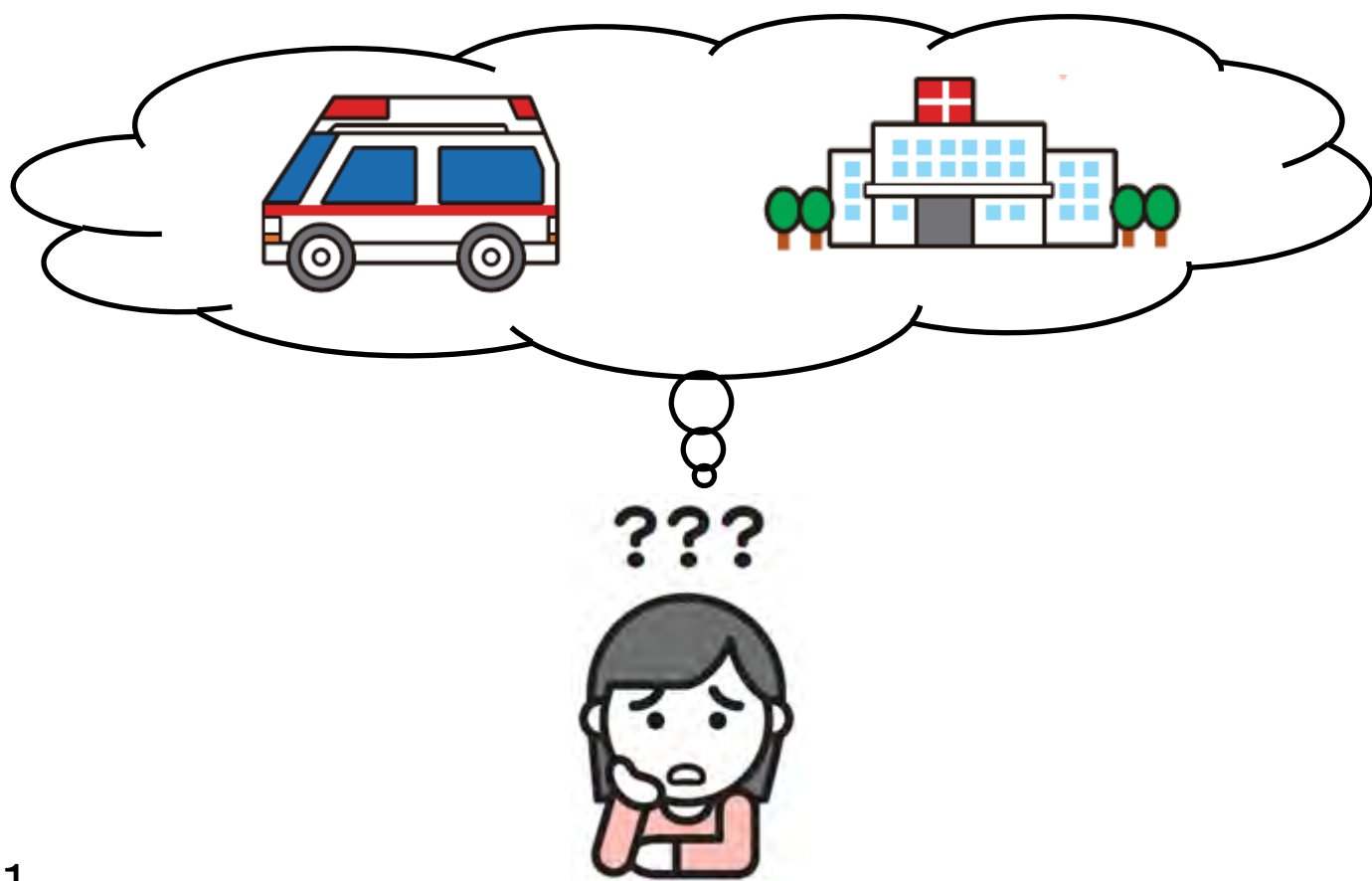
2014年版



〇〇市消防本部

も く じ

1. はじめに	・・・ P	2
2. 上手にこのガイドを使うには		
・ 救急受診ガイドの使用方法	・・・ P	3
・ 緊急度の分類	・・・ P	4
3. 救急車がくるまでに用意するもの	・・・ P	5
4. 症状にかかわらず、はじめに必ず確認する症状	・・・ P	6
5. 症状一覧（大人）	・・・ P	7
6. （こども）	・・・ P	8
7. 電話相談窓口等について	・・・ P	81



1. はじめに

病院に行った方がいいのか、行くなれば、救急車を呼んだ方がいいか、自分で病院やクリニックを受診した方がいいか、どれぐらい急いで受診した方がいいかなどについて判断することは、なかなかむずかしいものです。

『救急受診ガイド2014年版』は、急な病気やけがをして「病院を受診した方がいいか?」「救急車を呼んだ方がいいか?」と迷った時に、ご自身の判断の一助になることを目的に、消防庁でおこなった「緊急度判定体系に関する検討会」において、日本救急医学会監修のプロトコルを基に作成しています。

※この『救急受診ガイド2014年版』は、『東京版救急受診ガイド』（日本救急医学会監修、東京都医師会救急委員会救急相談センター運用部作成、東京消防庁編集・発行）を参考にしています。

- 病院やクリニックに行った方がいいかどうか?
 - 救急車を呼んだ方がいいかどうか?
- などで迷ったときは、ご利用ください。

このガイドの内容は、平成25年10月現在の医学的判断基準をもとに作成されています。

今後、内容は変更される可能性があります。

2. 上手にこのガイドを使うには

救急受診ガイドの使用方法

①まず、症状にかかわらず、P6の質問からはじめてください。

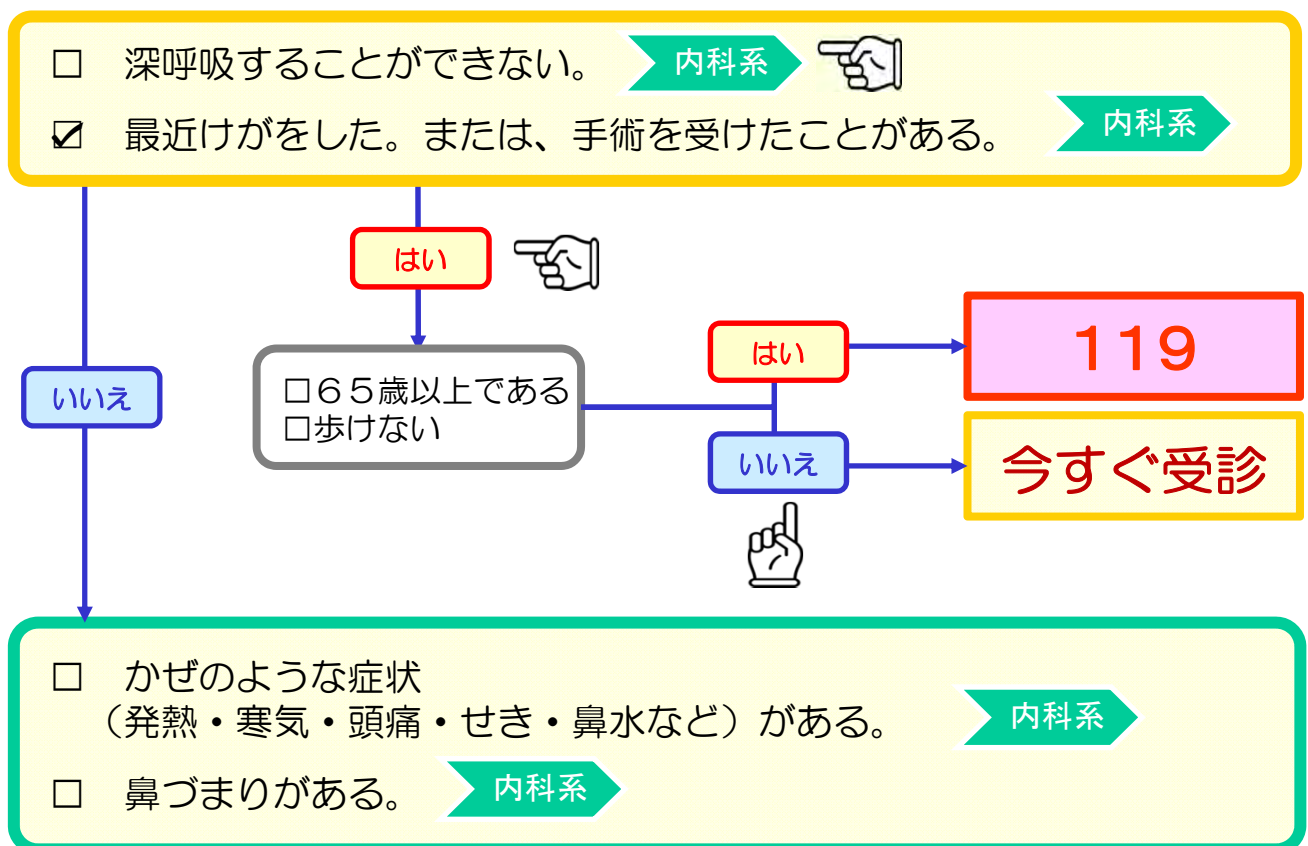
②各症状のページの使い方

・質問にひとつでも該当する項目があれば **はい**

・全て該当しなければ **いいえ**

・受診する診療科の例 **内科系** **外科系** **医療機関案内**

【例】 下記の場合、「今すぐ受診」という判定結果になります。



2. 上手にこのガイドを使うには

緊急度の分類

赤

『救急車を呼びましょう』

緊急度が高いと思われます。
今すぐに119番に電話しましょう。

黄

『今すぐに医療機関を受診しましょう』

2時間以内をめやすに病院に行かれた方が良いでしょう。

緑

『医療機関を受診しましょう』

緊急ではありませんが、受診した方が良いでしょう。
夜間でしたら、翌日の診察でも構いません。



すべての項目に該当しない場合

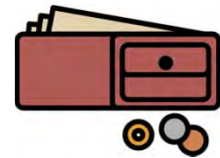
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。

3. 救急車が来るまでに用意しておくもの



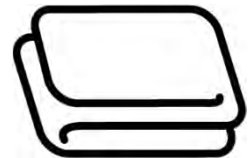
救急車を呼んだら、こんな物を用意しておく便利です。

- ☑ 保険証や診察券
- ☑ お金
- ☑ 靴
- ☑ 普段飲んでいる薬 (おくすり手帳)



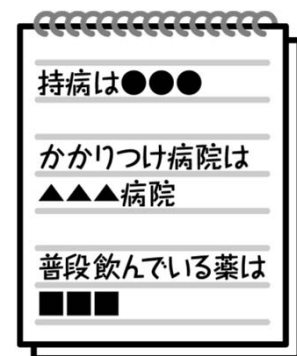
乳幼児の場合

- ☑ 母子健康手帳
- ☑ 紙おむつ
- ☑ ほ乳瓶
- ☑ タオル



救急車が来たら、こんなことを伝えて下さい。

- ☑ 事故や具合が悪くなった状況や救急隊が到着するまでの変化
- ☑ 行った応急手当の内容
- ☑ 具合の悪い方の情報 (持病、かかりつけの病院やクリニック、普段飲んでいる薬、医師の指示など)



*持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、日頃からメモにまとめておく便利です。

4. 症状にかかわらず、 はじめに必ず確認する症状

- 呼吸をしていない。息がない。
- 脈がない。心臓が止まっている。
- 水没している。沈んでいる。
- 冷たくなっている。
- 呼びかけても、反応がない。
- 普通にしゃべれない。声が出せない。
- 顔色、唇、耳の色が悪い。
冷や汗をかいている。

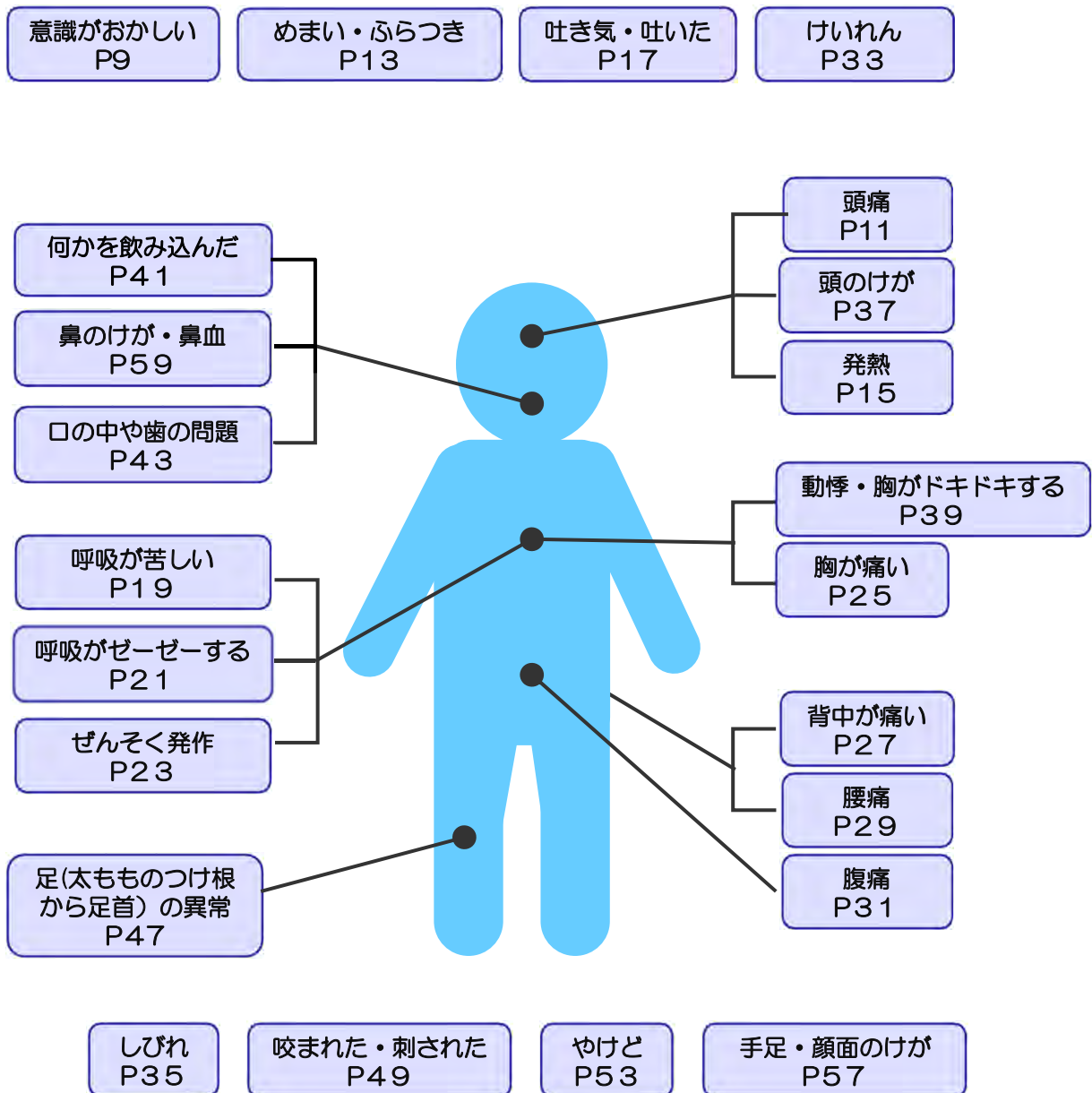
**このような症状にあてはまれば、
すぐに119番に電話して
救急車を呼びましょう。**



※上記以外の症状の場合は、p.7～8の症状一覧より
選択してください。

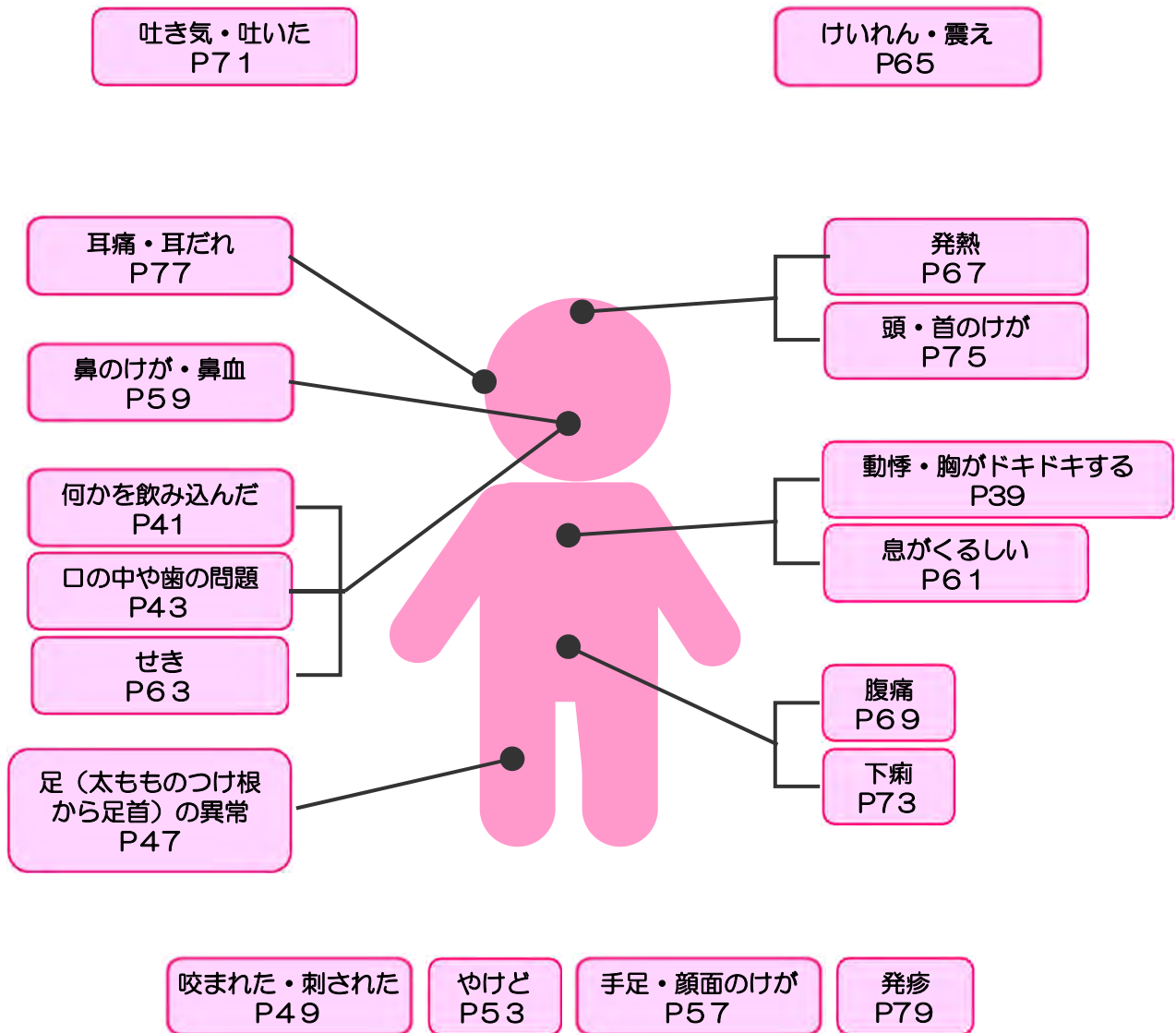
5. 症状一覧(大人)

大人 (16歳以上)



6. 症状一覧(こども)

こども (15歳以下)



まず、P6の質問を確認してください。

意識がおかしい（大人）

主な症状 「反応がない」「意識がないようだ」「変なことを言う」「うわごとを言っている」「いつもと様子が違う」など

赤

- 突然おかしくなった。
- 話し方がおかしい。または、ろれつが回らない。
- こちらの言うことを聞かない。
- あばれたり、いつもと違う行動をする。
- 手足の動きが悪い。または、どちらかの手足が動かない。または、手足に力が入らない。
- 頭を打った後である。
- 出血している。
- 頭をひどく痛がっている。
- 吐いた。
- 熱がある。
- けいれんをおこした。または、けいれんしている。
- 何か薬を飲んだ。
- 大量に酒を飲んだばかりである。または、その可能性がある。
- 糖尿病がある。
- 肝臓が悪いと言われている。または、黄疸（皮膚や目の白い部分が黄色っぽくなること）が出ている。
- 不整脈（脈がとぶ、脈のリズムが乱れるなど）がある。

いいえ

はい

119

黄

- 最初の状態より落ち着いてきている。内科系
- アルコール依存症である。または、そう言われたことがある。内科系
- 尿の量が減ったり、尿の色が濃くなったりしている。内科系
- 皮膚や唇が乾いている。内科系
- のどがとても渴く。内科系
- 立ちくらみがおきた。内科系
- しばらく意識がなかったが、今はいつもと同じである。内科系
- もともと寝たきりである。内科系
- 認知症がある。内科系

いいえ

はい

- 65歳以上である
- 歩けない

はい

いいえ

119

今すぐ受診

当日又は翌日の
通常時間に受診

まず、P6の質問を確認してください。

頭痛（大人）

主な 症状

「頭が痛い」「後頭部が痛い」
「頭痛がすると言って倒れた」 など

赤

- 強い吐き気がある。または、吐いた。
- いつもの頭痛と違ってひどい頭痛である。
- 突然ガーンと頭を殴られたようなひどい痛みである。
- 今まで経験したことのないようなひどい痛みである。
- 痛みがだんだん強くなっている。
- 手足がしびれたり、力が入らなかつたりする。
- 体がフワフワしている。または、めまいがする。
- 目がかすむ。または、他の目の症状（黒くなって見えないところがある、見え方がおかしいなど）がある。
- 動けない。
- 変なことを言っている。または、目の焦点が合っていない。または、もうろうとしている。
- けいれんしている。または、けいれんしていた。
- 呼びかけても返事をしない。

いいえ

はい

119

黄

- 38℃以上の熱がある。 内科系
- かぜのような症状（発熱・寒気・頭痛・せき・鼻水など）がある。 内科系
- （治療薬を飲んだ場合）薬を飲んでもよくなる。 内科系
- 頭痛で病院にかかったことがある。または、今まで病院で片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛などと言われたことがある。 内科系
- 頭痛が続いている。 内科系
- いつもの頭痛と同じである。 内科系
- 頭をぶつけた。 外科系

いいえ

はい

歩けない

はい

119

いいえ

今すぐ受診

緑

- 日頃から飲んでいる頭痛薬（市販薬も含む）を切らしてしまった。 内科系

いいえ

はい

当日又は翌日の
通常時間に受診



すべての項目に該当しない場合

継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。

まず、P6の質問を確認してください。

めまい・ふらつき（大人）

主な 症状

「めまい」 「目が回る」
「めまいがする」 など

赤

- 動けない。または、歩行や移動ができない。
- 急に手足の力が抜けた感じがある。または、手足が動きにくい感じがある。
- 下痢をしている。または、吐いている。
- 吐き気がする。
- しゃべりにくい。または、しゃべりにくそうである。
- 高血圧の治療中である。または、高血圧と言われたことがある。
- 急に物が見えにくくなった。
- 脈が極端に速かったり、遅かったり、乱れたりする。または、ドキドキする。
- 胸の痛みがある。
- めまいの症状がひどい。
- 頭痛がある。

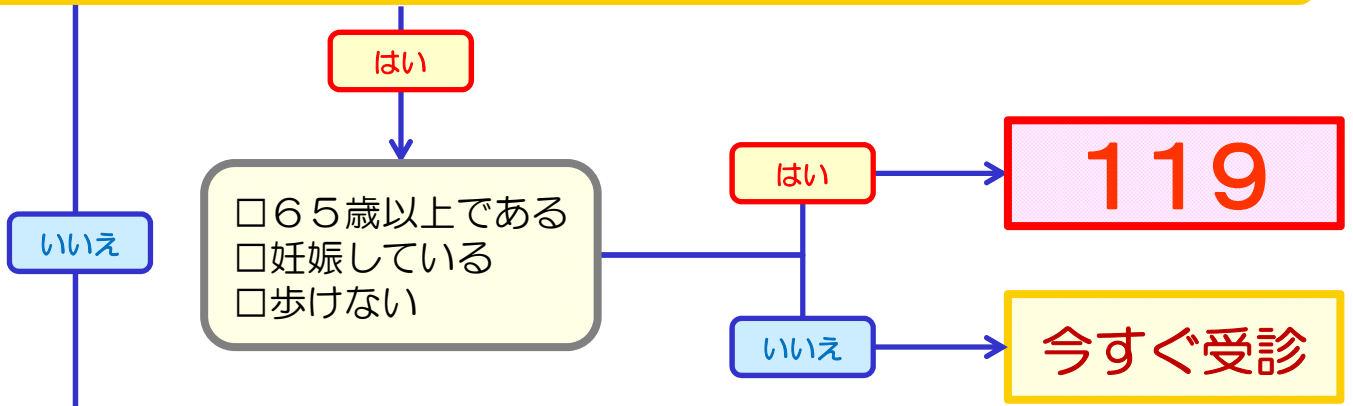
いいえ

はい

119

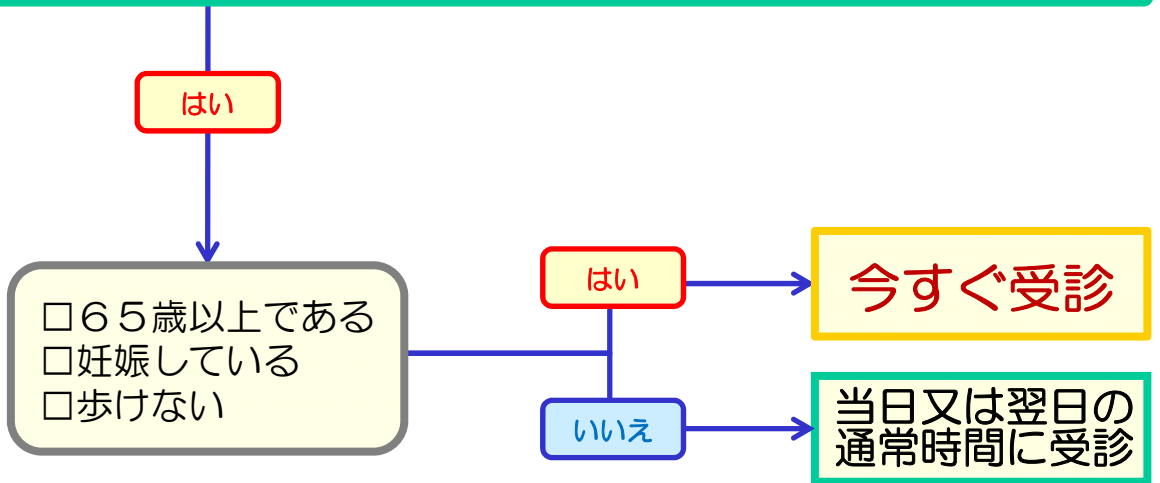
黄

- ここ2日以内に何らかのけがをした。内科系
- 糖尿病と言われたことがある。内科系
- 熱がある。内科系
- 耳が聞こえにくい。または、耳鳴りがする。または、耳の痛みがある。外科系



緑

- 以上の項目にあてはまらない。内科系



- 平らな場所に横になり、深呼吸をしましょう。
- 立ったり、座ったりするときはゆっくりと行い、急激に体を動かさないようにしましょう。

まず、P6の質問を確認してください。

発熱（大人）

主な 症状

「熱が出た」 「悪寒がする」
「震えている」 など

- 起き上がることができない。
- 強い頭痛があって、吐いている。
- 暑い所にしばらくいた。または、激しい運動をした後で39℃以上の発熱がある。
- 頭痛があり、意識がもうろうとしている。または、意識状態が悪い。

赤

いいえ

はい

119

黄

- 皮膚や唇が乾いている。 内科系
- のどがとても渴く。 内科系
- 尿の量が減ったり、尿の色が濃くなったりしている。 内科系
- 立ちくらみがおきた。 内科系
- 背中や脇腹に痛みがある。 内科系
- 暑い所にしばらくいた。または、激しい運動をした後である。 内科系
- 頭痛がある。 内科系
- 食べ物などが飲み込みにくい。または、のどに痛みがある。 内科系
- 汚い痰（たん）、または、黄色や緑色の痰が出る。 内科系
- 体温は40℃以上で、熱冷ましの薬（解熱薬）が効かない。 内科系
- 腹痛がある。 内科系
- 吐き気がある。 内科系
- 「大きな病気」（心臓の病気・肝臓病・糖尿病・ステロイド服用中・がん・その他の感染症など）を治療中である。 内科系
- 3日以上続く熱がある。 内科系
- 下痢をしている。 内科系
- 全身（体の広い範囲）が赤くなっている。または、発疹（体が赤くなっていたり、じんましんのようにブツブツが出ている）がある。 内科系 外科系
- 尿をするときに痛みがある。 内科系 外科系
- 耳の痛みがある。 外科系
- 最近、手術を受けた。 外科系
- （女性のみ）膣（陰部）の痛み、または、おりものがある。 医療機関案内
- （女性のみ）妊娠している。または、出産後である。 医療機関案内

いいえ

はい

65歳以上である
 歩けない

はい

119

いいえ

今すぐ受診

緑

以上の項目にあてはまらない。

はい

65歳以上である
 歩けない

はい

今すぐ受診

いいえ

当日又は翌日の
通常時間に受診

まず、P6の質問を確認してください。

吐き気・吐いた（大人）

主な 症状

「吐いた」「吐き気」 など

赤

- 吐いたものに血が混じっている。
- 強い吐き気がある。または、嘔吐（おうと）が2日以上も続いている。
- 激しい腹痛がある。
- おなかがパンパンに張っている。
- 胸、または、背中痛みがある。
- ごく最近、頭・胸・腹にけがをしたり、大きな力を受けたりした。
- 強い頭痛がある。

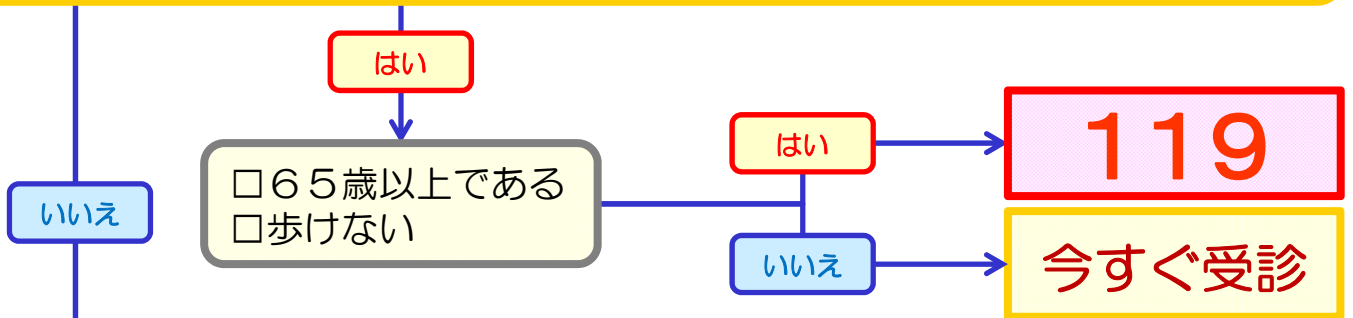
いいえ

はい

119

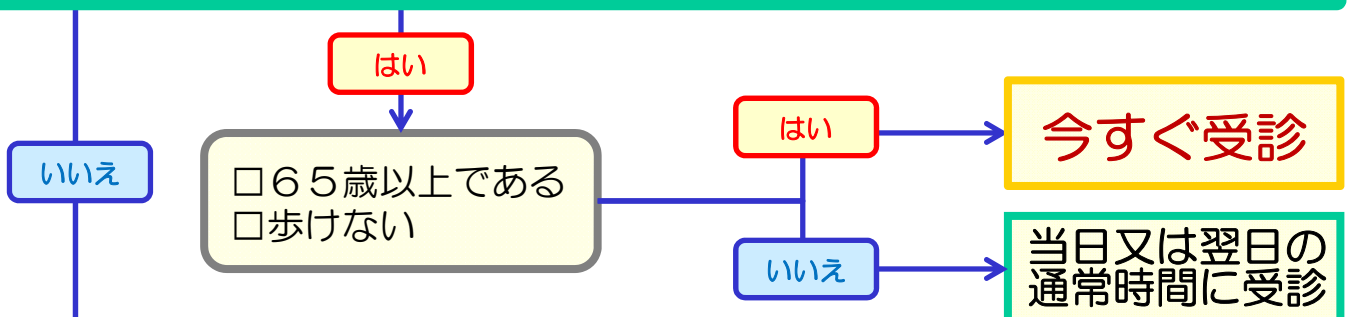
黄

- 吐き気がだんだん強くなっている。 内科系
- 頻繁に下痢をしている。 内科系
- 尿の量が減ったり、尿の色が濃くなったりしている。 内科系
- 皮膚や唇が乾いている。 内科系
- のどがとても渴く。 内科系
- 立ちくらみがおきた。 内科系
- 38℃以上の熱がある。 内科系
- 吐き気、または、嘔吐（おうと）が、強くなったり弱くなったりしながら続いている。 内科系
- 最近、外食、生もの、保存状態のよくない食品などを食べた。 内科系
- （女性のみ）妊娠している。または、妊娠の可能性がある。 医療機関案内



緑

- 同じような症状をよく起こす。 内科系



すべての項目に該当しない場合
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。

まず、P6の質問を確認してください。

呼吸が苦しい（大人）

主な 症状

「息が苦しい」 「呼吸が苦しい」 「息苦しい」
「息が荒い」 「肩で息をしている」
「息ができない」 など

赤

- 急に息苦しくなった。
- 胸の痛みがある。
- 泡のようなピンク色、または、白い痰がたくさん出る。
- しばらく（数時間程度）今の状態が続いている。
- 以前に肺梗塞（エコノミークラス/ロングフライト症候群、深部静脈血栓症、下肢静脈血栓症など）、または、気胸、自然気胸、慢性呼吸不全と言われたことがある。
- ぜんそくと言われたことがあり、ぜんそくの薬が効かなかったことがある。
- 何か変なものを吸い込んだ。または、吐いた後や、むせた後から息苦しくなった。
- 横になると息苦しい。または、苦しくて座らないと息ができない。

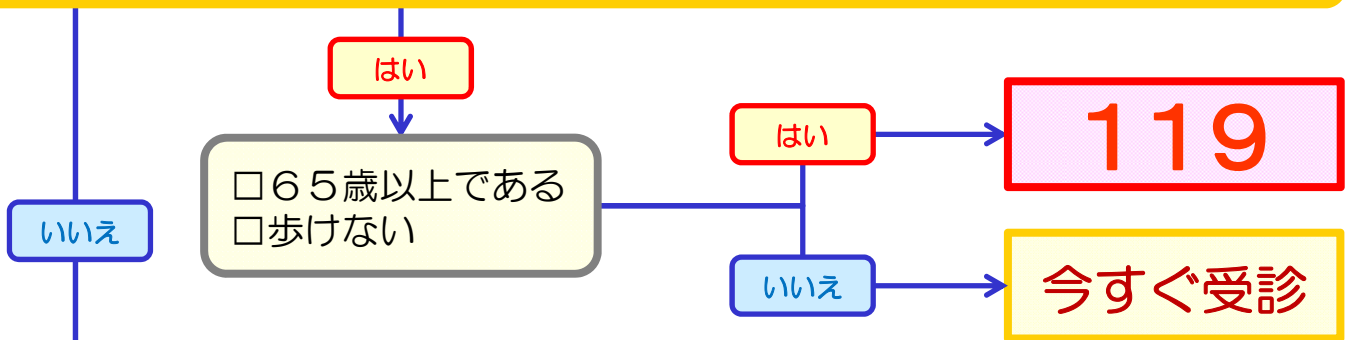
いいえ

はい

119

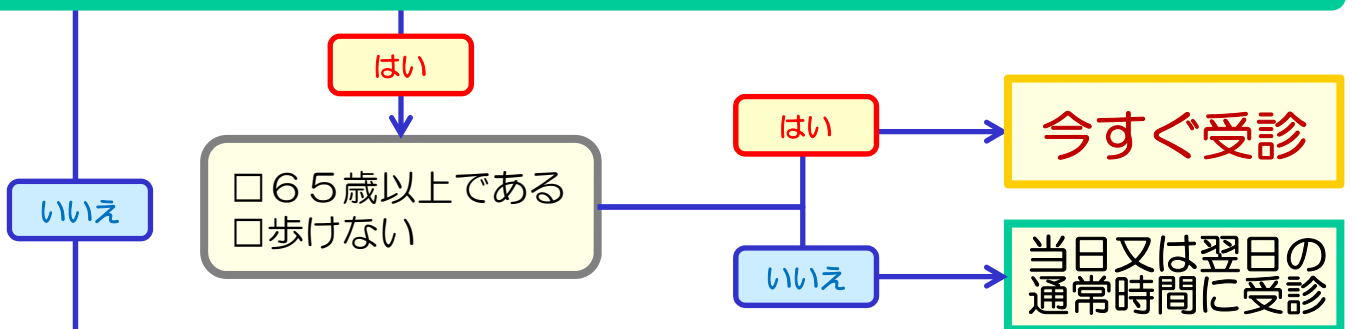
黄

- 深呼吸することができない。 内科系
- 最近けがをした。または、手術を受けたことがある。 内科系
- (女性のみ) 最近、出産した。または、妊娠の可能性がある。または、妊娠している。 内科系
- アレルギーがある。 内科系
- せき、または、黄色や緑色の痰(たん)が出ている。 内科系
- 熱がある。 内科系



緑

- 指や顔がしびれたり、ピリピリしたりする。 内科系
- 最近ストレスが多い。 内科系
- かぜのような症状(発熱・寒気・頭痛・せき・鼻水など)がある。 内科系
- 鼻づまりがある。 内科系



すべての項目に該当しない場合
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。

まず、P6の質問を確認してください。

呼吸がゼーゼーする（大人）

主な 症状

「ゼーゼーいっている」 「ヒューヒューいっている」
「息をするときに音がする」
「痰(たん)がからんだような音がする」 など

赤

- 横になると息苦しい。または、苦しくて座らないと息ができない。
- 胸の痛みがある。
- 突然（2時間以内が目安）症状が始まった。
- 何か変なものを吸い込んだ。または、その可能性がある。
- 泡のようなピンク色、または、白い痰がたくさん出る。

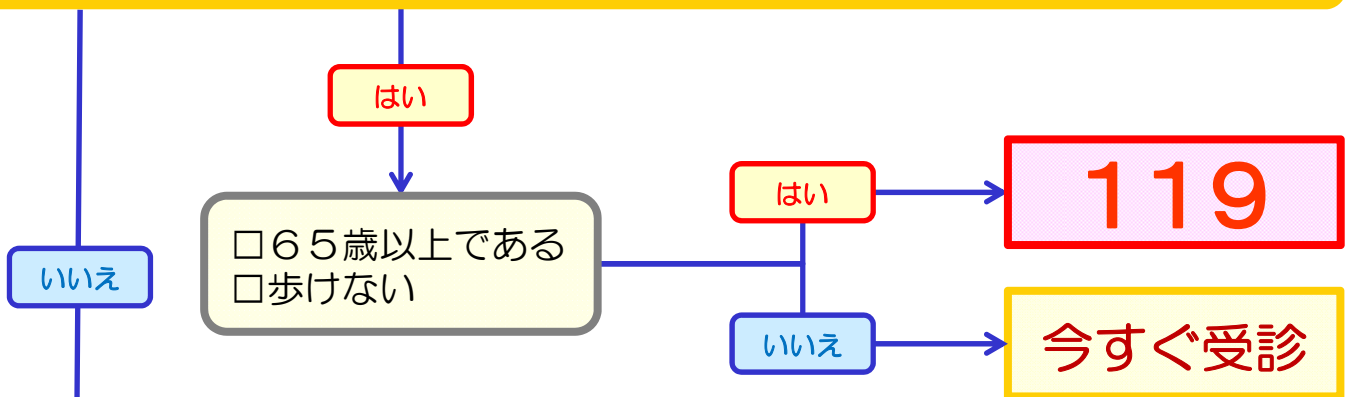
いいえ

はい

119

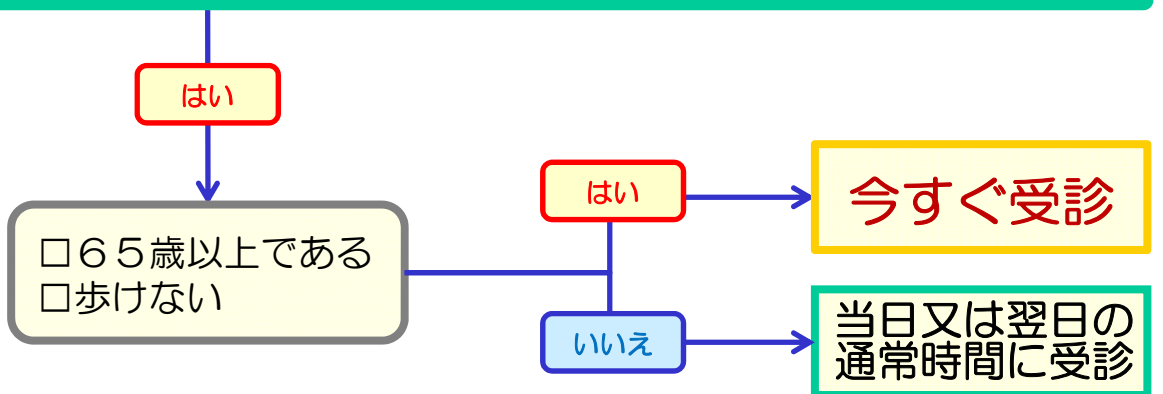
黄

- ぜんそくがある。 内科系
- せき、または、黄色や緑色の痰（たん）が出る。 内科系
- アレルギーがある。 内科系
- 慢性心不全、心臓の病気、肺梗塞、脚の血栓、または、腎臓の病気がある。 内科系
- このような症状が以前にもあった。 内科系
- 熱がある。 内科系



緑

- 以上の項目にあてはまらない。 内科系



まず、P6の質問を確認してください。

ぜんそく発作（大人）

主な
症状

「喘息なのですが....」など

赤

- 横になると息苦しい。または、苦しくて座らないと息ができない。
- 手持ちの薬を使っても苦しい。または、苦しさがとれない。
- 歩けない。

いいえ

はい

119

黄

- のどの痛み、または、かぜのような症状（発熱・寒気・頭痛・せき・鼻水など）がある。 内科系
- ステロイド薬を飲んでいる。または、吸入している。 内科系
- 吐いた後、または、むせた後に症状が出た。 内科系
- 頻繁に、または、何度か、ぜんそくで入院したことがある。 内科系
- 集中治療室で治療を受けたことがある。 内科系
- 最近処方された薬が効かない。 内科系
- 黄色や緑色の痰（たん）が出ている。 内科系

いいえ

はい

今すぐ受診

緑

- 以上の項目にあてはまらない。 内科系

はい

65歳以上である

はい

いいえ

今すぐ受診

当日又は翌日の
通常時間に受診

まず、P6の質問を確認してください。

胸が痛い（大人）

主な 症状

「胸が痛い」
「胸が苦しい」 など

赤

- 胸が締め付けられる感じがある。または、胸が押される感じがある。または、胸がもやもやする感じがある。または、胸が裂けるような痛みがある。
- 首・あご・肩甲骨・背中、または、腕のいずれかにも痛みが広がっている。
- 息切れ・めまい、または、脱力感（体に力が入らない）がある。
- 手足が冷たい、または、湿っている（じっとりしている）。
- 吐いた。または、吐き気がある。
- 安静にしても胸が痛い。
- 動悸（ドキドキする感じ）、または、脈がとぶ感じがある。
- 処方されている薬（ニトログリセリン、フランドルテープなど）を使っても胸の痛みがおさまらない。
- 長時間座りっぱなし、または、長時間同じ姿勢だった。または、旅行などの後に痛み出した。
- 心臓の病気をしたことがある。または、いつもの発作とは違う。
- ピル（避妊薬）を飲んでいる。
- 足の痛み、腫れ、むくみ、赤味、熱っぽい感じのいずれかがある。
- 急に足首が腫れてきた。
- 血の混じった痰（たん）が出てきた。
- けが、事故、妊娠、出産、手術、血液の病気（血液凝固異常）を経験、または、指摘されたことがある。
- 血が止まりにくい。

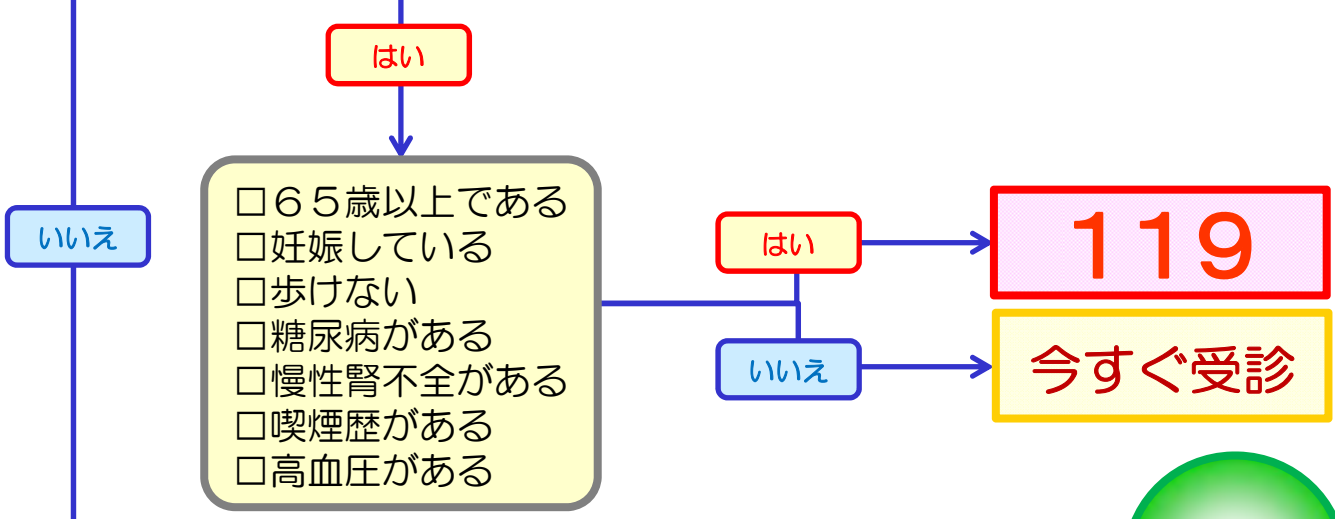
いいえ

はい

119

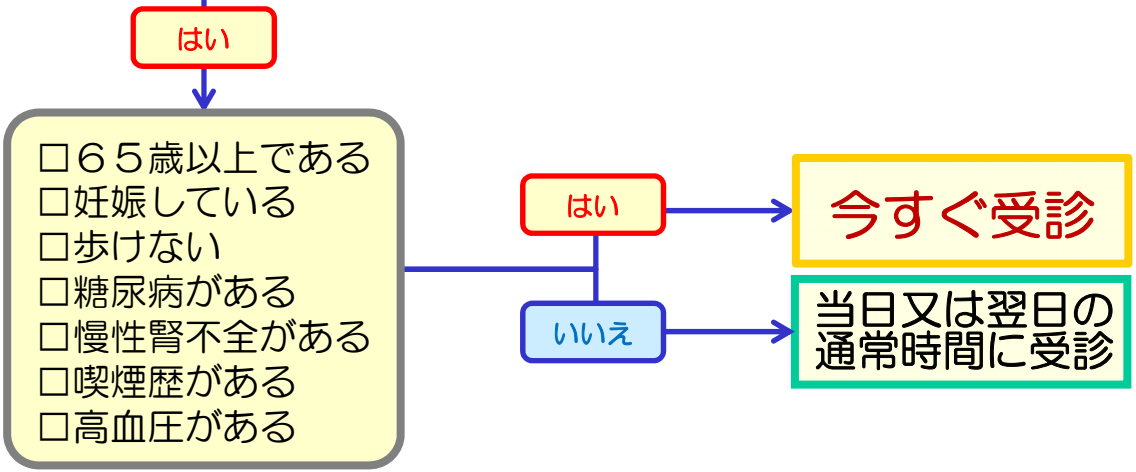
黄

- 深呼吸、または、せきによって胸が痛む。▶ 内科系
- 熱がある。▶ 内科系
- せき、または、黄色や緑色の痰（たん）が出ている。▶ 内科系
- 最近けがをして、体を動かすと痛みが増す。▶ 外科系
- その場所を押すと痛い。▶ 外科系
- 痛みの部分がはっきりしている。▶ 外科系



緑

- 以上の項目にあてはまらない。▶ 医療機関案内



まず、P6の質問を確認してください。

背中が痛い（大人）

主な 症状

「背中が痛い」
「背骨が痛い」 など

赤

- 突然の痛みで、痛みが強くなっている。
- 胸の痛みがある。
- 急に足がしびれたり、足のだるさが強くなっている。
または、足を動かさない。
- 強く痛む場所が移動する。
- 裂けるような痛みがある。
- 赤い尿が出て、尿をするときに激しい痛みがある。
- 便や尿が漏れる。
- 吐き気がある。または、吐いた。または、発熱がある。

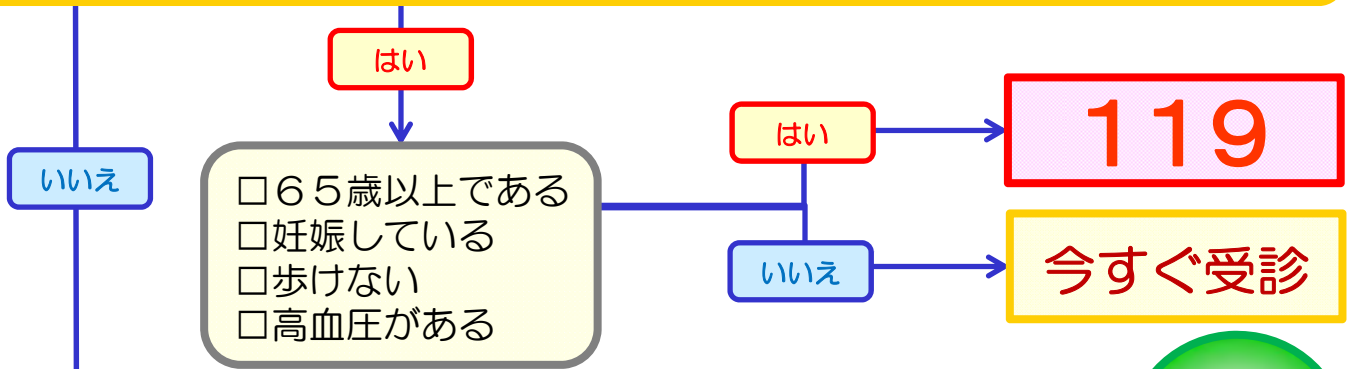
いいえ

はい

119

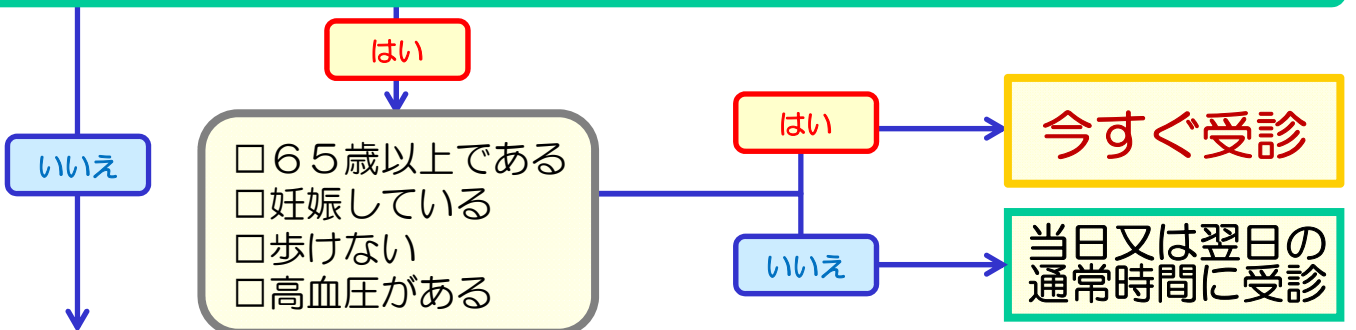
黄

- 長時間座りっぱなし、または、長時間同じ姿勢だった。または、旅行などの後に痛み出した。 内科系
- 痛み止めが効かない。 内科系
- がんや糖尿病にかかっている。または、治療中である。 内科系
- 最近、体重が減っている。 内科系
- 尿が出にくい。または、トイレに行っても出ない。 外科系
- 頻りにトイレに行く。または、尿をするときに痛みがある。 外科系
- お尻や腰から足へひびくような痛みがある。 外科系
- 歩きにくい。歩行しづらい。 外科系
- 2日くらいの間にけがをした。または、事故にあった。 外科系



緑

- 慢性の背部痛、背部に何らかの手術、腎結石、腎臓疾患のいずれかの持病がある。 内科系
- 背中以外の別の部分にも痛みがある。または、体の動きを妨げない程度の軽い痛みがある。 内科系
- 熱がある。 内科系



すべての項目に該当しない場合

継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。

まず、P6の質問を確認してください。

腰痛（大人）

主な 症状

「腰が痛い」 「ぎっくり腰」
「腰痛」 など

赤

- 痛みが強くて動くことができない。
または、自力で病院を受診することができない。
- 突然痛みだし、更に強くなってきた。
- 強く痛む場所が移動する。
- 急に足がしびれてきた。または、足のだるさが強くなっている。
または、足を動かさない。
- 赤い尿が出た。または、尿をするとき激しい痛みがある。
- 便や尿が漏れる。

いいえ

はい

119

黄

- しりもちなどのけがの後に痛み出した。 外科系
- 熱があり吐いた。または、熱と吐き気がある。 内科系
- がんや糖尿病にかかっている。または、治療中である。 内科系
- 重いものを持つなど、痛みが出たきっかけがあった。 外科系
- 腰から足へひびく痛みがある。 外科系
- 歩きにくい。 外科系
- 痛み止めが効かない。 外科系
- 2日ぐらいの間に、けがや事故にあっている。 外科系
- 尿が出にくい。または、出ない。 外科系
- 尿をするときに痛みがある。 外科系
- 腰を打った後に赤い尿が出た。 外科系

いいえ

はい

- 65歳以上である
- 妊娠している
- 歩けない

はい

いいえ

119

今すぐ受診

緑

- もともと腰痛もちである。または、腰の手術後である。 外科系
- 軽い痛みであり、自分で移動することができる。または、痛みを我慢できる。 外科系

いいえ

はい

- 65歳以上である
- 妊娠している
- 歩けない

はい

いいえ

今すぐ受診

当日又は翌日の通常時間に受診



すべての項目に該当しない場合

継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。

まず、P6の質問を確認してください。

腹痛（大人）

主な 症状

「おなかが痛い」「みぞおちが痛い」
「下腹が痛い」「わき腹が痛い」
「おなかが張る」「足の付け根が痛い」 など

赤

- 急に痛くなった。または、強い痛みがずっと続いている。
- 腹痛のほかに、胸や背中にも痛みがある。
- 吐いたものに血が混じっている。
- 便に血が混じっている。または、便の周りに血がついている。
- （男性のみ）陰囊（いんのう）が腫れている。

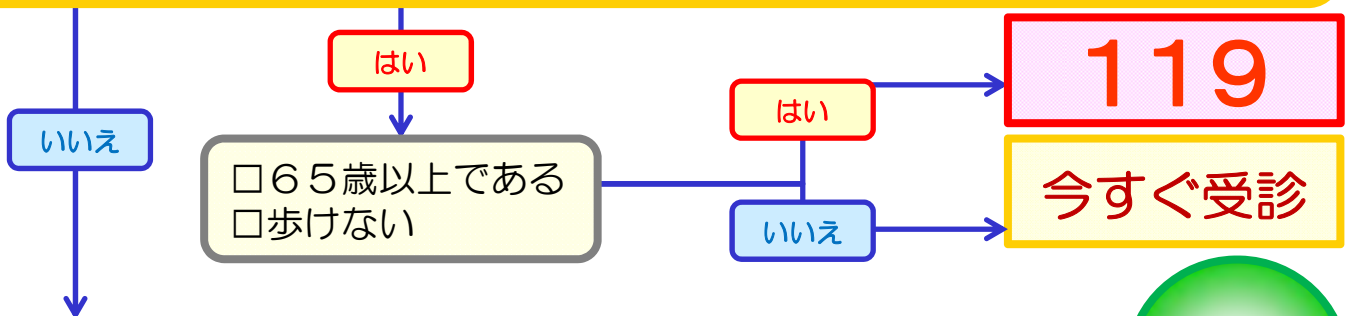
いいえ

はい

119

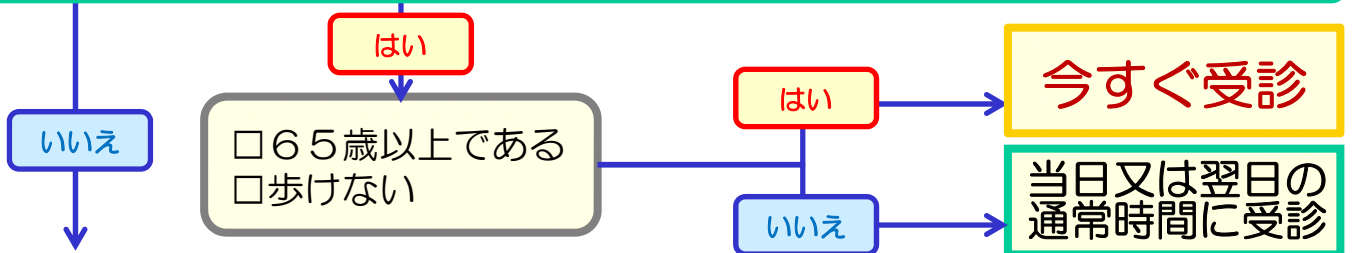
黄

- 痛みがだんだん強くなっている。 内科系
- 痛みが強くなったり弱くなったりしながら、今も続いている。 内科系
- 吐いた。または、吐き気がある。 内科系
- 熱（38℃以上）がある。 内科系
- 下痢をしている。 内科系
- 立ちくらみがする。 内科系
- 便秘がある。 内科系
- 太ももの付け根にしこりがある。 外科系
- 弱い腹痛があり、最近おなかの手術を受けた。 外科系
- 弱い腹痛があり、最近おなかにけがをしたり、大きな力を受けたりした。 外科系
- 性器（陰部）からの出血がある。 外科系
- 腰や背中にも弱い痛みがある。 外科系
- （女性のみ）妊娠している。 医療機関案内
- （女性のみ）生理中である。 医療機関案内



緑

- 同様の腹痛がよく起こる。また、同じような痛みがよく起こる。 内科系
- 痛いというより、漠然とした「不快感」や「おなかが張った感じ（膨満感）」がある。 内科系
- 痛いというより、なんとなく調子が悪いような感じである。 内科系



📌 **すべての項目に該当しない場合**
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。

まず、P6の質問を確認してください。

けいれん（大人）

主な 症状

「ひきつけ」 「てんかん」
「ガタガタ震えている」 「泡を吹いている」
「白目をむいている」 など

赤

- けいれんが今も続いている。
- 呼びかけに対して返事が出来ない。
- けいれんを起こす前に、頭や顔にけがをした。
- 倒れたとき頭を打った。または、頭から出血している。または、舌をかんだ。
- 会話ができない。
- またけいれんを起こしそうだ。または、何かおかしい。または、落ち着かない。
- 熱がある。
- 手足が動かせない。
- 頭痛がある。
- 初めてのけいれんである。

いいえ

はい

119

黄

- けいれん止めの薬を切らしている。内科系
- 今までけいれんを起こしたことがある。内科系

いいえ

はい

- 65歳以上である
- 歩けない

はい

119

いいえ

今すぐ受診

当日又は翌日の
通常時間に受診



すべての項目に該当しない場合

継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。

まず、P6の質問を確認してください。

しびれ（大人）

主な 症状

「手足がしびれる」 「手足の感覚がおかしい」
「手足がマヒしている」 「手足が動かない」 など

赤

- 足をあげることができない。
- 左右の腕を胸の前で平行に伸ばして姿勢を保つように指示しても、どちらかの腕が下がってしまう。
- 手をあげることができない。
- 半身のしびれがある。
- 足をあげてそのままにしても、下がってしまう。
- 頭痛がある。
- 目がかすむ。または、視界がぼやける。
- 他と比べて手や足の指先が冷たい、または、色が悪い。
- 「今日はいい天気です」と繰り返して言うように指示しても、ろれつが回っていない、または、どこかに異常を感じる。
- 「今日はいい天気です」と繰り返して言うように指示しても、無言、黙っている。または、理解していない。
- めまい、吐き気がある。または、吐いている。

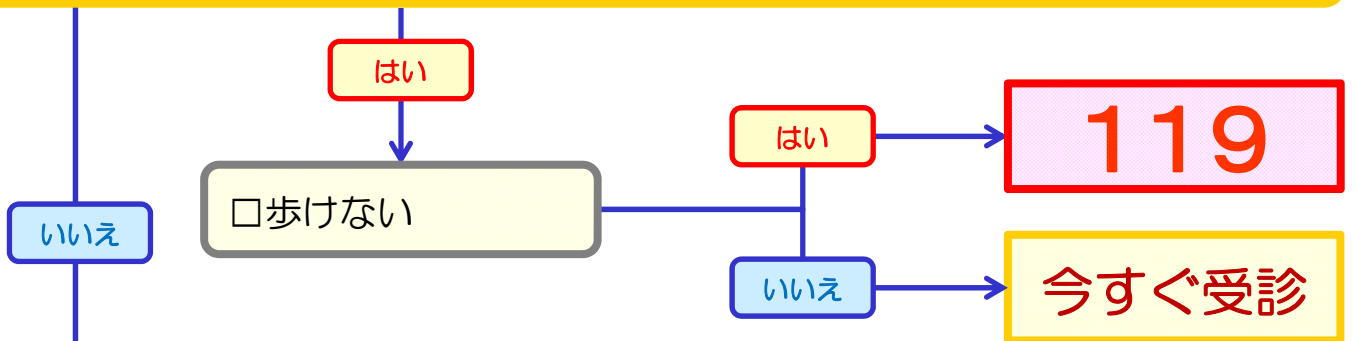
いいえ

はい

119

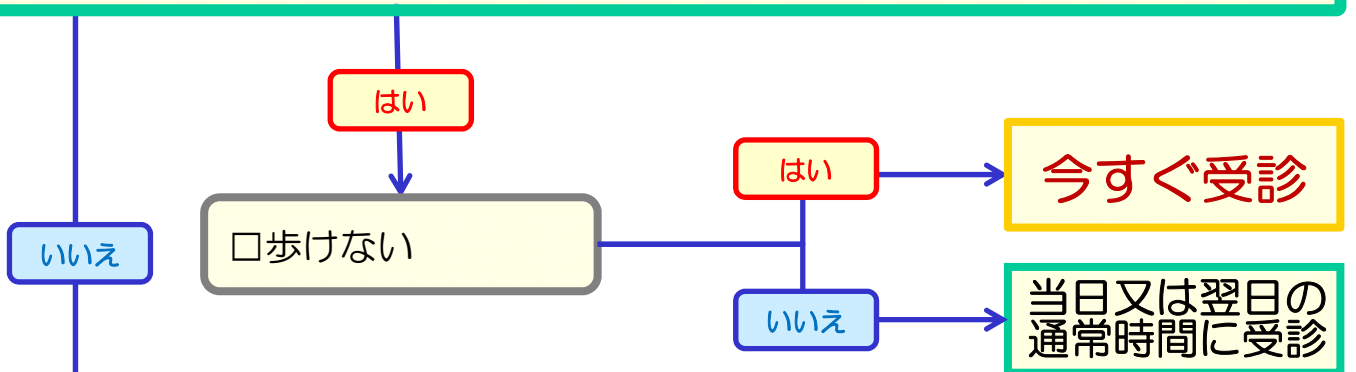
黄


- 息が荒い、めまいがする、手・顔・唇が震える、または、手・顔・唇がしびれる、のいずれかの症状がある。 ▶ 内科系
- 耳が聞こえにくい。または、耳鳴りがする。 ▶ 外科系 ▶ 内科系
- 高血圧の治療中である。または、高血圧と言われたことがある。 ▶ 外科系 ▶ 内科系
- しびれが我慢できない。または、強い痛みを伴っている。 ▶ 外科系 ▶ 内科系
- 首が重たい、こるような感じ、痛い、のいずれかの症状がある。 ▶ 外科系
- 最近重い物を持ち上げた。または、過度の運動をした。 ▶ 外科系



緑

- しびれ以外の症状がある ▶ 内科系



 **すべての項目に該当しない場合**
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。

まず、P6の質問を確認してください。

頭のけが(大人)

主な 症状

「頭を打った」「頭にけがをした」
「頭をぶつけた」など

赤

- 意識をなくした。
- 嘔吐、または、吐き気がある。
- 手足に力が入らなかったり、しびれたりする。
- 頭を打ったことを覚えていない。
- 頭の他にもけががある。
- おかしなことを言ったり、反応が悪くなってきた。
- 眼が見えにくかったり、二重に見える。
- 頭痛がひどくなってきた。
- フラフラしている。または、めまいがする。
- 意識がもうろうとしてきた。
- 元気がない。
- 頭（頭皮）や耳（耳の穴）からの出血や鼻血がある。
- 顔色が真っ青である。
- けいれん（ひきつけ）があった。

いいえ

はい

119

黄

- 打ったところが痛い。または、腫れている。▶ 外科系
- たんこぶがある。▶ 外科系
- けがをしたことを最初から全部覚えている。または、けがの前後のことを覚えている。▶ 外科系
- 血がにじんでいる。▶ 外科系

いいえ

はい

- 妊娠している
- 歩けない

はい

119

いいえ

今すぐ受診

緑

- 頭を打った、ぶつけた。▶ 外科系
- 心配である。▶ 外科系

いいえ

はい

- 妊娠している
- 歩けない

はい

今すぐ受診

いいえ

当日又は翌日の
通常時間に受診



すべての項目に該当しない場合

現時点では緊急性はありません。ただし症状が悪化した場合や
変わらず続く場合には、診療所や病院への受診をお勧めします。

まず、P6の質問を確認してください。

動悸・胸がドキドキする（大人・子ども）

主な 症状

「ドキドキする」 「動悸がする」
「脈が速い」 「脈がとぶ」 など

赤

- 動悸（胸のドキドキ）が30分以上続いている。
- 息苦しい。
- 胸の圧迫感（押される感じ）がある。
- 胸がもやもやする感じがある。または、胸が苦しい。
- 胸の痛みが30分以上続いている。
- 冷汗をかいている。
- 痛みが周り広がる感じがある。または、胸・首・あご・腕のいずれかの痛み、または、変な感じがある。
- 尿の量が減ったり、尿の色が濃くなったりしている。
- 皮膚や唇が乾いている。
- のどがとても渴く。
- 立ちくらみがする。
- 胸やけがする。
- 脈が極端に速い、または、遅い。

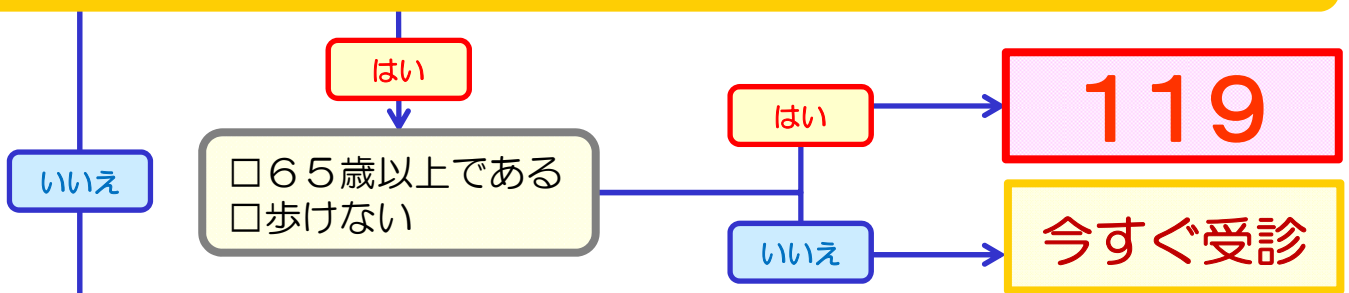
いいえ

はい

119

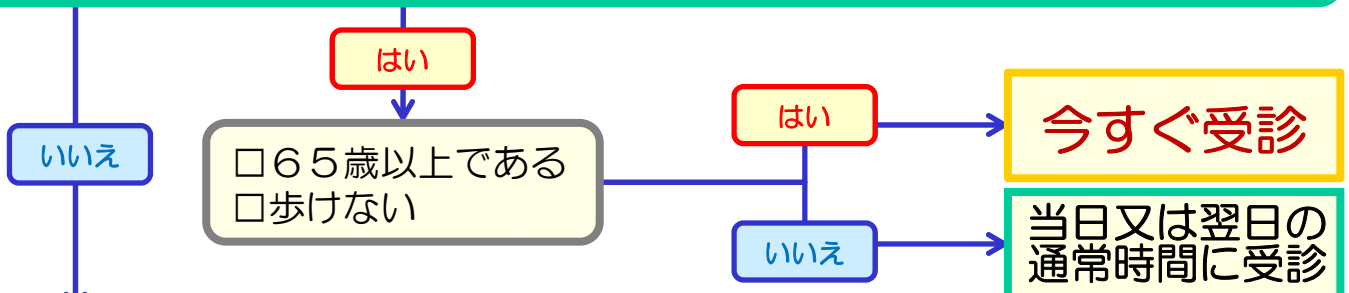
黄

- 頭痛がある。 内科系
- 甲状腺の病気がある。 内科系
- 心臓の病気がある。 内科系
- このような症状がよくおこる。 内科系
- 吐いたり、下痢をしたりしている。 内科系
- 脈の異常（脈がとぶ、脈のリズムが乱れるなどの症状）がある。 内科系
- 体重が増えている。または、むくみがひどい。 内科系
- （女性のみ）妊娠している。 医療機関案内



緑

- 脈の異常（脈がとぶ、脈のリズムが乱れる、脈が速いなどの症状）の治療を受けたことがある。 内科系
- 最近、以下の薬のいずれかを内服した。（利尿薬、ダイエット薬、うっ血の改善薬、かぜ薬） 内科系
- ぜんそくの持病があり、最近新しい内服薬の処方、または、内服薬の増量があった。 内科系
- 不眠がある。 内科系
- 最近ストレスが増えた。 内科系
- カフェイン、タバコ、アルコール、漢方の興奮薬のいずれかを過量に服用した。 内科系
- 熱がある。 内科系
- 30分以内に運動した。 内科系
- 疲労感がある。 内科系



すべての項目に該当しない場合

継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。

まず、P6の質問を確認してください。

何かを飲み込んだ（大人・子ども）

主な 症状

「何か固形物を飲み込んだ」
「食べ物などがのどにつかえた」
「のどに引っかかっている・取れない」 など

赤

- せきが出ている。
- いつも通りの息ができない。
- のど、または、胸が激しく痛む。
- 血を吐いた。
- 飲んだものに毒性がありそうだ。
- とがったものを飲んだようだ。
(針、くぎ、びょう、ガラス、錠剤のシートなど)

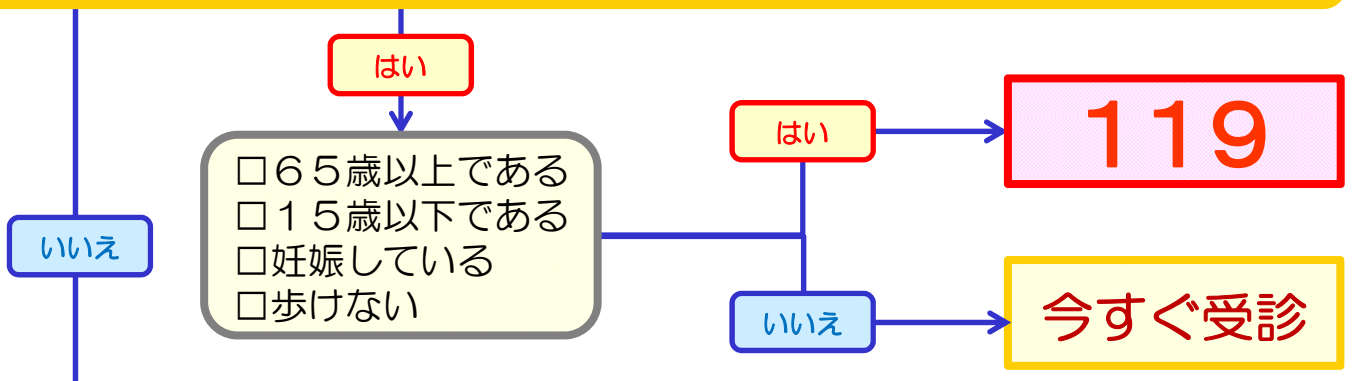
いいえ

はい

119

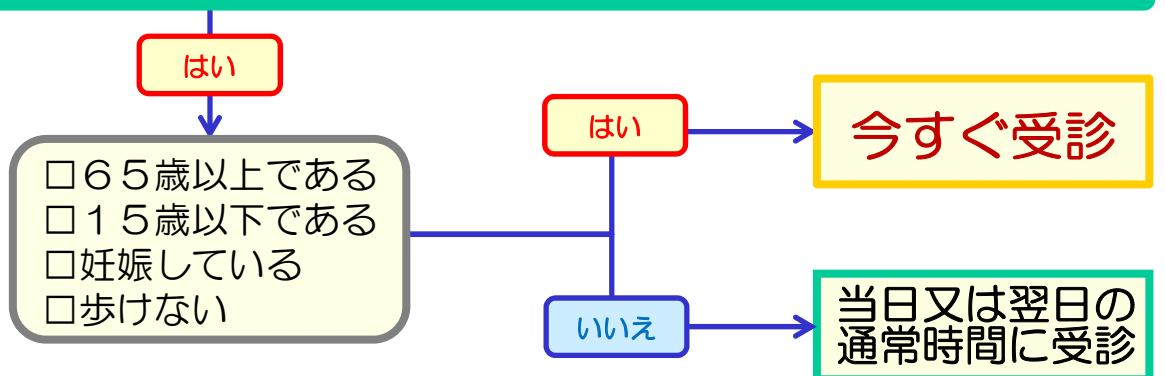
黄

- のどの異物が取れない。 外科系
- 吐いた。または、吐き気がある。 内科系 外科系
- おなかが痛い。 内科系 外科系
- ボタン型の電池を飲んだようだ。 内科系 外科系
- 飲んだものがわからない。 内科系 外科系
- 1円玉より大きなものを飲んだようだ。 内科系 外科系
- のどに違和感が残っている。 内科系 外科系



緑

- 何かを飲み込んだが症状はない。 内科系
- 1円玉より小さなものを飲んだようだ。 内科系 外科系



- 3日～2週間ほど便の観察をして、飲み込んだものが出たかどうか確認してください。
- 2週間しても出ない、または、不安な場合は消化器科を受診しましょう。
- 受診するときは、何を飲んだか分かる場合は、同じものを持参するようにしましょう。

まず、P6の質問を確認してください。

口の中や歯の問題(大人・子ども)

主な症状

「あごが外れた」 「口の中が痛い」 「歯が痛い」
「歯が折れた」 「歯が抜けた」 「歯が欠けた」
「口、舌、唇、歯肉を切った」 など

赤

- 口の中やあごに激しい痛みがある。
- 口の中の痛みがあり、顔面がむくんでいる。
- 喉の奥、または、舌が急に腫れてきた。
- 下の歯、首、胸、肩、腕のどこかに痛みがあり、続いている。
- 口の中から出血が続いており、抗凝固薬など*を服用している。
- 歯が折れたり、歯が抜けたあと、10分間押さえても血が止まらない。
- 抗凝固薬など*を服用中で、歯が折れたり、歯が抜けたあとである。
- 歯痛と心臓の病気、または、糖尿病の持病がある。

※ 抗凝固薬、抗血小板薬、ステロイド、大量のアスピリン、非ステロイド性消炎鎮痛薬、出血性疾患、過去に血が止まりにくいなど

いいえ

はい

119

黄

- の中にけががある。 外科系
- の中から出血が続いている。抗凝固薬などは服用していない。 外科系
- あごが動かない、または、□が開かない、または、あごが外れている。 外科系
- 歯が折れた または、抜けたあと、圧迫により血はとまっている。 外科系
- の中やあごが腫れている。 外科系
- 歯が折れたり、歯が抜けたりはしていないが、10分間押さえても血が止まらない。 外科系
- けがをした部分の周囲にも強い痛みや腫れがある。 外科系
- 歯が痛くて、グラグラする、または、砕けたり、ひびがはいっている。 外科系

いいえ

はい

- 65歳以上である
- 15歳以下である
- 歩けない

はい

119

いいえ

今すぐ受診

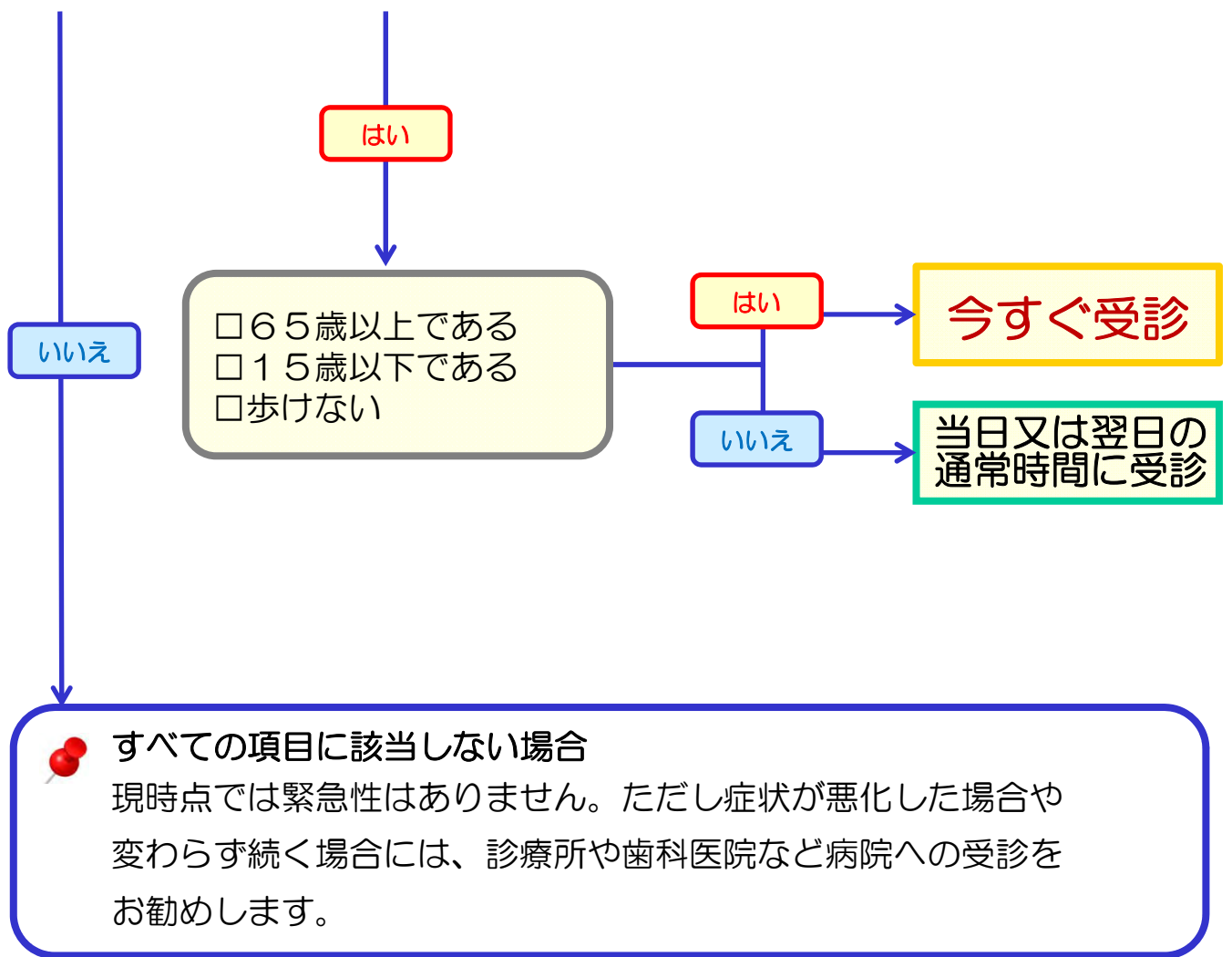
いいえ

緑

- の中の痛い場所は、熱をもっている。 ▶ 内科系
- がだるい、または、調子が悪い、または、具合が悪い。 ▶ 内科系
- の中に白っぽい斑点、または、水ぶくれがある。 ▶ 内科系
- 内ヘルペスや癌にかかったことがある。または、最近ウイルス感染した。または、新たに薬を飲みはじめた。 ▶ 内科系
- ビタミンを大量にとっている。 ▶ 内科系
- 最近、食生活に変化がある。 ▶ 内科系
- ストレスがある。 ▶ 内科系
- の中に悪臭がする。 ▶ 内科系
- フェニトインの服用や既往がある。 ▶ 内科系
- あごに強い痛みがある。 ▶ 外科系
- 噛むとき、口をあけたときに口の中やあごに痛みがある。 ▶ 外科系
- 毎日のうがいや歯磨きでも、痛みが消えない。 ▶ 外科系
- 歯が折れたり、歯を抜いたりしていないが、抗凝固薬などを服用している。 ▶ 外科系
- 歯茎・歯肉が赤く腫れている。 ▶ 外科系
- 舌に発疹がある。 ▶ 外科系
- 虫歯（う歯）がある。 ▶ 外科系
- 歯の揺れ、抜け、欠け、詰め物・矯正を含む歯科治療後の不具合がある。 ▶ 外科系
- 知覚過敏、ヒリヒリ感がある。 ▶ 外科系
- 喫煙者、噛みタバコの習慣がある。 ▶ 外科系
- 欠けている歯がある。 ▶ 医療機関案内
- 歯痛があるが、日常生活の中では痛みがないときがある。 ▶ 医療機関案内
- 歯痛があり、歯ぐきから血がでている。 ▶ 医療機関案内
- 食事をするときや食後に痛みが続いている。 ▶ 医療機関案内

いいえ

はい



まず、P6の質問を確認してください。

足(太もものつけ根から足首)の異常(大人・子ども)

主な症状

「足が腫れている」 「足が変だ」
「足がむくんでいる」 「足が痛い」 「足がつった」
「足の色が変だ」など

赤

- 悪い足の色が悪く（紫色）、強い痛みがある。
- 急に足の先の感覚が鈍くなった。
- 出血が続いている。

いいえ

はい

119

黄

- 関節（股・膝）に耐えられないほどの痛みがある。 ▶ 内科系 ▶ 外科系
- 下腿・大腿に腫れがあり、発熱や熱感がある。 ▶ 内科系 ▶ 外科系
- 関節（股・膝）に痛みがあるが、動くことはできる。 ▶ 内科系 ▶ 外科系
- 安静にしても、下腿・大腿に痛みがあり、冷たい。 ▶ 外科系

いいえ

はい

- 65歳以上である
- 15歳以下である
- 妊娠している
- 歩けない

はい

119

いいえ

今すぐ受診

緑

- 現在、喉の痛みがある。 または、大きな病気を治療中である。
(心臓病、肝臓病、腎臓病、悪性腫瘍) 内科系
- 両側の足首の腫れ、または、むくみがある。 内科系
- 足や足首以外にも痛みがある。 内科系
- 最近、新しい薬を飲みはじめた。 内科系
- しびれや痛み以外の症状が1週間以上続いている。 内科系
- 最近、体重が増えた。 内科系
- 体がだるい。 内科系
- 足のしびれや痛みが続いている。 外科系
- 足の手術をしたことがある。 外科系
- 妊娠中で、突然体重が増えた。 医療機関案内

いいえ

はい

- 65歳以上である
- 15歳以下である
- 妊娠している
- 歩けない

はい

今すぐ受診

いいえ

当日又は翌日の
通常時間に受診



すべての項目に該当しない場合

現時点では緊急性はありません。ただし症状が悪化した場合や
変わらず続く場合には、診療所や病院への受診をお勧めします。



～足がつった時の対処方法～

- ① 足首をアキレス腱を伸ばすようにゆっくりと曲げるか、足の指を手で引っ張る
- ② 膝をゆっくり伸ばしていき、ふくらはぎを伸ばしていく
- ③ 痛みがなくなるまで続ける

まず、P6の質問を確認してください。

咬まれた・刺された(大人・子ども)

主な 症状

「かまれた」「(トゲが)刺さった」「(虫に)刺された」
(ヒト、動物、ヘビ、海洋生物(クラゲなど)、
昆虫(ハチなど)、ダニほか)

赤

- フラフラしている。
- 頭、顔、頸部をかまれた。(虫刺されを除く)
- 息が苦しい、または、苦しそうにしている。
- 胸が押される感じがある。
- 唇や舌が腫れている。
- つばやものが飲み込みにくい。
- かまれた、または、刺された部位以外の皮膚は冷たい、または、白い。
- 汗をかいている。
- ドキドキしている。
- どんどん出血している、または、出血が続いている。
- 意識がなくなってきた、または、呼びかけにきちんと応答しない。
- あばれている。

<ヘビにかまれた場合>

- 毒蛇にかまれた。
- ぐったりしていて、かまれたヘビの種類がわからない。
- かまれた部位以外に 突然の蕁麻疹、発疹、かゆみがある。
- 無毒のヘビに多数かまれた。
- かまれた部位に、赤い、痛い、腫れ、液体がにじみ出ているなどの症状がある。
- かまれた傷の周りに強い痛みと腫れがある。

※次の頁へ続く

※前の頁から続き

＜昆虫などに刺された場合＞

- ハチに口の中を刺された。
- サソリに刺された。
- 以前にも同じ動物、昆虫に刺されてひどいアレルギーを起こしたことがある。
- 刺された場所以外に急にじんましんや赤い斑点、かゆみ、腫れが出てきた。
- 筋肉のこわばり、腹痛、不安がある。
- 気持ちが悪い、吐いた、おなかがぴくつく。

＜ヒト、動物（ハムスターなどのげっ歯類も含む）の場合＞

- 狂犬病の予防接種を受けていない犬にかまれた。
- 胴体、足、腕、手、指、足の指のどこかをかまれた。
- かまれた部位に、赤い、痛い、腫れ、液体がにじみ出ているなどの症状がある。
- 発熱がある。

＜海洋生物（クラゲなど）に刺された場合＞

- カツオノエボシ(電気クラゲ)に刺された。
- 突然、じんましんが出てきた。
- 刺されていない腕、足が突然腫れてきた。
- 動くのが困難なほど痛みがある。

＜ダニの場合＞

- ダニに対してアレルギー反応を起こしたことがある。

いいえ

はい

119

<ヒト、動物の場合>

- 糖尿病がある。内科系

<海洋生物（クラゲなど）の場合>

- 刺された場所に痛みと、赤みと腫れがみられる。内科系 外科系
- 針が刺さったままの状態である。外科系

<昆虫（ハチなど）の場合>

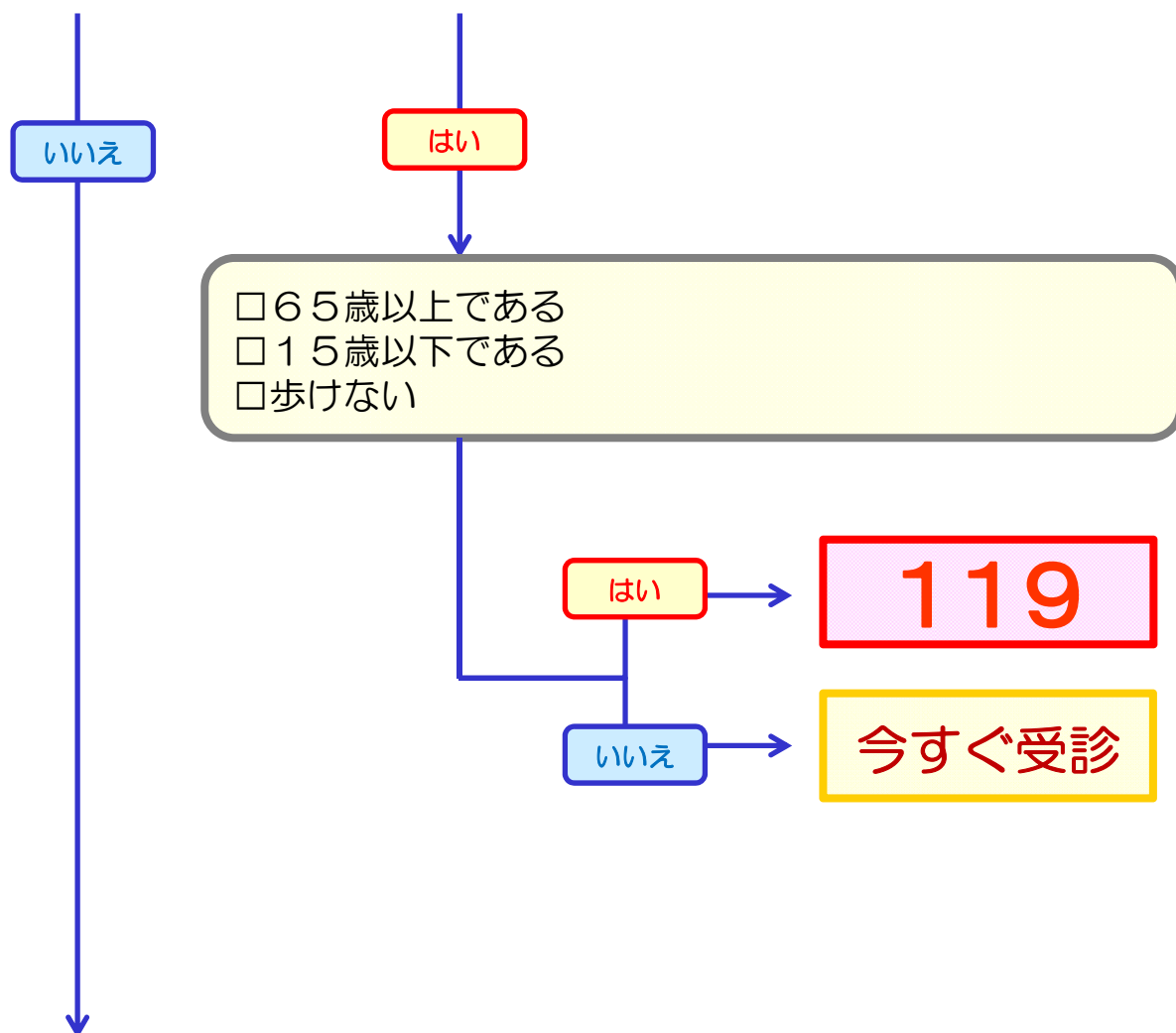
- 刺された場所に痛み、腫れ、しびれがある。内科系
- 刺された場所の熱感と腫れが広がりはじめて48時間以上経つ。内科系
- 刺された場所の他にも痛み、腫れがある。内科系 外科系
- 刺された後から頭痛がある。内科系 外科系
- 発熱、寒気、汗をかいている。外科系
- 刺した昆虫を取り除くことができない。外科系
- 刺された部位の皮膚がむけてきた。外科系

<ダニの場合>

- かまれてから2~4週間たつが、発疹や発熱、悪寒、咽頭痛、頭痛が続いている。内科系 外科系
- かまれたきずが痛く、腫れ、赤くなって、液体がしみ出てきた。外科系
- 皮膚の中にダニの頭が入り込んでいて、取り除くことが難しい。外科系

いいえ

はい



すべての項目に該当しない場合
現時点では緊急性はありません。ただし症状が悪化した場合や
変わらず続く場合には、診療所や病院への受診をお勧めします。

※ ハチに刺された場合は、1時間くらいは様子をしっかりとみましょう。



ヘビに咬まれたとき

- 安全な場所へ避難し、咬まれた部位はゆるく固定し、心臓より高い位置に保ちましょう。
- 指輪や腕時計、きつい衣類などはとっておきましょう。

ハチにさされたとき

- 針が残っている場合は、できるだけ早く取り除きますが、直接つまむと中の毒が入ることがあるので注意しましょう。
- 刺された場所をよく洗いましょう。
- 痛みがひどいときは、刺された部位を氷で冷やすと楽になることがあります。

まず、P6の質問を確認してください。

やけど(大人・子ども)

主な 症状

「やけどした」「火事でけがした」
「火事で煙を吸った」 など

赤

※無理に衣服はとらず、脱がせられる範囲で観察してください。

- 日焼け以外で、背中、胸、顔、両足の全体をやけどした。
 - 呼吸が苦しい。
 - めまい、ふらつきがあり、歩けない。
 - 意識が「ボー」としている。
 - やけどの部位は白く痛みは感じない。
 - 強い酸性やアルカリ性（バッテリー液、洗剤など）によるやけどである。
 - 首、手、足のやけどはぐるりと一周している。（日焼け以外）
 - 眼が見えにくい。
- <煙を吸ったとき>
- 喉の痛み、声がれ（しわがれ声）がある。
 - 顔に煤（すす）がついていたり、鼻毛は焼けて（こげて）いる。
または、口の中が煤（すす）まみれである。
- <雷にうたれたとき>
- 胸がドキドキする。または、息苦しさがある。
 - やけど以外のけががある。

いいえ

はい

119

黄

※無理に衣服はとらず、脱がせられる範囲で観察してください。

- 日焼け以外で、手のひらより大きいやけどである。 外科系
- つよい痛みがある。 外科系
- 手や陰部に水ぶくれができています。 外科系
- 腫れがひどい、または、水ぶくれが大きい。（手のひら以上） 外科系
- 水ぶくれが手のひら以上の広さで、破れている。 外科系
- 顔面、耳、陰部、首、手、足のやけどである。（日焼け以外） 外科系
- 水ぶくれが破けている。（手のひら以下の範囲） 外科系
- やけどの周囲に赤み、熱っぽさ、膿（うみ）が見られる。 外科系
- 手首、足首などの関節のやけどである。（日焼け以外） 外科系

いいえ

はい

- 65歳以上である
- 15歳以下である
- 歩けない

はい

119

いいえ

今すぐ受診

※無理に衣服はとらず、脱がせられる範囲で観察してください。

緑

- 水ぶくれはないが、赤くなっている。 外科系
- 痛みがある。 外科系

いいえ

はい

- 65歳以上である
- 15歳以下である
- 妊娠している
- 歩けない

はい

今すぐ受診

いいえ

当日又は翌日の
通常時間に受診



すべての項目に該当しない場合

現時点では緊急性はありません。ただし症状が悪化した場合や
変わらず続く場合には、診療所や病院への受診をお勧めします。



～やけどの応急手当～

次のページのやけどやけがの応急手当をご覧ください。

けがややけどの応急手当



けがをした時の応急手当

- ☺ 出血している場所に布を当て、指や手で約10分間強く圧迫する
- ☺ 可能なら、出血している場所を心臓より高くする
- ☺ 止血できた場合、出血が少ない場合は、傷口を水道水を流しながら汚れが取れるまで十分に洗う（約10分）
- ☺ ばんそうこうや包帯で覆っておく

こんな時は受診しましょう！

☝ 傷が深い・出血が止まらない・しびれや痛みがとまらない・傷が十分に洗えなかった

☝ 数日後、痛みが増してきた



やけどをした時の応急手当

- ☺ とにかく、冷たい水でしっかり冷やす（15℃以下、15分以上）
 - ※ ただし、広範囲のやけどの場合は、冷やさない！
 - ※ 子どもの場合は、体温が低下しやすいため注意！
- ☺ 受診するまでの間、清潔な布でやけどの部位をおおい、その上からも冷やす
- ☺ 水ぶくれは無理に破かない
- ☺ 水ぶくれが破けた場合、サランラップなどでおおい、上に清潔な布をかぶせた上から冷やす

冷やすときは…

- * 病院へ行くまで、氷を入れた袋や保冷剤で2時間ごとに20～30分冷やしましょう。
- * 氷は直接皮フに当てず、タオルや布で包んでから冷やしましょう

まず、P6の質問を確認してください。

手足・顔面のけが(大人・子ども)

主な 症状

「手足にけがをした」 「手足が折れた」
「顔をけがした」 「打ち身」 「打撲」 など

赤

- 変形している。
- 身動きができない。
- 手足が自分で動かせない。
- 激しい痛みがある。
- 出血が続いている。
- 力が入らない。
- 手足にしびれがある。
- ものが二重に見え、かつ、顔にけがをしている。
- けがした手足の指先が逆の指と比べて冷たい、または、青ざめている。
- 手足に体重をかけられない。
- 傷の部位に近い関節が動かせない。
- あごをけがし、口が開けられない。
- あごをけがし、口を動かすと痛みが強くなる。
- 骨のようなものが見える。
- けがをしてから30分以内に痛み、腫れや変色が出現した。

いいえ

はい

119

黄

- 関節に痛みや腫れがあり十分に動かせない。 外科系
- けがをした後、48時間経過しても、腫れや打ち身がひどい。 外科系
- あごをけがし、歯の並びがおかしい。 外科系
- 説明がよくできない高齢者である。 外科系
- 数日前の傷がまた痛むようになった。
または、疼痛、発赤、腫れ、熱感のどれかがある。 外科系

いいえ

はい

- 妊娠している
- 歩けない

はい

119

いいえ

今すぐ受診

緑

- けがをしてから48時間たってから、腫れてきた、色が変わった。 外科系

いいえ

はい

- 65歳以上である
- 妊娠している
- 歩けない

はい

今すぐ受診

いいえ

当日又は翌日の
通常時間に受診



すべての項目に該当しない場合

現時点では緊急性はありません。ただし症状が悪化した場合や
変わらず続く場合には、診療所や病院への受診をお勧めします。

まず、P6の質問を確認してください。

鼻のけが・鼻血(大人・子ども)

主な 症状

「鼻を打った」「鼻血が出る」
「鼻汁、鼻漏が出る」「鼻が痛い」
「鼻(の周囲)が腫れている」「鼻(の周囲)が痛い」

赤

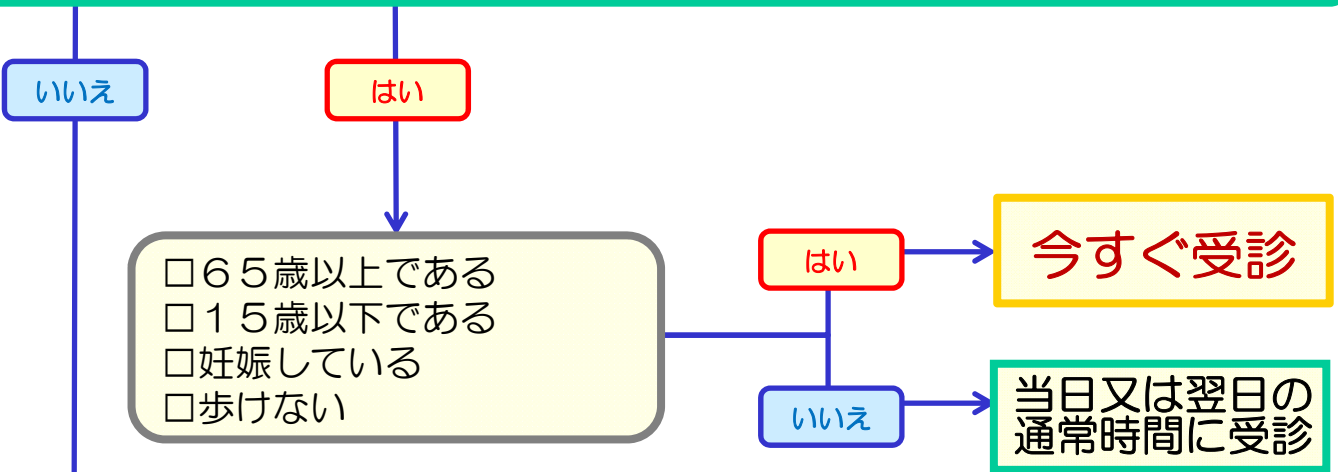
- 鼻のけがをしてから、頭痛、眼やその周囲の痛みがある。
- 鼻のけがをしてから、息がしづらい。または、しゃべりにくい。
- 鼻のけがをしてから、吐き気やおう吐がある。
- 鼻のけがをしてから、意識がもうろうとしている。
- 鼻のけがをしてから、視力障害（二重に見える、もやがかかっているように見える、見える範囲が欠けている・狭いなど見えかたの変化）がある。
- 鼻のけがをしてから、動きや話の様子が普段と違っている。
- 鼻のけがをしてから、透明の鼻水が継続して出ている。または、耳の穴から出血や透明の耳だれがある。
- 圧迫をしても、鼻血が30分以上継続している。
- 鼻血が多い。（コップ1杯以上・約100cc以上）
- 鼻がくぼんでいる。または、曲がっている。
- 眼の周りが腫れている。
- 鼻に大きなきずがある。

いいえ

はい

119

- 最近頻繁に鼻血を繰り返していた。 内科系 外科系
- 血は止まっている。 内科系 外科系
- 止まりそうだが心配である。 外科系
- 鼻の腫れがある。 外科系
- 鼻の痛みがある。 外科系
- 鼻に打撲痕（内出血）や小さな擦り傷、切り傷がある。 外科系
- 鼻がつまっている。 外科系



すべての項目に該当しない場合
現時点では緊急性はありません。ただし症状が悪化した場合や変わらず続く場合には、診療所や病院への受診をお勧めします。



～鼻血の応急手当～

- 小鼻を指でつまむようにしっかり押さえ、安静にする。
- 後頭部を叩いてはいけません。
- 前かがみに座り、血液は飲み込まずに吐き出す。

まず、P6の質問を確認してください。

息が苦しい（こども）

主な 症状

「息が苦しい(苦しそうだ)」 「呼吸が苦しい」
「息が荒い」 「肩で呼吸をしている」
「ヒューヒュー、ゼーゼーする」「息ができない」 など

赤

- きちんと息ができない状態である。
- 胸が痛い。
- 顔や唇の色が紫色をしている。
- 意識がないようだ。（受け答えができない、呼びかけに反応しない）
- 何か食べたり、口にくわえたりして遊んでいた。（ピーナッツなどの豆類）
- 盛り上がった発疹（ブツブツ）があり、かゆがっている。
- ヒューヒュー、ゼーゼーが強い。
- 深呼吸ができない。
- 息を吐くときの時間が長くなっている。
- 何か変なものを吸い込んだ、または、その可能性がある。

いいえ

はい

119

黄

- 咳がひどい。 ▶ 内科系
- 喘息の治療中で、医師の指示通り薬を使ってもよくなる。 ▶ 内科系
- アレルギーをもっている。 ▶ 内科系
- たんや咳が出る。 ▶ 内科系
- 発熱がある。(38℃以上) ▶ 内科系
- 鼻づまりがひどい。 ▶ 内科系

いいえ

はい

- 1歳未満
- 歩けない

はい

119

いいえ

今すぐ受診

緑

- 以上の項目にあてはまらない。 ▶ 内科系

いいえ

はい

- 1歳未満
- 歩けない

はい

今すぐ受診

いいえ

当日又は翌日の
通常時間に受診



すべての項目に該当しない場合

継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。



- 水分を十分にとらせましょう。
- 喘息などで主治医から発作時の対応について指示があるときは、それを行きましょう。
- 刺激物や症状を悪化させる可能性のあるものは遠ざけてあげましょう。

まず、P6の質問を確認してください。

せき(こども)

主な 症状

「咳が出る」「風邪をひいた」
「むせているようだ」 など

赤

- 唇の色が紫色である。
- 呼吸が浅い、または、苦しそうである。
- 胸を痛がっている。
- 咳が始まる前に何か食べたり、または、口にくわえていた。
- 声がかすれてほとんど聞こえない、または、話ができない。
- 盛り上がった発疹(ブツブツ)があり、かゆがっている。
- 咳とともに多量の出血(喀血)がある。
- 呼吸回数がいつもより多い。
- 立て続けに咳をしていて、息を吸うときに笛のような音が聞こえる。
- 尿量が減っている。または、水分がとれない。
- 症状が突然始まった。

いいえ

はい

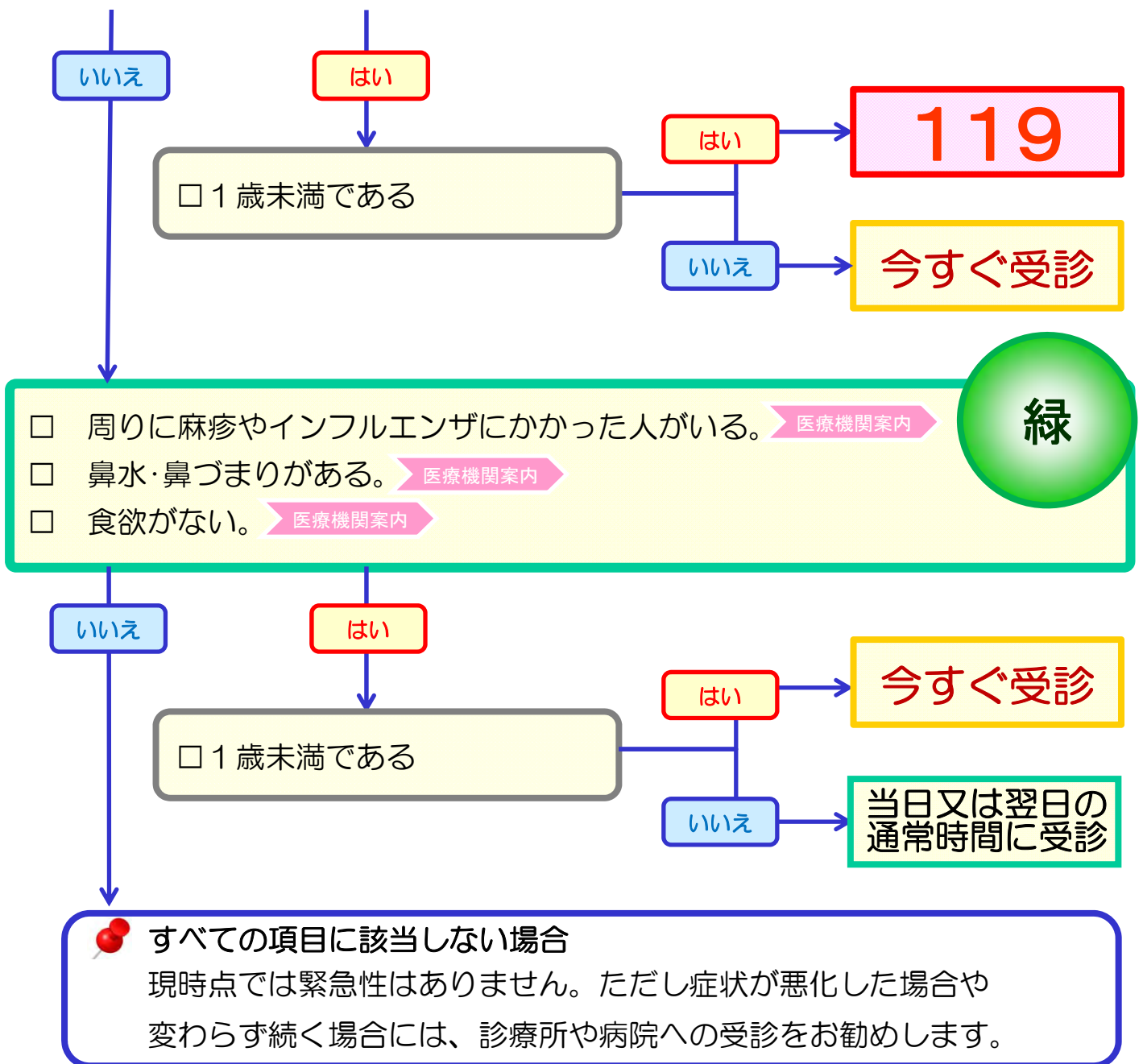
119

黄

- 咳がひどくて眠れない。 医療機関案内
- ゼーゼー、または、ヒューヒューという音が聞こえる。 医療機関案内
- 犬が吠えるような、または、オットセイの鳴き声のような咳をしている。 医療機関案内
- 吐いたり、吐き気がある。 医療機関案内
- 痰がからむ咳である。 医療機関案内
- 咳と一緒に少し血液が出る。 医療機関案内

いいえ

はい



○十分に水分補給させ、室内の乾燥にも注意しましょう。

まず、P6の質問を確認してください。

けいれん・震え(こども)

主な 症状

「ひきつけ」「泡を吹いている」
「白眼をむいている」「ガタガタ震えている」 など

赤









- 生まれて初めてのけいれんである。
- けいれんが続いている。
- 繰り返しけいれんしている。
- 意識が戻らないままである。
- 顔や唇の色が紫色になった。
- 左右で違うけいれんがある。
- 興奮している。または、あばれている。
- 最近激しく頭をぶつけた。

いいえ

はい

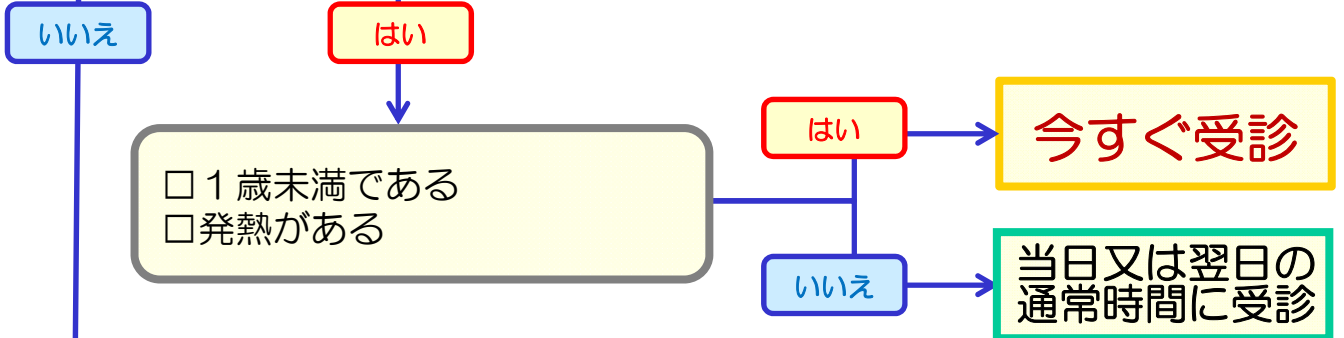
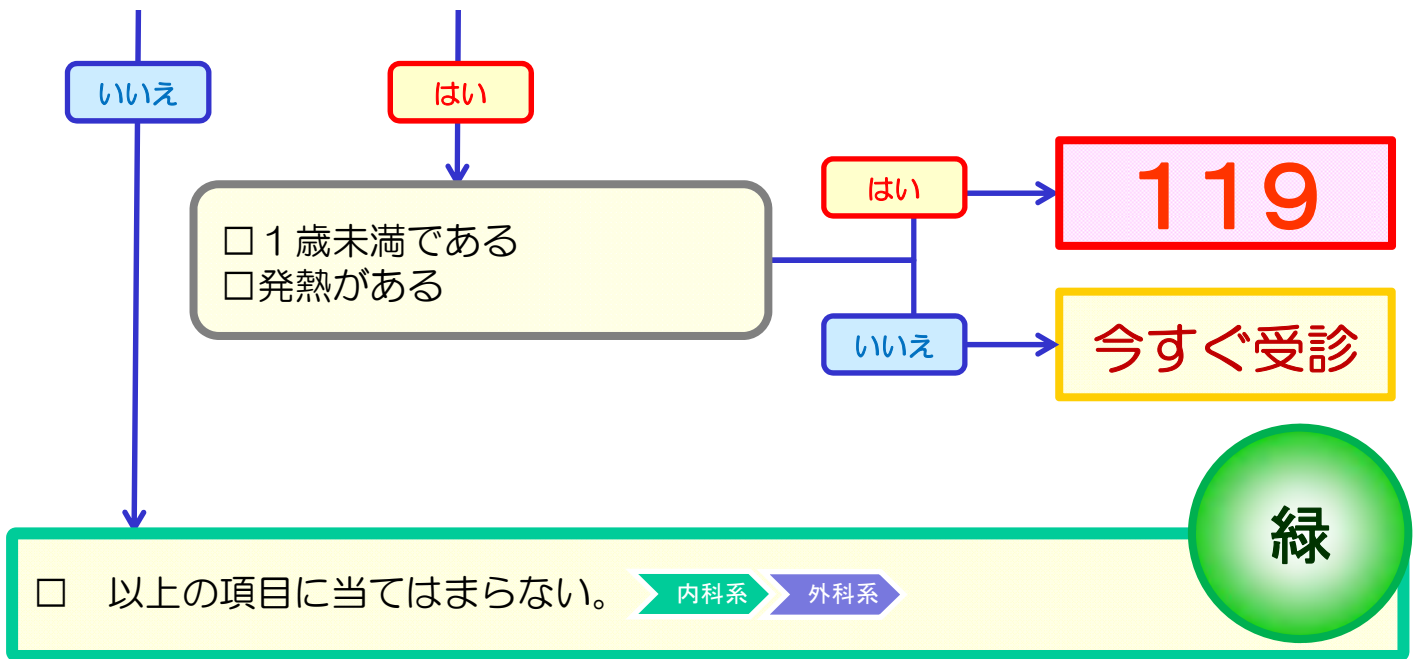
119

黄

- けいれんかどうかわからない。  
- 予防薬(ダイアップ坐薬など)の手持ちが切れてしまった。  
- 意識が戻っても、不機嫌な状態が続いている。  
- 今までに何回も、けいれんを起こしている。  

いいえ

はい



すべての項目に該当しない場合
 現時点では緊急性はありません。ただし症状が悪化した場合や
 変わらず続く場合には、診療所や病院への受診をお勧めします。



- あおむけに寝かせたら、顔を横向けにして衣服をゆるめてください。
- 口にものをくわえさせないようにしてください。
- てんかんや熱性けいれんの予防薬として処方されている場合は、服用させてもよいでしょう。

まず、P6の質問を確認してください。

発熱（こども）

主な
症状

「熱が出た」「熱がある」「体が熱い」
「悪寒がする」「震えている」
「熱が下がらない」 など

赤

- 意識がもうろうとしている。または、おかしいことを口走っている。
- 1日中ウトウトしている。
- 興奮している。または、あばれている。
- ひどい頭痛がある。

いいえ

はい

119

黄

- 生後3カ月未満で、38℃以上の発熱がある。 内科系 外科系
- 尿の量が減ったり、尿の色が濃くなったりしている。 内科系 外科系
- 水分を十分にとれていない。 内科系 外科系
- ひどい下痢をしている。 内科系 外科系
- 吐き気がある。 内科系 外科系
- 皮膚や唇が乾いている。 内科系 外科系
- ひどい腹痛がある。 内科系 外科系
- ステロイド剤服用中、免疫不全、悪性腫瘍、先天性心疾患などで病院にかかっている、熱が出たらすぐ病院に行くように言われている。 内科系 外科系
- 暑い所にしばらくいた。または、激しい運動の後である。 内科系 外科系
- 熱（38℃以上41℃未満）があり、まだ病院を受診していない。 内科系 外科系
- 痰（たん）のからんだせきが出る。または、黄色や緑色の鼻水が出る。 内科系 外科系
- 尿を出すときに痛がる。 内科系 外科系
- 全身が赤い、または、発疹（体が赤くなっている。または、じんましんのようにブツブツが出ている）がある。 内科系 外科系
- 耳を痛がっている。 外科系
- 耳の穴から膿（うみ）が出ている。または、耳だれがある。 外科系

いいえ

はい

今すぐ受診

緑

- 以上の項目にあてはまらない。 内科系 外科系

はい

当日又は翌日の通常時間に受診



- あまり厚着をさせず、楽な服装をさせましょう。ただし、寒気があるときは温かくしてあげましょう。
- 冷やす場合は、わきの下や足の付け根をタオルでくるんだ保冷剤や濡らしてよく絞ったタオルを当ててあげましょう。嫌がったら無理にする必要はありません。
- 処方された解熱剤がある場合は、38.5℃以上の場合に服用させてもよいでしょう。

まず、P6の質問を確認してください。

腹痛(こども)

主な 症状

「おなかが痛い」「おなかが張っている」「おなかをさわると痛がる・激しく泣く」など

赤

- 強いおなかの痛みが急にきた、または、ずっと続いている。
- おなかが痛くて歩けない。
- おなかをさわると痛がる。
- おなかが張っている。
- 嘔吐、または、ひどい下痢がある。
- 吐いたものに血(赤や黒っぽい)が混じっている。
- 便にたくさんの血が混じっている。
または、便にイチゴゼリー様のものが混じっている。
- 尿量が減っている、または、尿が濃くなっている。
- おまた(股の付け根、陰囊など)が膨らんでいる。
- 激しく泣く、または、ぐったりしている。
- 痛みはよくなったり悪くなったりを繰り返しながら、続いている。
- 痛みがだんだん強くなっている。

いいえ

はい

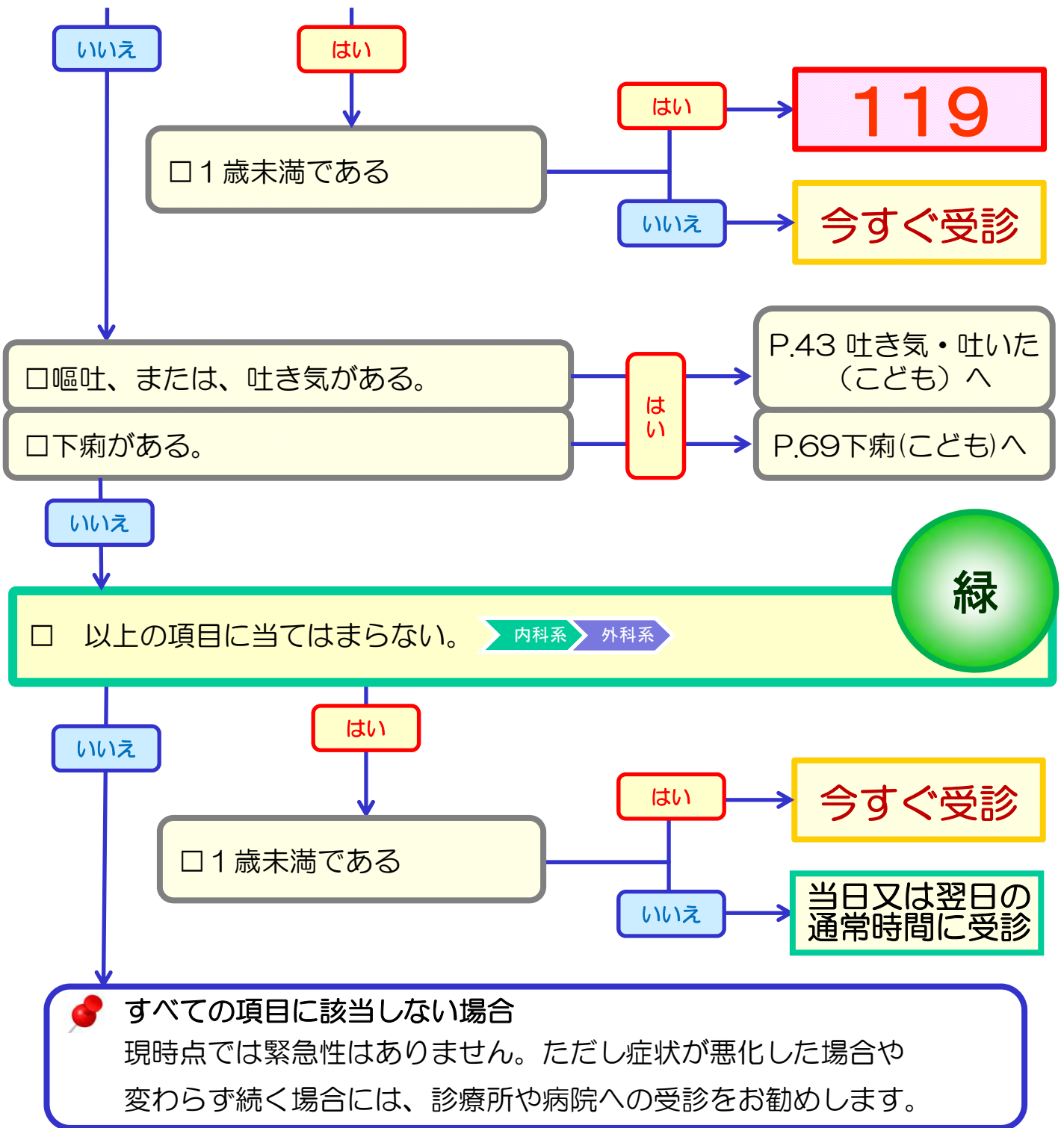
119

黄

- 38℃以上の発熱がある。 ▶ 内科系 ▶ 外科系
- 尿に血液が混じっている。 ▶ 内科系 ▶ 外科系
- 尿が出るとき痛がる。 ▶ 内科系 ▶ 外科系

いいえ

はい



○ 飲んだり食べたりできるようなら、水分や消化のよい食事を少しずつ試してみましょう。

まず、P6の質問を確認してください。

吐き気・吐いた（こども）

主な 症状

「吐いた」 「吐いている」
「吐きそう」 「気持ちが悪そう」 など

赤

- 何度も繰り返し吐いている。
(回数の目安：6回以上、または、吐いたものの中に食べたものや固形物が見られなくなっても2~3回以上繰り返して吐いている)
- 吐いたものに血、または、緑がかった液体が混じっている。
- 38℃以上の熱がある。
- 尿が半日以上出ていない。
- 無表情でウトウトしている。または、元気がなく、ぐったりしている。
- (乳児の場合) ミルクを飲んだ後に、3~4回以上ふきだすように勢いよく吐く。
- 強いおなかの痛みがある。
- 頭を激しく痛がっている。
- 便に血液、または、イチゴゼリーのようなものが混じっている。
- おなかがパンパンに張っている。
- 泣いても涙がほとんど出ていない。
- おなかを強く打った。

いいえ

はい

119

黄

- 少しの水分をとらせても吐いてしまう。 内科系 外科系
- だんだん吐き気が強くなってきている。 内科系 外科系
- 熱がある。 内科系 外科系
- 尿の量が減ったり、尿の色が濃くなったりしている。 内科系 外科系
- 頻繁に下痢がある。 内科系 外科系
- 皮膚や唇が乾いている。 内科系 外科系
- せきがひどい。 内科系 外科系
- 現在は吐いていない。または、気持ち悪がっている。 内科系 外科系
- 家族・近所・保育園・幼稚園・学校などで同じような症状の人が
多い。 内科系 外科系
- 一緒に食事をした人が、同様の症状を訴えている。 内科系 外科系
- 最近、外食・生もの・保存状態のよくない食品などを食べた。 内科系 外科系

いいえ

はい

今すぐ受診

緑

- 便秘をしている。 内科系 外科系
- 同じような症状を以前からよく起こしている。 内科系 外科系

いいえ

はい

当日又は翌日の
通常時間に受診



すべての項目に該当しない場合

継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。



- 吐き気の強いときは、1～2時間おいた後、水分補給からはじめてみましょう。
- お腹が空いていてもすぐに食べさせず、少しずつ様子を見ながらはじめましょう。

まず、P6の質問を確認してください。

下痢(こども)

主な 症状

「下痢している」「おなかを下している」「便(ウンチ)がゆるい」など

赤

- 元気がなく、ぐったりしている。
- 嘔吐、または、ひどくお腹をいたがっている。
- 尿が半日以上出ていない。
- 泣いてもほとんど涙が出ない。
- 便と一緒にたくさんの血が混じっている。
または、便にイチゴゼリー様のものが混じっている。
- 皮膚や唇が乾いている。
- 尿量が減ったり、尿が濃くなったりしている。
- おなかをかなり痛がっている。

いいえ

はい

119

黄

- 頻りに下痢をしている。 ▶ 内科系 ▶ 外科系
- 38℃以上の発熱がある。 ▶ 内科系 ▶ 外科系
- 水分が十分にとれていない。 ▶ 内科系 ▶ 外科系
- 1週間以内に海外旅行をした。 ▶ 内科系 ▶ 外科系

いいえ

はい

1歳未満である

はい

119

いいえ

今すぐ受診

緑

以上の項目に当てはまるものがない。 ▶ 内科系 ▶ 外科系

いいえ

はい

1歳未満である

はい

今すぐ受診

いいえ

当日又は翌日の
通常時間に受診



すべての項目に該当しない場合

現時点では緊急性はありません。ただし症状が悪化した場合や
変わらず続く場合には、診療所や病院への受診をお勧めします。



- 飲めるようなら、少しずつ水分を試してみましょう。
- 下痢が良くなってきたら、消化の良いもの(おかゆ、おじや、うどんなど)から、少しずつ始めてみましょう。
- お尻がかぶれないように、こまめに洗ってあげましょう。

まず、P6の質問を確認してください。

頭・首のけが（こども）

主な 症状

「頭をぶつけた」 「落ちた」
「頭から血が出た」 など

赤

- 数回にわたって吐いている。
- 片側の腕があがらない。または、反対側と比べてあがりが悪い。または、腕のあがり具合に左右差がある。
- サラサラした液体が鼻、または、耳からポタポタと出ている。
- 押さえても、鼻血が止まらない。または、直接ぶつけていないのに耳から血が出ている。
- 頭からの出血が多い。または、出血をタオルやガーゼで圧迫しても止まらない。
- 首をかしげる姿勢をとっている。または、まっすぐ体を向かせても横を向いてしまう。
- 手足で動きにくいところがある。または、手足にしびれがある。
- けがをした後、または、けがをした時に意識がなくなった。
- 意識はしっかりしているが、頭が痛いと言っている。
- めまいがする。
- 目が見えにくかったり、ものが二重に見えたりする。
- 1回吐き、さらに元気がない。
- 同じことを何度も質問する。
- 首の後ろ側をさわると痛がる。

いいえ

はい

119

黄

- 起こせば起きるが、元気がない。 外科系
- 頭から出血していたが今は止まった。または、タオルやガーゼで圧迫して止まっている。 外科系
- 38℃以上の熱がある。 外科系
- 1回吐いたが、その後は普通である。 外科系
- 大きなこぶがあるが、普段と様子に変わりはない。 外科系

いいえ

はい

今すぐ受診

緑

- 普段ととくに変わった様子はない。(37℃台の熱を含む) 外科系
- けがをしてからすでに2日(48時間)以上経っているが心配だ。 外科系

いいえ

はい

当日又は翌日の通常時間に受診

 **すべての項目に該当しない場合**

継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。



- けがをしてから48時間は、できるだけ安静にしましょう。
- 鼻血のときは、①小鼻を指でつまむようにしっかり押さえ、安静にさせる、②後頭部は叩かない、③前かがみに座り、血液を飲み込まず吐き出させる、ことに注意し止血してください。

まず、P6の質問を確認してください。

耳痛・耳だれ(こども)

主な 症状

「耳が痛い」「耳を痛がる」「耳だれが出ている」など

赤

□ 片方だけ顔の動きが悪い。(表情がおかしい)

いいえ

はい

119

黄

- 耳の周囲、または、顔の片側が赤く腫れている。 医療機関案内
- 耳、または、その周囲の痛みが強い。 医療機関案内
- 耳の周囲、または、顔の片側が腫れている。(赤みはない) 医療機関案内
- 耳の穴から膿(うみ)、耳だれが出ている。 医療機関案内
- 痛み止めを飲んでも効かないほどの痛みである。 医療機関案内
- 耳からの出血がある。
または、耳だれ(耳から出た膿)に血が混じっている。 医療機関案内
- 耳に何か(虫など)が入ったようだ。 医療機関案内
- 耳鳴り、または、聞こえにくい。 医療機関案内

いいえ

はい

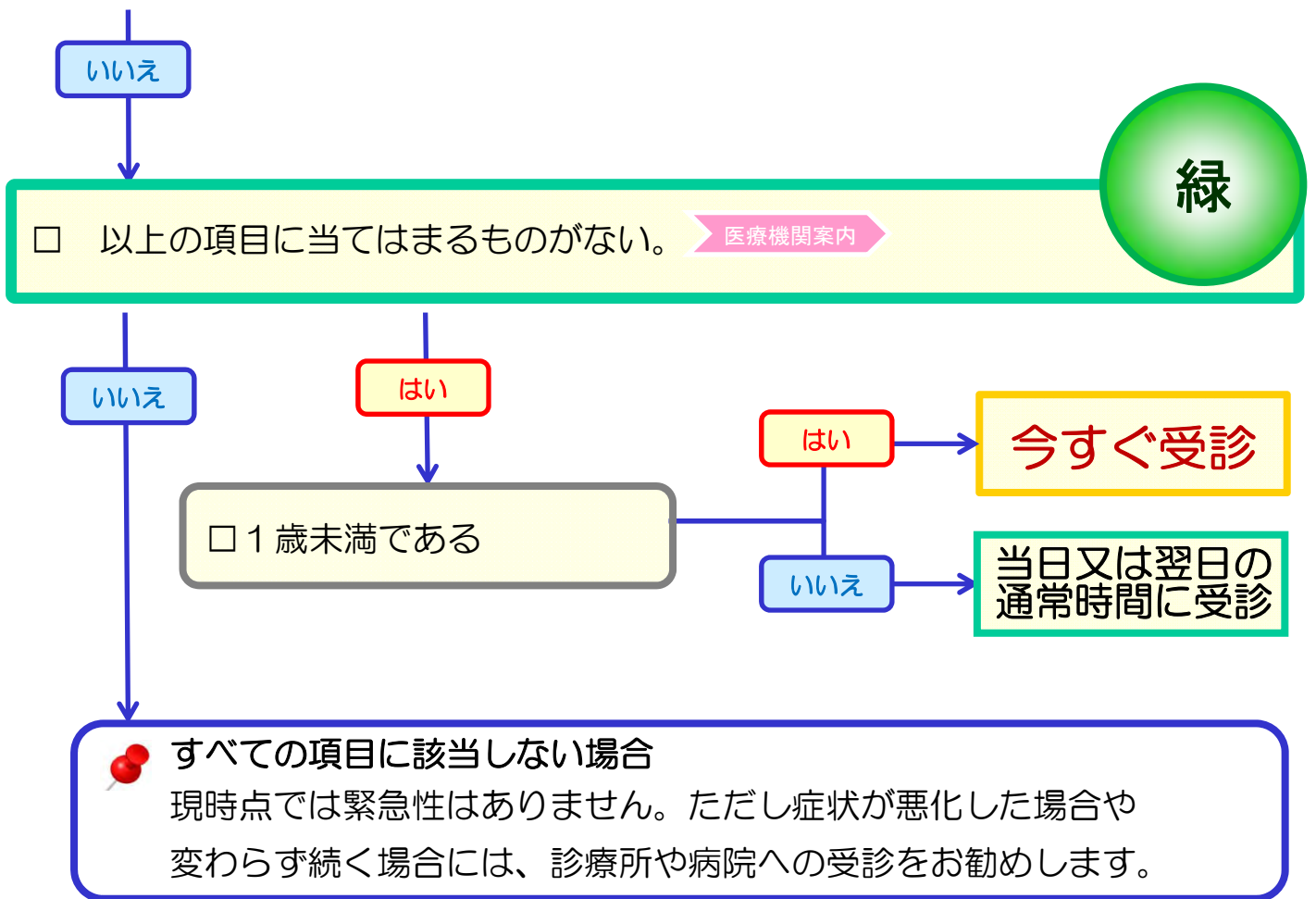
□ 1歳未満である

はい

いいえ

119

今すぐ受診



- 腫れや痛みがある場合は、冷やしてあげましょう。
- 処方された薬があれば、服用させてもよいでしょう。

まず、P6の質問を確認してください。

発疹(こども)

主な 症状

「発疹」「皮膚のブツブツ」「湿疹」「蕁麻疹」
「体がかゆそう」 など

- 眼の周りや顔がむくんできた。
- 呼吸が苦しい、声がかすれる、咳の症状がある。
- 今までにひどいアレルギー症状が出たことがある。
- 急に口の中や舌が腫れてきた。
- 赤や紫色の押しても消えない発疹があり、その他にたくさんみられる。

赤

いいえ

はい

119


黄

- 全身に盛り上がった発疹があり、かゆがっている。▶ 内科系 ▶ 外科系
- かゆくて眠れない。▶ 内科系 ▶ 外科系
- 発熱、目やに、咳、鼻水などがひどく、元気がない。▶ 内科系 ▶ 外科系
- 薬を飲んだら発疹が出た。▶ 内科系 ▶ 外科系
- 小さな水ぶくれがポチポチと出てきた。▶ 内科系 ▶ 外科系
- 盛り上がった発疹が散在していて、かゆがっている。▶ 内科系 ▶ 外科系
- 舌にイチゴのようなザラザラがある。▶ 内科系 ▶ 外科系
- 眼や唇が真っ赤である。▶ 内科系 ▶ 外科系
- 皮膚のブツブツから膿や、汁が出ている。▶ 内科系 ▶ 外科系

いいえ

- 上記に該当しないさまざまな発疹(がある)。 ▶ 内科系 ▶ 外科系
- 最近予防接種を受けた。 ▶ 内科系 ▶ 外科系
- 手足、とくに手のひら、足の裏に水をもった発疹があり
□内炎もある。 ▶ 内科系 ▶ 外科系
- 麻疹、風疹、水ぼうそうなどが周りで流行っている。 ▶ 内科系 ▶ 外科系
- 日焼けをした。 ▶ 内科系 ▶ 外科系
- 草原や野山で遊んだ。 ▶ 内科系 ▶ 外科系
- リンゴのような赤いほっぺたになっている。 ▶ 内科系 ▶ 外科系

いいえ

 **すべての項目に該当しない場合**
現時点では緊急性はありません。ただし症状が悪化した場合や
変わらず続く場合には、診療所や病院への受診をお勧めします。



- かゆみが強いときは、冷たいタオルなどで冷やしてみましょう。
- かゆみ止めの薬を処方してもらっている場合は、服用させてもよいでしょう。
- お子さんがブツブツを搔かないよう、注意しましょう。

7. 電話相談窓口等について

直接看護師と病気やけがの緊急度について相談をしたり、医療機関情報をお知りになりたい方は、下記にある電話相談窓口等をご利用ください。（平成〇〇年〇〇月現在）

〇〇市救急安心センター

（24時間・年中無休）

受付電話番号 **#7119**（携帯電話・PHS・プッシュ回線）

つながらない場合は

〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇（IP電話・ダイヤル回線など）

主なサービス

- 緊急性の判断
- 受診の必要性の判断
- 応急手当のアドバイス
- 医療機関案内

以下についてはお答え
できない場合があります

- 医薬品情報に関すること
- 健康相談に関すること
- セカンドオピニオンなど

電話サービス

救急病院以外の診療所やクリニックをお探しの場合

〇〇市救急医療情報センター

〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

URL : 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

24時間対応〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

化学物質（たばこ、家庭用品など）、医薬品、動植物の毒などによって起こる急性中毒に関する情報提供

中毒110番（24時間対応）

〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

関連インターネットサイト

日本小児科学会 こどもの救急

www.kodomo-qa.jp

中毒110番

（公益財団法人日本中毒情報センター）

<http://www.j-poison-ic.or.jp/homepage.nsf>

消防庁 救急車利用マニュアル

www.fdma.go.jp/html/life/kyuukyusya_manual/



火事・救急は**119**



住所

電話番号

ご自宅周辺の目標物

緊急時の連絡先

※ 緊急時、あわてずに119番通報できるように、ご活用ください。

救急受診ガイド 2014年版（平成〇〇年〇〇月発行）



発行

〇〇市消防本部

〒〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

総務省消防庁版	横浜市消防局案	備考
		<p>総務省消防庁版記載の「もくじ」は「救急受診ガイドの使い方」のページに統合しました。</p> <p>総務省消防庁版記載の「はじめに」は救急受診ガイドの裏表紙へ移動しました。</p> <p>救急受診ガイド全頁でフォントサイズ12ポイント以上を使用しました。</p>
<p>1. はじめに</p> <p>病院に行った方がいいのか、行くならば、救急車を呼んだ方がいいのか、自分で病院やクリニックを受診した方がいいのか、どれくらい急いで受診した方がいいかなどについて判断することは、なかなかむずかしいものです。</p> <p>『救急受診ガイド2014年版』は、急な病気やけがをして「病院を受診した方がいいか?」「救急車を呼んだ方がいいか?」と迷った時に、ご自身の判断の一助になることを目的に、消防庁でおこなった「緊急度判定体系に関する検討会」において、日本救急医学会のガイドラインを参考に作成しています。</p> <p>※この『救急受診ガイド2014年版』は、『東京版救急受診ガイド』(日本救急医学会監修、東京消防庁救急医療センター・救急センター運用部作成、東京消防庁編集・発行)を参考にしています。</p> <p>■病院やクリニックに行った方がいいかどうか? ■救急車を呼んだ方がいいかどうか? など迷ったときは、ご利用ください。</p> <p>このガイドの内容は、平成25年10月現在の医学的知見を基に作成されています。今後、内容は変更される可能性があります。</p>	<p>2. 上手にこのガイドを使うには 救急受診ガイドの使用方法</p> <p>①まず、症状にかかわらず、P6の質問からはじめてください。</p> <p>②各症状のページの使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 質問にひとつでも該当する項目があれば 赤 全て該当しなければ 黄 受診する診療科の例 黄 緑 <p>【例】下記の場合、「今すぐ受診」という判定結果になります。</p> <p><input type="checkbox"/> 深呼吸することができない、 赤</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 嘔吐がをした。または、手首を怪ねたことがある。 赤</p> <p>119 今すぐ受診</p> <p><input type="checkbox"/> かなたのような症状(発熱、嘔吐、頭痛、せき、鼻水など)がある。 黄</p> <p><input type="checkbox"/> 鼻づまりがある。 黄</p>	<p>「救急受診ガイドの使用方法」及び「緊急度の分類」を「救急受診ガイドの使い方」のページに統合しました。(記載内容についても簡略化を行いました。)</p>
<p>2. 上手にこのガイドを使うには 緊急度の分類</p> <p>赤 『救急車を呼びましょう』 緊急度が高いと思われる時、今すぐ119番に電話しましょう。</p> <p>黄 『今すぐに医療機関を受診しましょう』 2時間以内をめやすに病院に行かれた方がいいでしょう。</p> <p>緑 『医療機関を受診しましょう』 緊急ではありませんが、受診した方がいいでしょう。夜間でしたら、翌日の診察でも構いません。</p> <p>すべての項目に該当しない場合 継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。</p>	<p>3. 救急車が来るまでに用意しておくもの</p> <p>救急車を呼んだら、こんな物を用意しておくくと便利です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保険証や診療券 お金 靴 着替え(おくすり手帳) 乳幼児の届出 母子健康手帳 紙おむつ 尿尿瓶 タオル <p>救急車が来たら、こんなことを伝えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 症状や病状が悪くなった状況や救急車が到着するまでの変化 行った病院や診療所の内容 病状の悪い方の情報(持病、かかりつけの病院やクリニック、着替えなど) <p>※持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、日頃からメモしておくとおくと便利です。</p>	<p>「救急受診ガイドの使い方」及び「緊急度の分類」を「救急受診ガイドの使い方」のページに統合しました。(記載内容についても簡略化を行いました。)</p> <p>ページの統合と記載内容を整理することにより、2ページ目からのガイドの使用を可能としました。</p>
<p>1. はじめに</p> <p>病院に行った方がいいのか、行くならば、救急車を呼んだ方がいいのか、自分で病院やクリニックを受診した方がいいのか、どれくらい急いで受診した方がいいかなどについて判断することは、なかなかむずかしいものです。</p> <p>『救急受診ガイド2014年版』は、急な病気やけがをして「病院を受診した方がいいか?」「救急車を呼んだ方がいいか?」と迷った時に、ご自身の判断の一助になることを目的に、消防庁でおこなった「緊急度判定体系に関する検討会」において、日本救急医学会のガイドラインを参考に作成しています。</p> <p>※この『救急受診ガイド2014年版』は、『東京版救急受診ガイド』(日本救急医学会監修、東京消防庁救急医療センター・救急センター運用部作成、東京消防庁編集・発行)を参考にしています。</p> <p>■病院やクリニックに行った方がいいかどうか? ■救急車を呼んだ方がいいかどうか? など迷ったときは、ご利用ください。</p> <p>このガイドの内容は、平成25年10月現在の医学的知見を基に作成されています。今後、内容は変更される可能性があります。</p>	<p>救急受診ガイドの使い方</p> <p>①各ページの質問に答えながら病状やけがの緊急度を判断します。(救急車の要請や医療機関を受診する際の参考としてください。)</p> <p>②まず、P. 2の質問からはじめてください。</p> <p>緊急度の判断について</p> <p>赤 『救急車を呼びましょう』 緊急度が高いと思われる時、今すぐ119番に電話しましょう。</p> <p>黄 『今すぐに医療機関を受診しましょう』 2時間以内をめやすに病院に行かれた方がいいでしょう。</p> <p>緑 『医療機関を受診しましょう』 緊急ではありませんが、受診した方がいいでしょう。夜間でしたら、翌日の診察でも構いません。</p> <p>すべての項目に該当しない場合 継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。</p> <p>目次</p> <ul style="list-style-type: none"> はじめに 重読する症状 02 救急医療情報センター・小児救急電話相談・夜間救急センター 79 各区分科診療所・その他の医療情報 81 救急車を呼んでほしい症状(大人) 83 救急車を呼んでほしい症状(小児) 84 救急車が来るまでに用意しておくもの 85 救急情報シート 86 <p>※救急受診ガイドについては裏表紙をご覧ください。</p>	<p>「救急受診ガイドの使い方」及び「緊急度の分類」を「救急受診ガイドの使い方」のページに統合しました。(記載内容についても簡略化を行いました。)</p> <p>ページの統合と記載内容を整理することにより、2ページ目からのガイドの使用を可能としました。</p>

4. 症状にかかわらず、はじめに必ず確認する症状

- 呼吸をしていない。息がない。
- 脈がない。心臓が止まっている。
- 水没している。沈んでいる。
- 冷たくなっている。
- 呼びかけても、反応がない。
- 普通にしゃべれない。声が出せない。
- 顔色、唇、耳の色が悪い。冷や汗をかいている。

このような症状にあてはまれば、
すぐに119番に電話して
救急車を呼びましょう。



※上記以外の症状の場合は、p.7～8の症状一覧より
選択してください。

はじめに確認する症状

- 呼びかけても、反応がない。
- 普通にしゃべれない。声が出せない。
- 顔色、唇、耳の色が悪い。冷や汗をかいている。
- 冷たくなっている。
- 水没している。沈んでいる。
- 呼吸をしていない。息がない。
- 脈がない。心臓が止まっている。

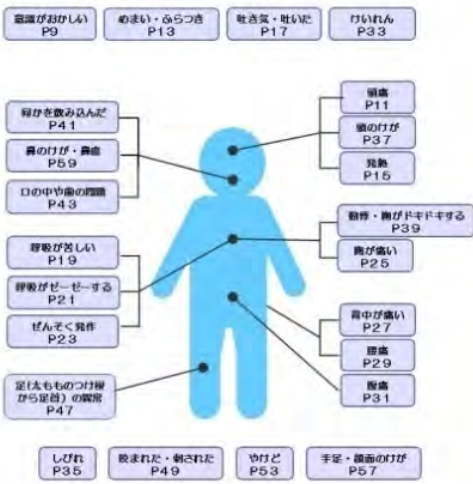
症状があてはまれば、すぐに119番
救急車を呼びましょう。



※上記以外の症状は、3～4ページの症状一覧から
選択してください。

5. 症状一覧(大人)

大人(16歳以上)



症状一覧(大人)

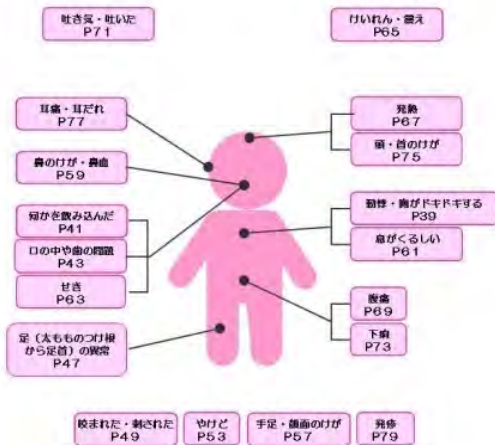
どのような症状ですか？

意識がおかしい P5	けいれん P29
頭痛 P7	しびれ P31
めまい・ふらつき P9	頭のけが P33
発熱 P11	動悸 胸がドキドキする P35
吐き気・嘔吐 P13	何かを飲み込んだ P37
呼吸が苦しい P15	口の中や歯の隙間 P39
呼吸がせーせーする P17	足(太もものつけ根から足首)の異常 P43
ぜんそく発作 P19	咬まれた・刺された P45
胸が痛い P21	やけど P49
背中が痛い P23	手足・顔面のけが P53
腰痛 P25	鼻のけが・鼻血 P55
腹痛 P27	

大人(16歳以上)

6. 症状一覧(子ども)

子ども(15歳以下)



症状一覧(子ども)

どのような症状ですか？

めまい・ふらつき P9	せき P59
動悸 胸がドキドキする P35	けいれん・震え P61
何かを飲み込んだ P37	発熱 P63
口の中や歯の隙間 P39	頭痛 P65
足(太もものつけ根から足首)の異常 P43	吐き気・嘔吐 P67
咬まれた・刺された P45	下痢 P69
やけど P49	頭・首のけが P71
手足・顔面のけが P53	耳痛・耳だれ P73
鼻のけが・鼻血 P55	発熱 P75
息がくるしい P57	

子ども(15歳以下)

呼びかけに対する反応や発語に関する症状を選択項目の上位にレイアウト変更しました。(一般市民は呼吸や正確な脈の確認が困難であることが予想されるため、症状把握が比較的容易である症状を上位としました。)

自身の症状を探す際には、文字を目で追うことを重視してレイアウト及びフォントサイズを変更しました。

子どもの症状一覧についても同様の変更をしました。

まず、P.6の質問を確認してください。

呼吸が苦しい(大人)

主な症状

「息が苦しい」	「呼吸が苦しい」	「息苦しい」
「息が荒い」	「肩で息をしている」	
「息ができない」	など	

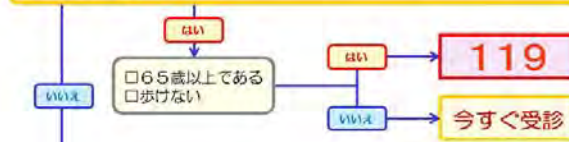
- 急に息苦しくなった。
- 胸の痛みがある。
- 泡のようなピンク色、または、白い痰がたくさん出る。
- しばらく(数時間程度)今の状態が続いている。
- 以前に肺梗塞(エコノミークラス/ロングフライト症候群、深部静脈血栓症、下肢静脈血栓症など)、または、気胸、自然気胸、慢性呼吸不全と言われたことがある。
- ぜんそくと言われたことがあり、ぜんそくの薬が効かなかったことがある。
- 何か変なものを吸い込んだ。または、吐いた後や、むせた後から息苦しくなった。
- 横になると息苦しい。または、苦しくて座らないと息ができない。

赤



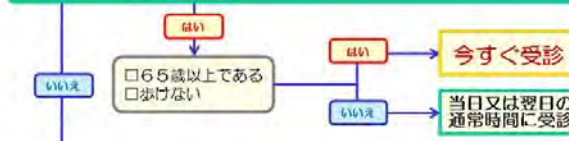
- 深呼吸することができない。
- 最近けがをした。または、手術を受けたことがある。
- (女性のみ) 最近、出産した。または、妊娠の可能性がある。または、妊娠している。
- アレルギーがある。
- せき、または、黄色や緑色の痰(たん)が出ている。
- 熱がある。

黄



- 指や顔がしびれたり、ビリビリしたりする。
- 最近ストレスが多い。
- かぜのような症状(発熱・寒気・頭痛・せき・鼻水など)がある。
- 鼻づまりがある。

緑



すべての項目に該当しない場合
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。

呼吸が苦しい(大人)

主な症状

「息が苦しい」	「呼吸が苦しい」	「息苦しい」
「息が荒い」	「肩で息をしている」	
「息ができない」	など	

質問にひとつでも該当すれば「はい」を選択してください。

- 急に息苦しくなった。
- 胸の痛みがある。
- 泡のようなピンク色、または、白い痰がたくさん出る。
- しばらく(数時間程度)今の状態が続いている。
- 以前に肺梗塞(エコノミークラス/ロングフライト症候群、深部静脈血栓症、下肢静脈血栓症など)、または、気胸、自然気胸、慢性呼吸不全と言われたことがある。
- ぜんそくと言われたことがあり、ぜんそくの薬が効かなかったことがある。
- 何か変なものを吸い込んだ。または、吐いた後や、むせた後から息苦しくなった。
- 横になると息苦しい。または、苦しくて座らないと息ができない。

赤



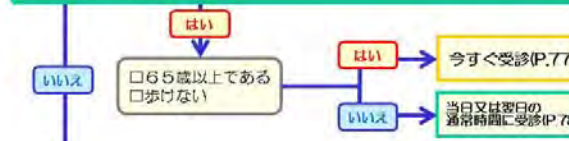
- 深呼吸することができない。
- 最近けがをした。または、手術を受けたことがある。
- (女性のみ) 最近、出産した。または、妊娠の可能性がある。または、妊娠している。
- アレルギーがある。
- せき、または、黄色や緑色の痰(たん)が出ている。
- 熱がある。

黄



- 指や顔がしびれたり、ビリビリしたりする。
- 最近ストレスが多い。
- かぜのような症状(発熱・寒気・頭痛・せき・鼻水など)がある。
- 鼻づまりがある。

緑



すべての項目に該当しない場合
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。

総務省消防庁版、最上段に記載の「まずP.6の質問を確認してください。」を削除しました。(該当する症状のページを開いた使用者が再度、「はじめに確認する症状」のページに戻ることを防ぐための変更です。)

『質問にひとつでも該当すれば「はい」を選択してください』を追加記載しました。

フロー図中の矢印及びフォント等のサイズについて調整を行いました。

フロー図中の「119」の記載について、使用者が救急車の要請が理解できるように追加記載を行いました。

フロー図中の「今すぐ受診」及び「当日又は翌日の通常時間に受診」について、それぞれの対応方法のページへ誘導する記載を行いました。

救急受診ガイド5～76ページまで同様の記載及びレイアウト等の変更を行いました。

7. 電話相談窓口等について

直接看護師と病気やけがの緊急度について相談をしたり、医療機関情報をお知りになりたい方は、下記にある電話相談窓口等をご利用ください。（平成〇〇年〇〇月現在）

〇〇市救急安心センター
（24時間・年中無休）

受付電話番号 **#7119**（携帯電話・PHS・プッシュ回線）
つながらない場合は
〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇（IP電話・ダイヤル回線など）

主なサービス

- ・ 緊急性の判断
- ・ 受診の必要性の判断
- ・ 応急手当のアドバイス
- ・ 医療機関案内

以下についてはお答えできない場合があります

- ・ 医薬品情報に関すること
- ・ 健康相談に関すること
- ・ セカンドオピニオンなど

81

電話サービス

救急病院以外の診療所やクリニックをお探しの場合

〇〇市救急医療情報センター

〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
URL：〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
24時間対応〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

化学物質（たばこ、家庭用品など）、医薬品、動植物の毒などによって起こる急性中毒に関する情報提供

中毒110番（24時間対応）
〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

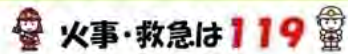
関連インターネットサイト

日本小児科学会 こどもの救急
www.kodomo-qc.jp

中毒110番
（公益財団法人日本中毒情報センター）
http://www.j-poison-ic.or.jp/homepage.nsf

消防庁 救急車利用マニュアル
www.fdma.go.jp/html/life/kyuukyusya_manual/

82



住所

電話番号

ご自宅周辺の目標物

緊急時の連絡先

※緊急時、あわてずに119番通報できるようにご利用ください。

救急受診ガイド2014年版（平成〇〇年〇〇月発行）

発行 〇〇市消防本部
〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地
〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

今すぐ受診する場合

判定結果

黄

『今すぐに医療機関を受診しましょう』
2時間以内をめやすに病院に行かれた方が良いでしょう。

今すぐ受診する場合

救急受診ガイドには、症状にあわせて
等の受診科目の目安を記載しています。医療機関受診の際の参考として下さい。

受診する医療機関に迷う場合は、79ページの**救急医療情報センター**へ問い合わせてください。

夜間や休日、お子さんの急病時などの対応方法について相談したい場合は、79ページの**横浜市小児救急電話相談**へ問い合わせてください。

77

当日又は翌日の通常時間に受診する場合

判定結果

緑

『医療機関を受診しましょう』
緊急ではありませんが、受診した方が良いでしょう。夜間でしたら、翌日の診察でも構いません。

当日又は翌日の通常時間に受診する場合

継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。

受診する医療機関に迷う場合は、79ページの**救急医療情報センター**へ問い合わせてください。

夜間や休日、お子さんの急病時などの対応方法について相談したい場合は、79ページの**横浜市小児救急電話相談**へ問い合わせてください。

78

「今すぐ受診する場合」について、受診のすすめと、救急医療情報センター及び小児救急電話相談の情報ページへの誘導を記載しました。

「当日又は翌日の通常時間に受診する場合」について、症状の悪化や継続の場合は受診するように記載しました。

救急医療情報センター・小児救急電話相談

急な病気やケガをしたときの病院・診療所をご案内しています。

救急医療情報センター

電話 #7499

つながらない場合は
電話 045-227-7499
045-201-1199

FAX 045-212-3808 (聴覚障害者専用)

年中無休/24時間

夜間や休日、お子さんの急病などの対応について看護士による相談を行っています。

横浜市小児救急電話相談

電話 #7499

つながらない場合は
電話 045-227-7499
045-201-1174

平日 18:00～翌朝9:00
土曜 18:00～翌朝9:00
日祝・年末年始 9:00～翌朝9:00

夜間急病センターについて

夜間の急病で受診するときは

横浜市夜間急病センター

内科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科
電話 045-212-3535
住所 中区桜木町1-1
毎夜間/受付時間20時～24時

横浜市北部夜間急病センター

内科・小児科
電話 045-911-0088
住所 都筑区牛久保西1-23-4
毎夜間/受付時間19時30分～24時

横浜市南西部夜間急病センター

内科・小児科
電話 045-806-0921
住所 泉区中田北1-9-8
毎夜間/受付時間19時30分～24時

救急医療情報センター及び小児救急電話相談の情報を記載しました。

横浜市夜間急病センター等の情報について記載しました。

各区休日急患診療所の情報について記載しました。

各区休日急患診療所について

(日曜・休日・年末年始)

施設名	受付時間	診療科目	住所 電話番号
磯見区休日急患診療所	9時50分～15時30分	内科 小児科	磯見区磯見中央3-4-22 ☎045-502-3851
神奈川区休日急患診療所	10時～18時	内科 小児科	神奈川区磯見1-6-4 ☎045-317-5474
西区休日急患診療所	10時～18時	内科 小児科	西区中央1-15-18 ☎045-322-5715
中区休日急患診療所	10時～18時	内科 小児科	中区本牧南2-953 ☎045-622-6372
南区休日急患診療所	9時30分～15時30分	内科 小児科	南区磯見4-76-1 ☎045-731-2416
港南区休日急患診療所	9時45分～15時45分	内科 小児科	港南区港南中央南7-29 ☎045-842-8506
保土ヶ谷区休日急患診療所	9時30分～15時30分	内科 小児科	保土ヶ谷区宝王町1-21 ☎045-325-5075
旭区休日急患診療所	9時30分～18時	内科 小児科	旭区二俣川1-88-16 ☎045-353-2020
磯子区休日急患診療所	10時～18時	内科 小児科	磯子区磯見2-31-6 ☎045-753-6011
金沢区休日急患診療所	9時30分～18時(内・小) 9時30分～12時(産)	内科・産科 小児科	金沢区金沢町43 ☎045-782-5785
港北区休日急患診療所	9時50分～15時50分	内科 小児科	港北区翠木4-4-22 ☎045-435-2211

施設名	受付時間	診療科目	住所 電話番号
緑区休日急患診療所	10時～18時	内科 小児科	緑区中山南1158-6 ☎045-957-2300
青葉区休日急患診療所	9時～12時 13時～18時	内科 小児科	青葉区花2-20-10 ☎045-973-2707
都筑区休日急患診療所	9時30分～18時	内科 小児科	都筑区牛久保西1-23-4 ☎045-911-0088
戸塚区休日急患診療所	9時45分～18時	内科 小児科	戸塚区厚田3-53-2 ☎045-852-6221
栄区休日急患診療所	9時30分～18時	内科 小児科	栄区公園町35-7 ☎045-893-2999
東区休日急患診療所	9時45分～18時	内科 小児科	東区中田北1-9-8 ☎045-801-2280
瀬谷区休日急患診療所	9時30分～18時	内科 小児科	瀬谷区磯見1-26-1 ☎045-302-6115

その他の医療情報について

たばこ・酒類などの摂取の節制をお願いします。

中毒情報相談室(神奈川県医師会)
電話 045-262-4189 年中無休/24時間

大阪中毒110番
電話 072-727-2499 年中無休/24時間

精神疾患の急激な発症や症状の悪化で、早急な医療が必要な方に対応する医療機関の紹介等を行っています。

精神科救急医療情報窓口
電話 045-261-7070
平日 17時～翌朝8時50分 土日祝・年末年始 24時間
平日 8時45分～17時は各区福祉保健センターにご連絡ください。

その他の医療情報として、中毒情報相談室(神奈川県医師会)、大阪中毒110番及び精神科救急医療情報窓口の情報について記載しました。

総務省消防庁作成の「救急車を上手に使いましょう」から、ためらわず救急車を呼んでほしい症状について記載しました。

「救急車が来るまでに用意しておくもの」について記載しました。

救急情報シートについて記載しました。

救急車を呼んでほしい症状一覧(大人)

ためらわず救急車を呼んでほしい症状：大人

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください!
重大な病状やけがの可能性が高いです。

消防庁発行「救急車を上手に使いましょう」から抜粋

救急車を呼んでほしい症状一覧(小児)

ためらわず救急車を呼んでほしい症状：小児(15歳未満)

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください!
重大な病状やけがの可能性が高いです。

消防庁発行「救急車を上手に使いましょう」から抜粋

救急車が来るまでに用意しておくもの

救急車を呼ぶ際は、こんな物を用意しておくとう便利です。

- 保険証や診察券
- お金
- 靴
- 普段履いている薬(おくすり手帳)
- 乳幼児の場合
 - 母子健康手帳
 - 紙おむつ
 - ほ乳瓶
 - タオル

救急車が来たら、こんなことを伝えて下さい。

- 事故や具合が悪くなった状況や救急隊が到着するまでの変化
- 行った応急手当の内容
- 具合の悪い方の情報(持病、かかりつけの病院やクリニック、普段飲んでいる薬、医師の指示など)

※持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、日誌からメモをとりおくと便利です。

救急情報シート (救急車を要請した際の情報提供にご利用ください)

性別	年齢	性別	年齢
氏名		氏名	
生年月日	性別	生年月日	性別
住所		住所	
連絡先		連絡先	
緊急連絡先		緊急連絡先	
かかりつけの医療機関		かかりつけの医療機関	
治療中の病気		治療中の病気	
服用している薬		服用している薬	
アレルギー		アレルギー	
その他(救急隊員に)		その他(救急隊員に)	

個人情報保護法に基づき注意して下さい。

救急受診ガイドについて

病院に行った方がいいのか、行くならば、救急車を呼んだ方がいいのか、自分で病院やクリニックを受診した方がいいのか、どれくらい急いで受診した方がいいのかなどについて判断することは、なかなかむずかしいものです。

『救急受診ガイド』は、急な病気やけがをして「病院を受診した方がいいのか?」「救急車を呼んだ方がいいのか?」と迷った時に、ご自身の判断の一助になることを目的に、消防庁でなくなった「緊急受診判定体系に関する検討会」において、日本救急医学会監修のプロトコルを基に作成しています。

※この『救急受診ガイド』は、『救急受診ガイド2014年版』(総務省消防庁救急企画編集・発行)を参考にしています。

- 病院やクリニックに行った方がいいかどうか?
 - 救急車を呼んだ方がいいかどうか?
- などで迷ったときは、ご利用ください。

このガイドの内容は、平成25年10月現在の医学的知見に基づき作成されています。今後、内容は変更される可能性があります。

救急受診ガイド(平成26年●●月発行)

発行 横浜市消防局救急対策課
〒240-0001
神奈川県横浜市保土ヶ谷区川辺町2-9
045-334-6773

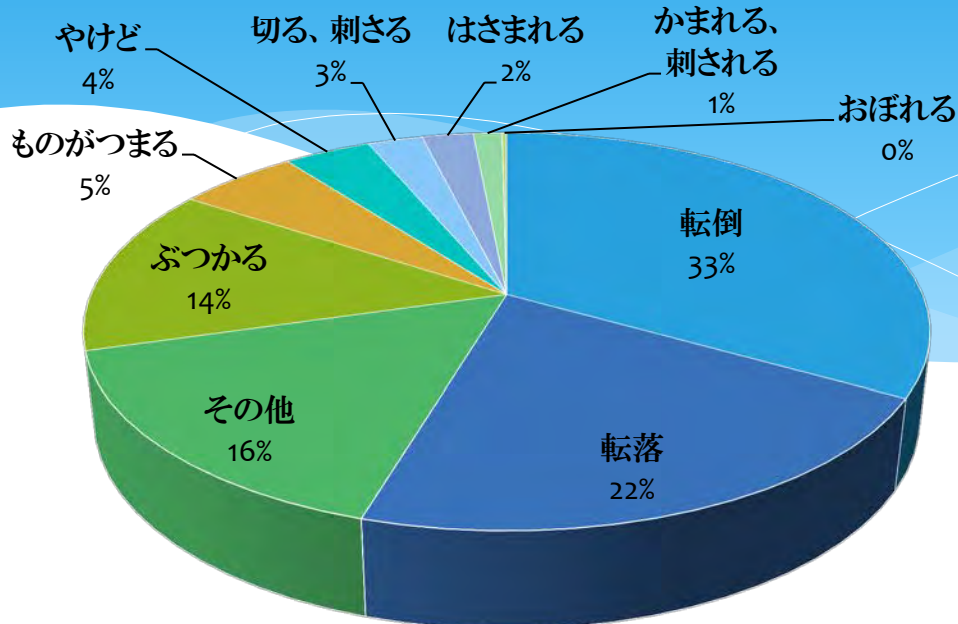
裏表紙に「救急受診ガイドについて」及び発行元等の情報を記載しました。

ケガの予防対策 【こども編】

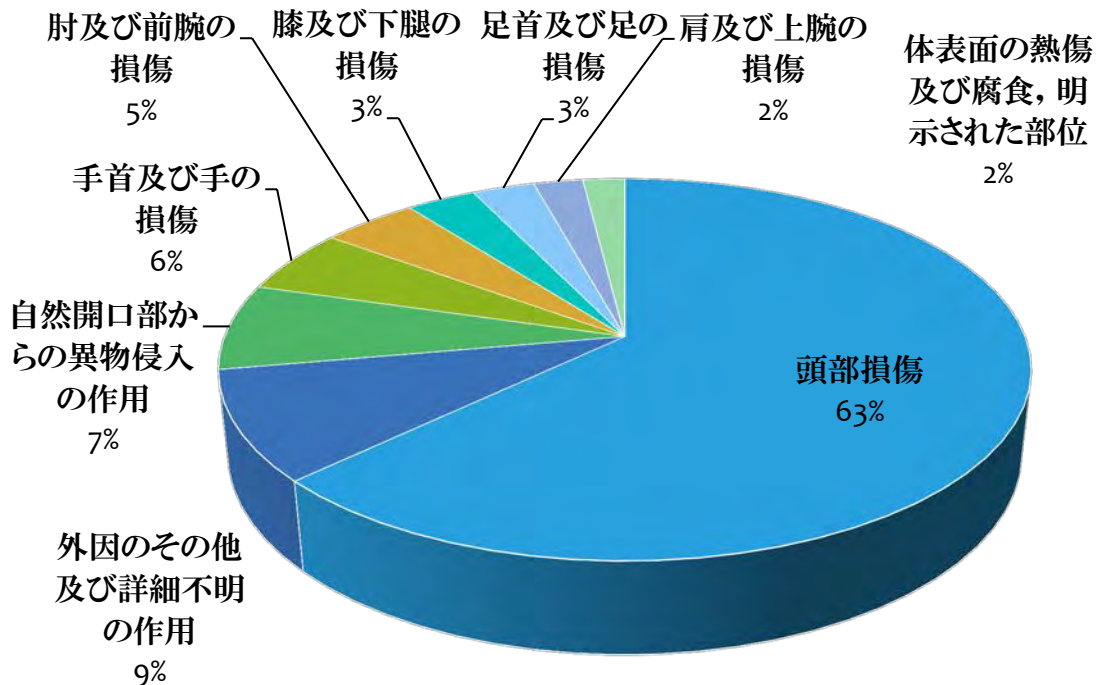


こどものケガの原因

こどもは、家の中で走ったり、遊んでいるときに転落や転倒し、家具などに頭部をぶつけてケガをすることが多く見受けられます。

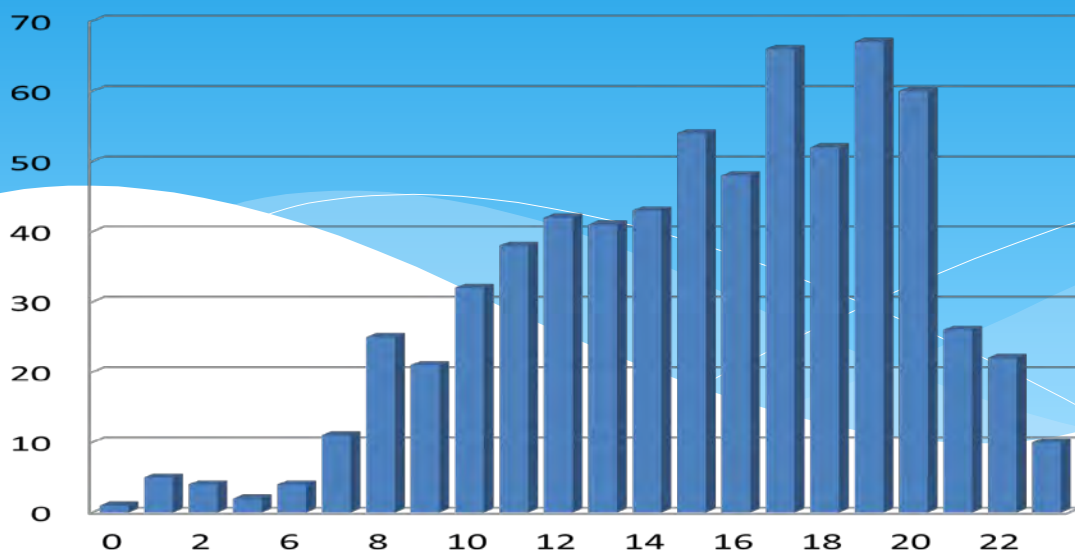


こどものケガの負傷部位

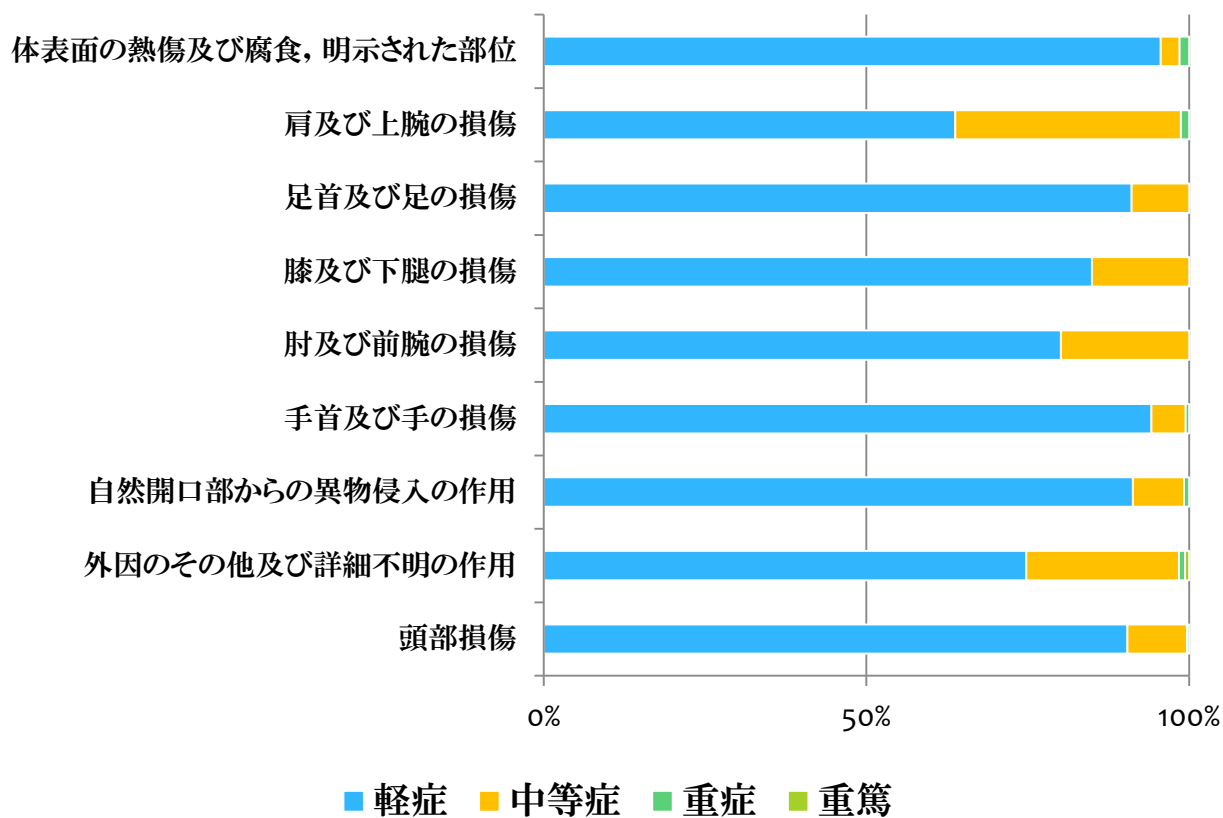


救急要請の時間帯

夕方から夜にかけての救急要請が多くなっています。



こどものケガの傷病程度



こどものケガ事例 1

家の中を走りまわっていて、つまずいて転倒し、家具に頭部をぶつける。

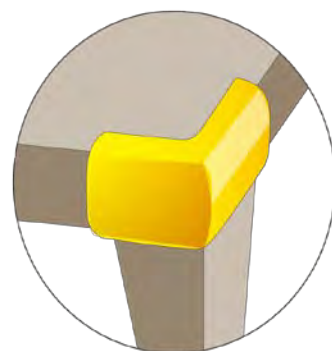


予防対策

クッションを貼る

家具の配置は、ぶつかる危険のある場所を避けた配置を心がけましょう。

また、家具のとがった部分には、クッションを貼りましょう。



こどものケガ事例 2

- ベッドの上で飛び跳ねていて、反動で転落し、床に頭部をぶつける。
- 椅子の上で立って遊んでいて、バランスを崩し転倒。床に置いてあったおもちゃで頭部をケガする。



予防対策

バランスの悪い物には上らない

椅子の上に立つとバランスを崩しやすいので、上らないようにしましょう。

こどものケガ事例 3

- ・灰皿にあったタバコの吸い殻を食べていた。
- ・鼻にビー玉を入れて取れなくなった。
- ・キッチンタイマーのボタン電池を飲み込んだ。



予防対策

周囲の方が注意

乳幼児は、好奇心で物を飲み込んだり、鼻や耳に入れたりします。周囲の方は日ごろから十分注意してください。



こどものケガ事例 4

テーブルの上にあった味噌汁をひっくり返し、やけどをした。



予防対策

周囲の方が注意

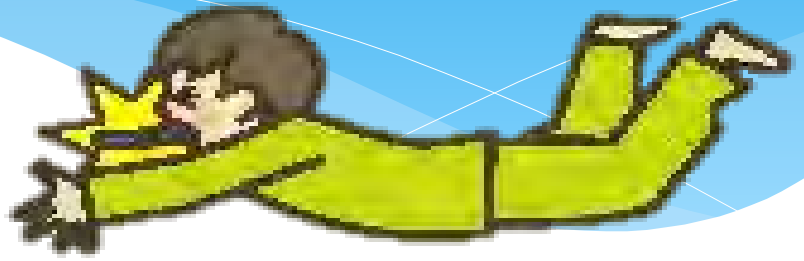
食事中のテーブルには様々な高温の料理が並ぶことがあります。

熱いものなどは、テーブルの中央に置くなど、子どもの手の届かないところに置くことを心がけましょう。



こどものケガ事例 5

歯を磨いている時に転倒し、口腔内をケガする。



予防対策

周囲の方が注意

子どもが口に割り箸や歯ブラシなどを加えて歩行しないように注意しましょう。



救急受診ガイド（8ページ～15ページ）

「病院に行った方がいいのか」、「救急車を呼んだ方がいいか」などで迷った時にご利用ください。

救急受診ガイドの使い方

- ① 各ページの該当する項目を見て、該当するセルの色で判断をします。
- ② それぞれの基準は、次のとおりです。

緊急度の判断について

赤

『救急車を呼びましょう』

緊急度が高いと思われます。
今すぐに119番に電話しましょう。

黄

『今すぐに医療機関を受診しましょう』

2時間以内をめやすに病院に行かれた方が
良いでしょう。

緑

『医療機関を受診しましょう』

緊急ではありませんが、受診した方が良いでしょう。
夜間でしたら、翌日の診察でも構いません。



すべての項目に該当しない場合

継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。

何か固形物を飲み込んだ

(主な症状):「何か固形物を飲み込んだ」「食べ物などがのどにつかえた」
「のどにひっかかっている・取れない」など

症状	はい	選定科の例
1. せきが出ている。	■	
2. いつも通りの息ができない。	■	
3. のど、または、胸が激しく痛む。	■	
4. 血を吐いた。	■	
5. 飲んだものに毒性がありそうだ。	■	
6. とがったものを飲んだようだ。(針、くぎ、びょう、ガラス、錠剤のシートなど)	■	
7. のどの異物が取れない。	■	外科系
8. 吐いた。または、吐き気がある。	■	内科系・外科系
9. おなかが痛い。	■	内科系・外科系
10. ボタン型の電池を飲んだようだ。	■	内科系・外科系
11. 飲んだものがわからない。	■	内科系・外科系
12. 1円玉より大きなものを飲んだようだ。	■	内科系・外科系
13. のどに違和感が残っている。	■	内科系・外科系
14. 何かを飲み込んだが症状はない。	■	内科系
15. 1円玉より小さなものを飲んだようだ。	■	内科系・外科系
その他		
1. 65歳以上である。	選択した緊急度を1つ上げる	
2. 15歳以下である。		
3. 妊娠している。		
4. 歩けない。		
応急手当等		
1. 3日~2週間ほど便の観察をして、飲み込んだものが出たかどうか確認してください。		
2. 2週間しても出ない、または、不安な場合は消化器科を受診しましょう。		
3. 受診するときは、何を飲んだか分かる場合は、同じものを持参するようにしましょう。		

頭・首のけが

(主な症状): 「頭をぶつけた」「落ちた」「頭から血が出た」 など

症状	はい	選定科の例
1. 数回にわたって吐いている。	はい	
2. 片側の腕があがらない。または、反対側と比べてあがりが悪い。または、腕のあがり具合に左右差がある。	はい	
3. サラサラした液体が鼻、または、耳からポタポタと出ている。	はい	
4. 押さえても、鼻血が止まらない。または、直接ぶつけていないのに耳から血が出ている。	はい	
5. 頭からの出血が多い。または、出血をタオルやガーゼで圧迫しても止まらない。	はい	
6. 首をかしげる姿勢をとっている。または、まっすぐ体を向かせても横を向いてしまう。	はい	
7. 手足で動きにくいところがある。または、手足にしびれがある。	はい	
8. けがをした後、または、けがをした時に意識がなくなった。	はい	
9. 意識はしっかりしているが、頭が痛いと言っている。	はい	
10. めまいがする。	はい	
11. 目が見えにくかったり、ものが二重に見えたりする。	はい	
12. 1回吐き、さらに元気がない。	はい	
13. 同じことを何度も質問する。	はい	
14. 首の後ろ側をさわると痛がる。	はい	
15. 起こせば起きるが、元気がない。	いいえ	外科系
16. 頭から出血していたが今は止まった。または、タオルやガーゼで圧迫して止まっている。	いいえ	外科系
17. 38℃以上の熱がある。	いいえ	外科系
18. 1回吐いたが、その後は普通である。	いいえ	外科系
19. 大きなこぶがあるが、普段と様子に変わりはない。	いいえ	外科系
20. 普段ととくに変わった様子はない。(37℃台の熱を含む)	いいえ	外科系
21. けがをしてからすでに2日(48時間)以上経っているが心配だ	いいえ	外科系
上記のすべての項目に該当しない場合		
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮。		
応急手当等		
1. けがをしてから48時間は、できるだけ安静にしましょう。		
2. 鼻血のときは、①小鼻をつまむようにしっかり押さえ、安静にさせる、②後頭部は叩かない、③前かがみに座り、血液を飲み込まず吐き出させる、ことに注意し止血してください。		

鼻のけが・鼻出血

(主な症状)「鼻を打った」「鼻血が出る」「鼻が痛い」「鼻(の周囲)が腫れている」

症状	はい	選定科の例
1. 鼻のけがをしてから、頭痛、眼やその周囲の痛みがある。		
2. 鼻のけがをしてから、息がしづらい。または、しゃべりにくい。		
3. 鼻のけがをしてから、吐き気やおう吐がある。		
4. 鼻のけがをしてから、意識がもうろうとしている。		
5. 鼻のけがをしてから、視力障害(二重に見える、もやがかかっているように見える、見える範囲が欠けている・狭いなど見えかたの変化)がある。		
6. 鼻のけがをしてから、動きや話の様子が普段と違っている。		
7. 鼻のけがをしてから、透明の鼻水が継続して出ている。または、耳の穴から出血や透明の耳だれがある。		
8. 圧迫しても、鼻血が30分以上継続している。		
9. 鼻血が多い。(コップ1杯以上・約100cc以上)		
10. 鼻がくぼんでいる。または、曲がっている。		
11. 眼の周りが腫れている。		
12. 鼻に大きなきずがある。		
13. 最近頻繁に鼻血を繰り返していた。		内科系・外科系
14. 血は止まっている。		内科系・外科系
15. 止まりそうだが心配である。		外科系
16. 鼻の腫れがある。		外科系
17. 鼻の痛みがある。		外科系
18. 鼻に打撲痕(内出血)や小さなすり傷、切り傷がある。		外科系
19. 鼻がつまっている。		外科系
その他		
1. 65歳以上である。	選択した緊急度を1つ上げる	
2. 15歳以下である。		
3. 妊娠している。		
4. 歩けない。		
上記のすべての項目に該当しない場合		
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮。		
応急手当等		
～鼻血の応急手当～		
1. 小鼻を指でつまむようにしっかり押さえ、安静にする。		
2. 後頭部を叩いてはいけません。		
3. 前かがみに座り、血液は飲み込まずに吐き出す。		

口の中や歯の問題

(主な症状): 「口の中が痛い」「歯が折れた」
「歯が抜けた」「口、舌、唇、歯肉を切った」

症状	はい	選定科の例
1. 口の中やあごに激しい痛みがある。	■	
2. 口の中の痛みがあり、顔面がむくんでいる。	■	
3. 喉の奥、または、舌が急に腫れてきた。	■	
4. 下の歯、首、胸、肩、腕のどこかに痛みがあり、続いている。	■	
5. 口の中から出血が続いており、抗凝固薬などを服用している。	■	
6. 歯が折れたり、歯が抜けたあと、10分間押さえても血が止まらない。	■	
7. 抗凝固薬などを服用中で、歯が折れたり、歯が抜けたあとである。	■	
8. 歯痛と心臓の病気、または、糖尿病の持病がある。	■	
9. 口の中にけががある。	■	外科系
10. 口の中から出血が続いている。抗凝固薬などは服用していない。	■	外科系
11. あごが動かない、または、口が開かない、または、あごが外れている。	■	外科系
12. 歯が折れた または、抜けたあと、圧迫により血はとまっている。	■	外科系
13. 口の中やあごが腫れている。	■	外科系
14. 歯が折れたり、歯が抜けたりはしていないが、10分間押さえても血が止まらない。	■	外科系
15. けがをした部分の周囲にも強い痛みや腫れがある。	■	外科系
16. 歯が痛くて、グラグラする、または、砕けたり、ひびがはいつている。	■	外科系
17. 口の中の痛い場所は、熱をもっている。	■	内科系
18. 全身がだるい、または、調子が悪い、または、具合が悪い。	■	内科系
19. 口の中に白っぽい斑点、または、水ぶくれがある。	■	内科系
20. 口内ヘルペスや癌にかかったことがある。または、最近ウイルス感染した。または、新たに薬を飲みはじめた。	■	内科系
21. ビタミンを大量にとっている。	■	内科系
22. 最近、食生活に変化がある。	■	内科系
23. ストレスがある。	■	内科系
24. 口の中に悪臭がする。	■	内科系
25. フェニトインの服用や既往がある。	■	内科系
26. あごに強い痛みがある。	■	外科系
27. 噛むとき、口をあけたときに口の中やあごに痛みがある。	■	外科系
28. 毎日のうがいや歯磨きでも、痛みが消えない。	■	外科系
29. 歯が折れたり、歯を抜いたりしていないが、抗凝固薬などを服用している。	■	外科系
30. 歯茎・歯肉が赤く腫れている。	■	外科系
31. 舌に発疹がある。	■	外科系
32. 虫歯（う歯）がある。	■	外科系
33. 歯の揺れ、抜け、欠け、詰め物・矯正を含む歯科治療後の不具合がある。	■	外科系
34. 知覚過敏、ヒリヒリ感がある。	■	外科系
35. 喫煙者、嗜みタバコの習慣がある。	■	外科系
36. 欠けている歯がある。	■	医療機関案内
37. 歯痛があるが、日常生活の中では痛みがないときがある。	■	医療機関案内
38. 歯痛があり、歯ぐきから血がでている。	■	医療機関案内
39. 食事をするときや食後に痛みが続いている。	■	医療機関案内
その他		
1. 65歳以上である。	選択した緊急度を1つ上げる	
2. 15歳以下である。		
3. 歩けない。		
上記のすべての項目に該当しない場合		
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮。		

足(太もものつけ根から足首)の異常 (主な症状)「足が痛い」「足がつった」「足が腫れている」

症状	はい	選定科の例
1. 足の色が悪く(紫色)、強い痛みがある。	■	
2. 急に足の先の感覚が鈍くなった。	■	
3. 出血が続いている。	■	
4. 関節(股・膝)に耐えられないほどの痛みがある。	■	内科系・外科系
5. 下腿・大腿に腫れがあり、発熱や熱感がある。	■	内科系・外科系
6. 関節(股・膝)に痛みがあるが、動くことはできる。	■	内科系・外科系
7. 安静にしても、下腿・大腿に痛みがあり、冷たい。	■	外科系
8. 現在、喉の痛みがある。または、大きな病気を治療中である。(心臓病、肝臓病、腎臓病、悪性腫瘍)	■	内科系
9. 両側の足首の腫れ、または、むくみがある。	■	内科系
10. 足や足首以外にも痛みがある。	■	内科系
11. 最近、新しい薬を飲みはじめた。	■	内科系
12. しびれや痛み以外の症状が1週間以上続いている。	■	内科系
13. 最近、体重が増えた。	■	内科系
14. 体がだるい。	■	内科系
15. 足のしびれや痛みが続いている。	■	外科系
16. 足の手術をしたことがある。	■	外科系
17. 妊娠中で、突然体重が増えた。	■	医療機関案内
その他		
1. 65歳以上である。	選択した緊急度を1つ上げる	
2. 15歳以下である。		
3. 妊娠している。		
4. 歩けない。		
上記のすべての項目に該当しない場合		
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮。		
応急手当等		
～足がつった時の対処法～		
1. 足首をアキレス腱を伸ばすようにゆっくりと曲げるか、足の指を手で引っばる		
2. 膝をゆっくり伸ばしていき、ふらはぎを伸ばしていく		
3. 痛みがなくなるまで続ける		

やけど

(主な症状):「やけどした」「煙を吸った」

症状	はい	選定科の例
1. 日焼け以外で、背中、胸、顔、両足の全体をやけどした。	はい	
2. 呼吸が苦しい。	はい	
3. めまい、ふらつきがあり、歩けない。	はい	
4. 意識が「ボー」としている。	はい	
5. やけどの部位は白く痛みは感じない。	はい	
6. 強い酸性やアルカリ性（バッテリー液、洗剤など）によるやけどである。	はい	
7. 首、手、足のやけどはぐるりと一周している。（日焼け以外）	はい	
8. 眼が見えにくい。	はい	
<煙を吸ったとき>		
9. 喉の痛み、声がれ（しわがれ声）がある。	はい	
10. 顔に煤（すす）がついていたり、鼻毛は焼けて（こげて）いる。または、口の中が煤（すす）まみれである。	はい	
<雷にうたれたとき>		
11. 胸がドキドキする。または、息苦しさがある。	はい	
12. やけど以外のけががある。	はい	
13. 日焼け以外で、手のひらより大きいやけどである。	黄色	外科系
14. つよい痛みがある。	黄色	外科系
15. 手や陰部に水ぶくれができています。	黄色	外科系
16. 腫れがひどい、または、水ぶくれが大きい。（手のひら以上）	黄色	外科系
17. 水ぶくれが手のひら以上の広さで、破れている。	黄色	外科系
18. 顔面、耳、陰部、首、手、足のやけどである。（日焼け以外）	黄色	外科系
19. 水ぶくれが破れている。（手のひら以下の範囲）	黄色	外科系
20. やけどの周囲に赤み、熱っぽさ、腫（うみ）が見られる。	黄色	外科系
21. 手首、足首などの関節のやけどである。（日焼け以外）	黄色	外科系
22. 水ぶくれはないが、赤くなっている。	緑色	外科系
23. 痛みがある。	緑色	外科系
その他		
1. 65歳以上である。	選択した緊急度を1つ上げる	
2. 15歳以下である。		
3. 妊娠している。		
4. 歩けない。		
上記のすべての項目に該当しない場合		
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮。		

手足・顔面のけが

(主な症状): 「手足にけがをした」「顔をけがした」「手足が折れた」

症状	はい	選定科の例
1. 変形している。	はい	
2. 身動きができない。	はい	
3. 手足が自分で動かせない。	はい	
4. 激しい痛みがある。	はい	
5. 出血が続いている。	はい	
6. 力が入らない。	はい	
7. 手足にしびれがある。	はい	
8. ものが二重に見え、かつ、顔にけがをしている。	はい	
9. けがした手足の指先が逆の指と比べて冷たい、または、青ざめている。	はい	
10. 手足に体重をかけられない。	はい	
11. 傷の部位に近い関節が動かせない。	はい	
12. あごをけがし、口が開けられない。	はい	
13. あごをけがし、口を動かすと痛みが強くなる。	はい	
14. 骨のようなものが見える。	はい	
15. けがをしてから30分以内に痛み、腫れや変色が出現した。	はい	
16. 関節に痛みや腫れがあり十分に動かせない。	黄色	外科系
17. けがをした後、48時間経過しても、腫れや打ち身がひどい。	黄色	外科系
18. あごをけがし、歯の並びがおかしい。	黄色	外科系
19. 説明がよくできない高齢者である。	黄色	外科系
20. 数日前の傷がまた痛むようになった。または、疼痛、発赤、腫れ、熱感のどれかがある。	緑色	外科系
21. けがをしてから48時間たってから、腫れてきた、色が変わった	緑色	外科系
その他		
1. 65歳以上である。	選択した緊急度を1つ上げる	
2. 歩けない。		
3. 歩けない。		
上記のすべての項目に該当しない場合		
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮。		

救急医療情報センター・小児救急電話相談

急な病気やケガをしたときの
病院・診療所をご案内しています。

救急医療情報センター

電話 #7499

つながらない場合は
電話 045-227-7499

年中無休／24時間

夜間や休日、お子さんの急病時などの
対応について看護師による相談を行っています。

横浜市小児救急電話相談

電話 #7499

つながらない場合は
電話 045-227-7499

平日18:00～翌朝9:00

土曜13:00～翌朝9:00

日祝・年末年始9:00～翌朝9:00

夜間急病センターについて

夜間の急病で受診するときは

横浜市夜間急病センター

内科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科

電話 045-212-3535

住所 中区桜木町1-1

毎夜間／受付時間20時～24時

横浜市北部夜間急病センター

内科・小児科

電話 045-911-0088

住所 都筑区牛久保西1-23-4

毎夜間／受付時間19時30分～24時

横浜市南西部夜間急病センター

内科・小児科

電話 045-806-0921

住所 泉区中田北1-9-8

毎夜間／受付時間19時30分～24時

各区休日急患診療所について

(日曜・休日・年末年始)

施設名	受付時間	診療科目	住所 電話番号
鶴見区休日急患診療所	9時50分～15時30分	内科 小児科	鶴見区鶴見中央 3-4-22 ☎045-503-3851
神奈川区休日急患診療所	10時～16時	内科 小児科	神奈川区反町1-8-4 ☎045-317-5474
西区休日急患診療所	10時～16時	内科 小児科	西区中央1-15-18 ☎045-322-5715
中区休日急患診療所	10時～16時	内科 小児科	中区本牧町2-353 ☎045-622-6372
南区休日急患診療所	9時30分～15時30分	内科 小児科	南区宿町4-76-1 ☎045-731-2416
港南区休日急患診療所	9時45分～15時45分	内科 小児科	港南区港南中央通 7-29 ☎045-842-8806
保土ヶ谷区休日急患診療所	9時30分～15時30分	内科 小児科	保土ヶ谷区天王町 1-21 ☎045-335-5975
旭区休日急患診療所	9時30分～16時	内科 小児科	旭区二俣川1-88-16 ☎045-363-2020
磯子区休日急患診療所	10時～16時	内科 小科	磯子区滝頭2-31-6 ☎045-753-6011
金沢区休日急患診療所	9時30分～16時(内・小) 9時30分～12時(歯)	内科・歯科 小児科	金沢区金沢町48 ☎045-782-8785
港北区休日急患診療所	9時50分～15時50分	内科 小児科	港北区菊名4-4-22 ☎045-433-2311

施設名	受付時間	診療科目	住所 電話番号
緑区休日急患診療所	10時～16時	内科 小児科	緑区中山町1156-6 ☎045-937-2300
青葉区休日急患診療所	9時～12時 13時～16時	内科 小児科	青葉区藤が丘 2-20-10 ☎045-973-2707
都筑区休日急患診療所	9時30分～16時	内科 小児科	都筑区牛久保西 1-23-4 ☎045-911-0088
戸塚区休日急患診療所	9時45分～16時	内科 小児科	戸塚区原宿3-59-2 ☎045-852-6221
栄区休日急患診療所	9時30分～16時	内科 小児科	栄区公田町635-7 ☎045-893-2999
泉区休日急患診療所	9時45分～16時	内科 小児科	泉区中田北1-9-8 ☎045-801-2280
瀬谷区休日急患診療所	9時30分～16時	内科 小児科	瀬谷区橋戸1-36-1 ☎045-302-5115

その他の医療情報について

たばこ・洗剤などの誤飲の際の相談電話です。

中毒情報相談室（神奈川県医師会）

電話 045-262-4199 年中無休/24時間

大阪中毒110番

電話 072-727-2499 年中無休/24時間

精神疾患の急激な発症や症状の悪化で、早急な医療が必要な方に対する医療機関の紹介等を行っています。

精神科救急医療情報窓口

電話 045-261-7070

平日 17時～翌朝8時30分 土日祝・年末年始 24時間

平日 8時45分～17時は各区福祉保健センターにご連絡ください。

救急車が来るまでに用意しておくもの



救急車を呼ぶ際は、こんな物を用意しておく便利です。

- 保険証や診察券
- お金
- 靴
- 普段飲んでいる薬
(おくすり手帳)



乳幼児の場合

- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- ほ乳瓶
- タオル



救急車が来たら、こんなことを伝えて下さい。

- 事故や具合が悪くなった状況や救急隊が到着するまでの変化
- 行った応急手当の内容
- 具合の悪い方の情報
(持病、かかりつけの病院やクリニック、普段飲んでいる薬、医師の指示など)



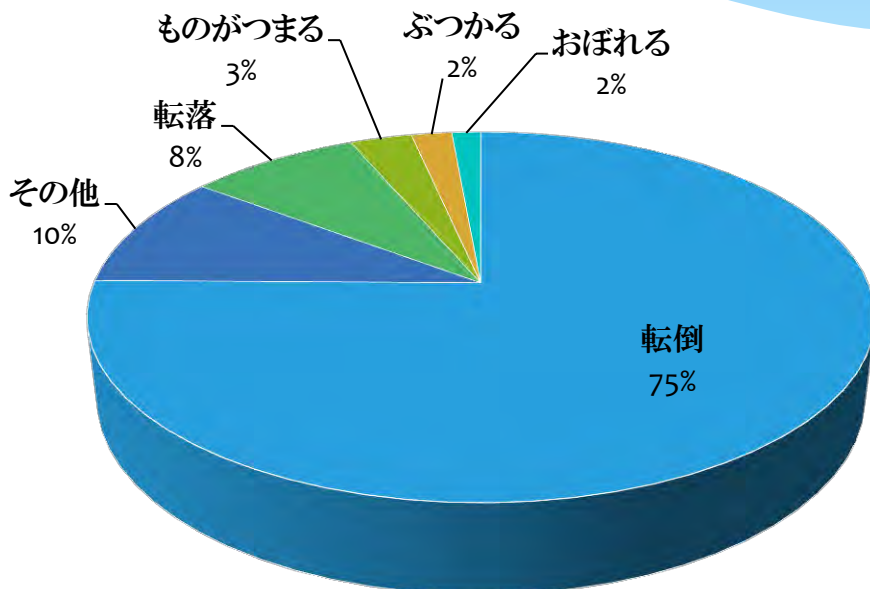
*持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、日頃からメモにまとめておく便利です。

ケガの予防対策 【高齢者編】



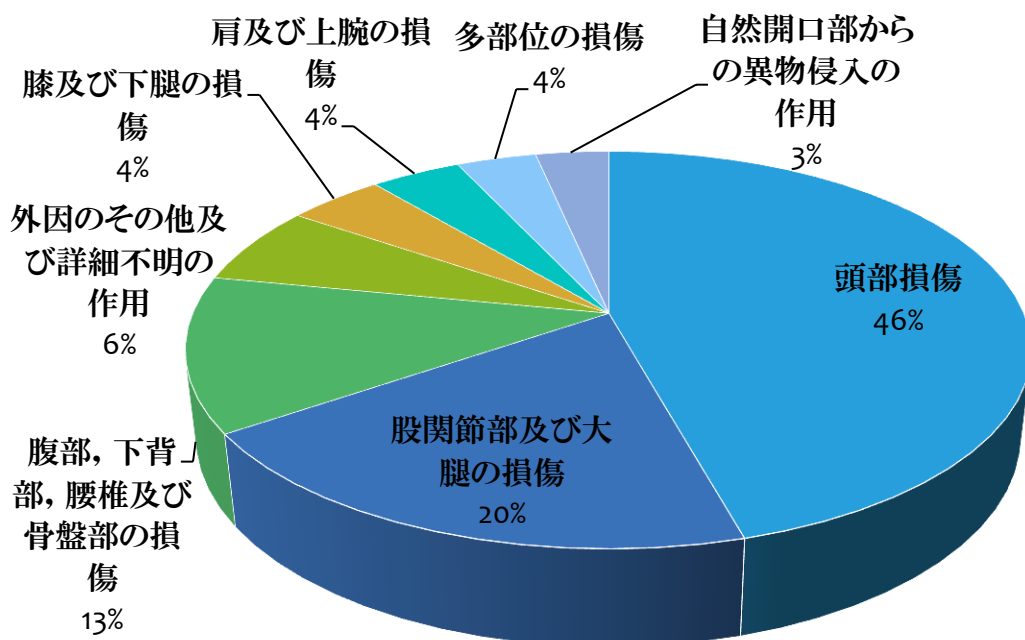
高齢者のケガの原因

高齢者は、床でつまづいたり、ベッドや椅子から立ち上がる際にバランスを崩し、頭や腰などを床にぶつけることによって、ケガをすることが多いです。



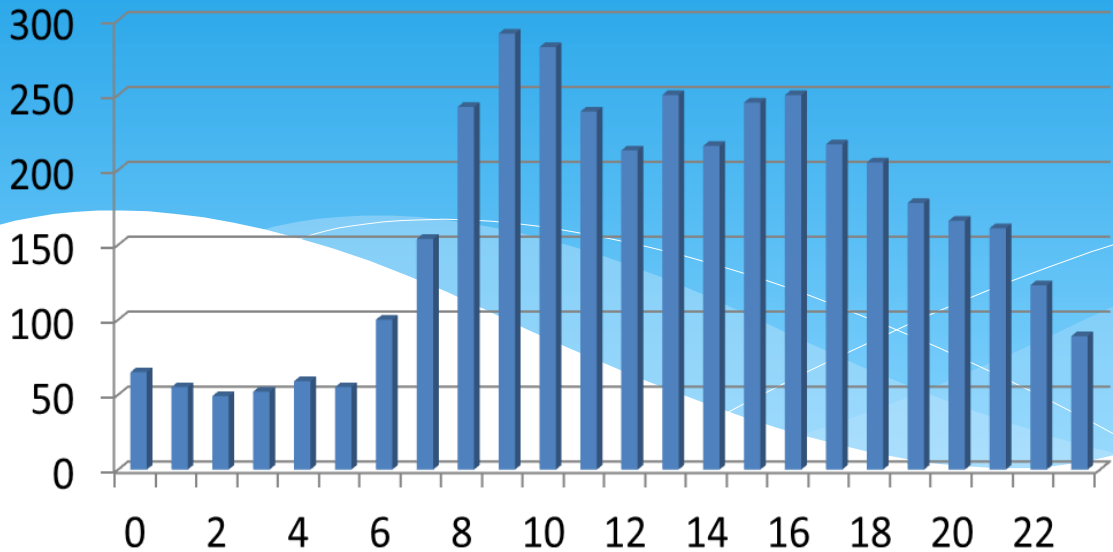
高齢者のケガの負傷部位

高齢者は、頭部のケガや股関節のけがが多いです。



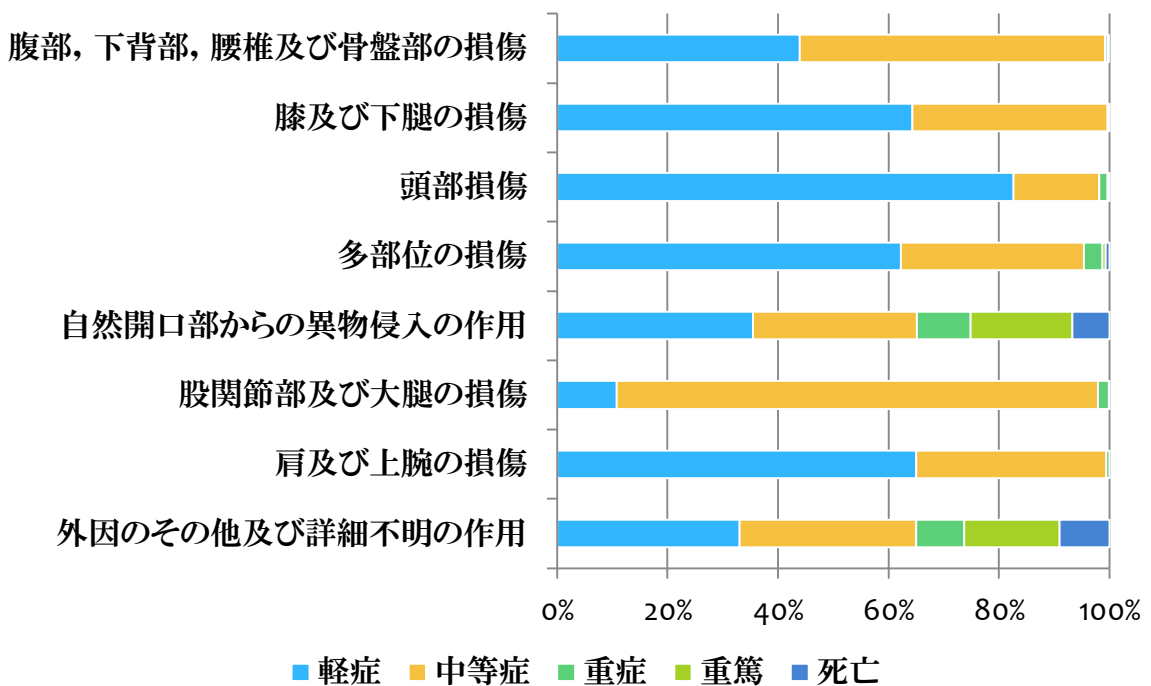
救急要請の時間帯

起床後の午前中が最も多いです。



高齢者のケガの傷病程度

重症化するケースは、「お風呂で溺れる」「食べ物がのどに詰まる」が多いです。



高齢者のケガ事例 1

トイレに行こうと、暗い部屋を移動中につま
ずいて転倒し、足の骨を折る。

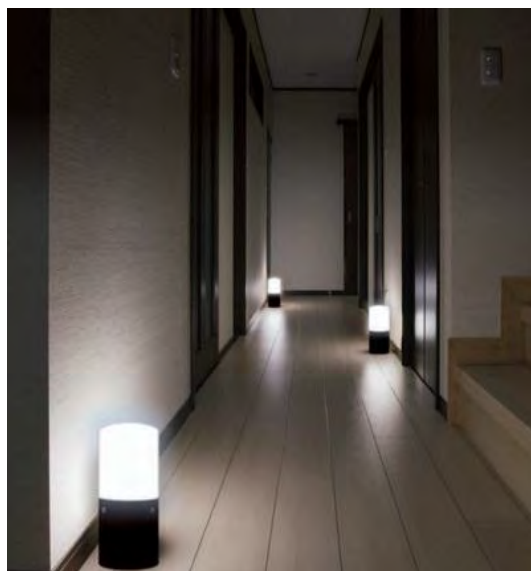


予防対策

部屋を明るく

行動するときは部屋を明るく
しましょう。

園芸用などのソーラライトは、
コンセントのないところでも使
用することができます、足元を照
らすことができます。



高齢者のケガ事例 2

床で滑って転倒し、足の骨を折る。



予防対策

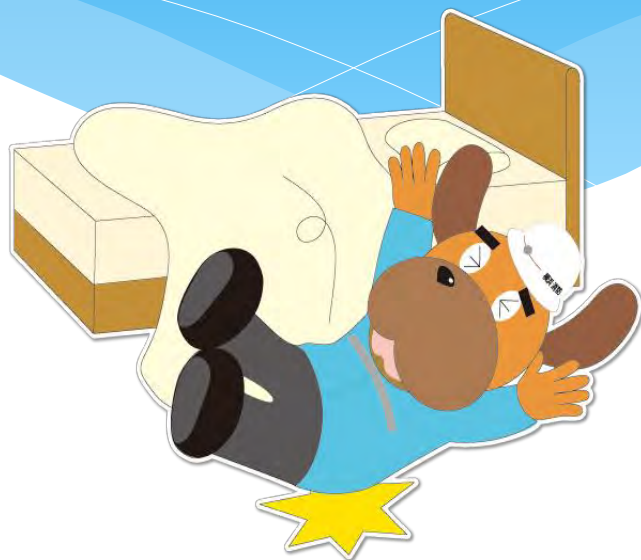
滑らない対策を

スリッパや靴下は、滑りにくいものを履きましょう。



高齢者のケガ事例 3

ベッドから起き上がろうとした時に、バランスを崩してベッドから落ち、腰の骨を折る。



予防対策

ゆっくりと行動する

姿勢を変える時などは慌てずに、ゆっくり行動しましょう。

高齢者のケガ事例 4

いつもよりも長湯なので、様子を見に行くと、浴槽内でぐったりしていた。



予防対策

こまめに様子を見に行く



寒い時期の熱いお風呂はヒートショックをおこします。持病のある人は、かかりつけの医師に相談し、入浴時の注意事項を確認しましょう。

高齢者のケガ事例 5

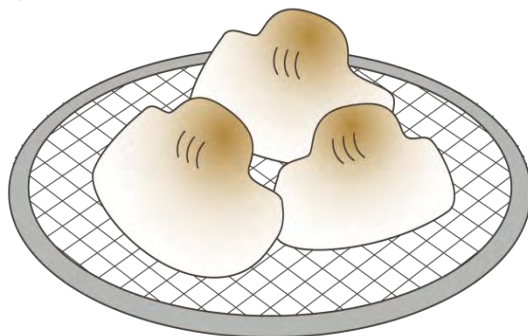
食べ物がのどにつまった。



予防対策

もちなどは小さめに

もちなど、のどにつまりやすいものは、小さめに切りましょう。



高齢者のケガ事例 6

- 蛍光灯を交換使用とし、椅子から落ちてケガをする。
- 植木の手入れをしていて、梯子から落ちる。



予防対策

バランスの悪いものには上らない

キャスター付きの椅子や、椅子の背もたれに足をかけるなど、バランスを崩しやすいので、上らないようにしましょう。



救急受診ガイド（9ページ～16ページ）

「病院に行った方がいいのか」、「救急車を呼んだ方がいいか」などで迷った時にご利用ください。

救急受診ガイドの使い方

- ① 各ページの該当する項目を見て、該当するセルの色で判断をします。
- ② それぞれの基準は、次のとおりです。

緊急度の判断について

赤

『救急車を呼びましょう』

緊急度が高いと思われます。
今すぐに119番に電話しましょう。

黄

『今すぐに医療機関を受診しましょう』

2時間以内をめやすに病院に行かれた方が
良いでしょう。

緑

『医療機関を受診しましょう』

緊急ではありませんが、受診した方が良いでしょう。
夜間でしたら、翌日の診察でも構いません。



すべての項目に該当しない場合

継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮してください。

何か固形物を飲み込んだ

(主な症状):「何か固形物を飲み込んだ」「食べ物などがのどにつかえた」「のどにひっかかっている・取れない」など

症状	はい	選定科の例
1. せきが出ている。	■	
2. いつも通りの息ができない。	■	
3. のど、または、胸が激しく痛む。	■	
4. 血を吐いた。	■	
5. 飲んだものに毒性がありそうだ。	■	
6. とがったものを飲んだようだ。(針、くぎ、びょう、ガラス、錠剤のシートなど)	■	
7. のどの異物が取れない。	■	外科系
8. 吐いた。または、吐き気がある。	■	内科系・外科系
9. おなかが痛い。	■	内科系・外科系
10. ボタン型の電池を飲んだようだ。	■	内科系・外科系
11. 飲んだものがわからない。	■	内科系・外科系
12. 1円玉より大きなものを飲んだようだ。	■	内科系・外科系
13. のどに違和感が残っている。	■	内科系・外科系
14. 何かを飲み込んだが症状はない。	■	内科系
15. 1円玉より小さなものを飲んだようだ。	■	内科系・外科系
その他		
1. 65歳以上である。	選択した緊急度を1つ上げる	
2. 15歳以下である。		
3. 妊娠している。		
4. 歩けない。		
応急手当等		
1. 3日~2週間ほど便の観察をして、飲み込んだものが出たかどうか確認してください。		
2. 2週間しても出ない、または、不安な場合は消化器科を受診しましょう。		
3. 受診するときは、何を飲んだか分かる場合は、同じものを持参するようにしましょう。		

頭のけが

(主な症状)：「頭を打った」「頭にけがをした」「頭をぶつけた」

症状	はい	選定科の例
1. 意識をなくした。	はい	
2. 嘔吐、または、吐き気がある。	はい	
3. 手足に力が入らなかったり、しびれたりする。	はい	
4. 頭を打ったことを覚えていない。	はい	
5. 頭の他にもけががある。	はい	
6. おかしなことを言ったり、反応が悪くなってきた。	はい	
7. 眼が見えにくかったり、二重に見える。	はい	
8. 頭痛がひどくなってきた。	はい	
9. フラフラしている。または、めまいがする。	はい	
10. 意識がもうろうとしてきた。	はい	
11. 元気がない。	はい	
12. 頭(頭皮)や耳(耳の穴)からの出血や鼻血がある。	はい	
13. 顔色が真っ青である。	はい	
14. けいれん(ひきつけ)があった。	はい	
15. 打ったところが痛い。または、腫れている。	はい	外科系
16. たんこぶがある。	はい	外科系
17. けがをしたことを最初から全部覚えている。または、けがの前後のことを覚えている。	はい	外科系
18. 血がにじんでいる。	はい	外科系
19. 頭を打った、ぶつけた。	はい	外科系
20. 心配である。	はい	外科系
その他		
1. 妊娠している。	選択した緊急度を1つ上げる	
2. 歩けない。		
上記のすべての項目に該当しない場合		
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮。		

鼻のけが・鼻出血

(主な症状)「鼻を打った」「鼻血が出る」
「鼻が痛い」「鼻(の周囲)が腫れている」

症状	はい	選定科の例
1. 鼻のけがをしてから、頭痛、眼やその周囲の痛みがある。		
2. 鼻のけがをしてから、息がしづらい。または、しゃべりにくい。		
3. 鼻のけがをしてから、吐き気やおう吐がある。		
4. 鼻のけがをしてから、意識がもうろうとしている。		
5. 鼻のけがをしてから、視力障害(二重に見える、もやがかかっているように見える、見える範囲が欠けている・狭いなど見えかたの変化)がある。		
6. 鼻のけがをしてから、動きや話の様子が普段と違っている。		
7. 鼻のけがをしてから、透明の鼻水が継続して出ている。または、耳の穴から出血や透明の耳だれがある。		
8. 圧迫をしても、鼻血が30分以上継続している。		
9. 鼻血が多い。(コップ1杯以上・約100cc以上)		
10. 鼻がくぼんでいる。または、曲がっている。		
11. 眼の周りが腫れている。		
12. 鼻に大きなきずがある。		
13. 最近頻繁に鼻血を繰り返していた。		内科系・外科系
14. 血は止まっている。		内科系・外科系
15. 止まりそうだが心配である。		外科系
16. 鼻の腫れがある。		外科系
17. 鼻の痛みがある。		外科系
18. 鼻に打撲痕(内出血)や小さな擦り傷、切り傷がある。		外科系
19. 鼻がつまっている。		外科系
その他		
1. 65歳以上である。	選択した緊急度を1つ上げる	
2. 15歳以下である。		
3. 妊娠している。		
4. 歩けない。		
上記のすべての項目に該当しない場合		
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮。		
応急手当等		
～鼻血の応急手当～		
1. 小鼻を指でつまむようにしっかり押さえ、安静にする。		
2. 後頭部を叩いてはいけません。		
3. 前かがみに座り、血液は飲み込まずに吐き出す。		

口の中や歯の問題

(主な症状)：「口の中が痛い」「歯が折れた」「歯が抜けた」「口、舌、唇、歯肉を切った」

症状	はい	選定科の例
1. 口の中やあごに激しい痛みがある。	はい	
2. 口の中の痛みがあり、顔面がむくんでいる。	はい	
3. 喉の奥、または、舌が急に腫れてきた。	はい	
4. 下の歯、首、胸、肩、腕のどこかに痛みがあり、続いている。	はい	
5. 口の中から出血が続いており、抗凝固薬などを服用している。	はい	
6. 歯が折れたり、歯が抜けたあと、10分間押さえても血が止まらない。	はい	
7. 抗凝固薬などを服用中で、歯が折れたり、歯が抜けたあとである。	はい	
8. 歯痛と心臓の病気、または、糖尿病の持病がある。	はい	
9. 口の中にけががある。	いいえ	外科系
10. 口の中から出血が続いている。抗凝固薬などは服用していない。	いいえ	外科系
11. あごが動かない、または、口が開かない、または、あごが外れている。	いいえ	外科系
12. 歯が折れた または、抜けたあと、圧迫により血はとまっている。	いいえ	外科系
13. 口の中やあごが腫れている。	いいえ	外科系
14. 歯が折れたり、歯が抜けたりはしていないが、10分間押さえても血が止まらない。	いいえ	外科系
15. けがをした部分の周囲にも強い痛みや腫れがある。	いいえ	外科系
16. 歯が痛くて、グラグラする、または、砕けたり、ひびがはいっている。	いいえ	外科系
17. 口の中の痛い場所は、熱をもっている。	いいえ	内科系
18. 全身がだるい、または、調子が悪い、または、具合が悪い。	いいえ	内科系
19. 口の中に白っぽい斑点、または、水ぶくれがある。	いいえ	内科系
20. 口内ヘルペスや癌にかかったことがある。または、最近ウイルス感染した。または、新たに薬を飲みはじめた。	いいえ	内科系
21. ビタミンを大量にとっている。	いいえ	内科系
22. 最近、食生活に変化がある。	いいえ	内科系
23. ストレスがある。	いいえ	内科系
24. 口の中に悪臭がする。	いいえ	内科系
25. フェニトインの服用や既往がある。	いいえ	内科系
26. あごに強い痛みがある。	いいえ	外科系
27. 噛むとき、口をあけたときに口の中やあごに痛みがある。	いいえ	外科系
28. 毎日のうがいや歯磨きでも、痛みが消えない。	いいえ	外科系
29. 歯が折れたり、歯を抜いたりしていないが、抗凝固薬などを服用している。	いいえ	外科系
30. 歯茎・歯肉が赤く腫れている。	いいえ	外科系
31. 舌に発疹がある。	いいえ	外科系
32. 虫歯（う歯）がある。	いいえ	外科系
33. 歯の揺れ、抜け、欠け、詰め物・矯正を含む歯科治療後の不具合がある。	いいえ	外科系
34. 知覚過敏、ヒリヒリ感がある。	いいえ	外科系
35. 喫煙者、噛みタバコの習慣がある。	いいえ	外科系
36. 欠けている歯がある。	いいえ	医療機関案内
37. 歯痛があるが、日常生活の中では痛みがないときがある。	いいえ	医療機関案内
38. 歯痛があり、歯ぐきから血がでてくる。	いいえ	医療機関案内
39. 食事をするときや食後に痛みが続いている。	いいえ	医療機関案内
その他		
1. 65歳以上である。	選択した緊急度を1つ上げる	
2. 15歳以下である。		
3. 歩けない。		
上記のすべての項目に該当しない場合		
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮。		

足(太もものつけ根から足首)の異常

(主な症状)「足が痛い」「足がつった」「足が腫れている」

症状	はい	選定科の例
1. 足の色が悪く(紫色)、強い痛みがある。	■	
2. 急に足の先の感覚が鈍くなった。	■	
3. 出血が続いている。	■	
4. 関節(股・膝)に耐えられないほどの痛みがある。	■	内科系・外科系
5. 下腿・大腿に腫れがあり、発熱や熱感がある。	■	内科系・外科系
6. 関節(股・膝)に痛みがあるが、動くことはできる。	■	内科系・外科系
7. 安静にしても、下腿・大腿に痛みがあり、冷たい。	■	外科系
8. 現在、喉の痛みがある。または、大きな病気を治療中である。(心臓病、肝臓病、腎臓病、悪性腫瘍)	■	内科系
9. 両側の足首の腫れ、または、むくみがある。	■	内科系
10. 足や足首以外にも痛みがある。	■	内科系
11. 最近、新しい薬を飲みはじめた。	■	内科系
12. しびれや痛み以外の症状が1週間以上続いている。	■	内科系
13. 最近、体重が増えた。	■	内科系
14. 体がだるい。	■	内科系
15. 足のしびれや痛みが続いている。	■	外科系
16. 足の手術をしたことがある。	■	外科系
17. 妊娠中で、突然体重が増えた。	■	医療機関案内
その他		
1. 65歳以上である。	■	選択した緊急度を1つ上げる
2. 15歳以下である。		
3. 妊娠している。		
4. 歩けない。		
上記のすべての項目に該当しない場合		
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮。		
応急手当等		
～足がつった時の対処法～		
1. 足首をアキレス腱を伸ばすようにゆっくりと曲げるか、足の指を手で引っばる		
2. 膝をゆっくり伸ばしていき、ふくらはぎを伸ばしていく		
3. 痛みがなくなるまで続ける		

やけど

(主な症状): 「やけどした」「煙を吸った」

症状	はい	選定科の例
1. 日焼け以外で、背中、胸、顔、両足の全体をやけどした。	■	
2. 呼吸が苦しい。	■	
3. めまい、ふらつきがあり、歩けない。	■	
4. 意識が「ボー」としている。	■	
5. やけどの部位は白く痛みは感じない。	■	
6. 強い酸性やアルカリ性（バッテリー液、洗剤など）によるやけどである。	■	
7. 首、手、足のやけどはぐるりと一周している。（日焼け以外）	■	
8. 眼が見えにくい。	■	
<煙を吸ったとき>		
9. 喉の痛み、声がれ（しわがれ声）がある。	■	
10. 顔に煤（すす）がついていたり、鼻毛は焼けて（こげて）いる。または、口の中が煤（すす）まみれである。	■	
<雷にうたれたとき>		
11. 胸がドキドキする。または、息苦しさがある。	■	
12. やけど以外のけががある。	■	
13. 日焼け以外で、手のひらより大きいやけどである。	■	外科系
14. つよい痛みがある。	■	外科系
15. 手や陰部に水ぶくれができています。	■	外科系
16. 腫れがひどい、または、水ぶくれが大きい。（手のひら以上）	■	外科系
17. 水ぶくれが手のひら以上の広さで、破れている。	■	外科系
18. 顔面、耳、陰部、首、手、足のやけどである。（日焼け以外）	■	外科系
19. 水ぶくれが破れている。（手のひら以下の範囲）	■	外科系
20. やけどの周囲に赤み、熱っぽさ、腫（うみ）が見られる。	■	外科系
21. 手首、足首などの関節のやけどである。（日焼け以外）	■	外科系
22. 水ぶくれはないが、赤くなっている。	■	外科系
23. 痛みがある。	■	外科系
その他		
1. 65歳以上である。	■	選択した緊急度を1つ上げる
2. 15歳以下である。		
3. 妊娠している。		
4. 歩けない。		
上記のすべての項目に該当しない場合		
継続的に様子をみて、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮。		

手足・顔面のけが

(主な症状)：「手足にけがをした」「顔をけがした」「手足が折れた」

症状	はい	選定科の例
1. 変形している。	■	
2. 身動きができない。	■	
3. 手足が自分で動かせない。	■	
4. 激しい痛みがある。	■	
5. 出血が続いている。	■	
6. 力が入らない。	■	
7. 手足にしびれがある。	■	
8. ものが二重に見え、かつ、顔にけがをしている。	■	
9. けがした手足の指先が逆の指と比べて冷たい、または、青ざめている。	■	
10. 手足に体重をかけられない。	■	
11. 傷の部位に近い関節が動かせない。	■	
12. あごをけがし、口が開けられない。	■	
13. あごをけがし、口を動かすと痛みが強くなる。	■	
14. 骨のようなものが見える。	■	
15. けがをしてから30分以内に痛み、腫れや変色が出現した。	■	
16. 関節に痛みや腫れがあり十分に動かせない。	■	外科系
17. けがをした後、48時間経過しても、腫れや打ち身がひどい。	■	外科系
18. あごをけがし、歯の並びがおかしい。	■	外科系
19. 説明がよくできない高齢者である。	■	外科系
20. 数日前の傷がまた痛むようになった。または、疼痛、発赤、腫れ、熱感のどれかがある。	■	外科系
21. けがをしてから48時間たってから、腫れてきた、色が変わった	■	外科系
その他		
1. 65歳以上である。	選択した緊急度を1つ上げる	
2. 歩けない。		
3. 歩けない。		
上記のすべての項目に該当しない場合		
継続的に様子を見て、症状が悪化した場合、変わらずに続く場合、他の症状が出現した場合は、医療機関の受診を考慮。		

救急医療情報センター・小児救急電話相談

急な病気やケガをしたときの
病院・診療所をご案内しています。

救急医療情報センター

電話 #7499

つながらない場合は
電話 045-227-7499

年中無休／24時間

夜間や休日、お子さんの急病時などの
対応について看護師による相談を行っています。

横浜市小児救急電話相談

電話 #7499

つながらない場合は
電話 045-227-7499

平日18:00～翌朝9:00

土曜13:00～翌朝9:00

日祝・年末年始9:00～翌朝9:00

夜間急病センターについて

夜間の急病で受診するときは

横浜市夜間急病センター

内科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科

電話 045-212-3535

住所 中区桜木町1-1

毎夜間／受付時間20時～24時

横浜市北部夜間急病センター

内科・小児科

電話 045-911-0088

住所 都筑区牛久保西1-23-4

毎夜間／受付時間19時30分～24時

横浜市南西部夜間急病センター

内科・小児科

電話 045-806-0921

住所 泉区中田北1-9-8

毎夜間／受付時間19時30分～24時

各区休日急患診療所について

(日曜・休日・年末年始)

施設名	受付時間	診療科目	住所 電話番号
鶴見区休日急患診療所	9時50分～15時30分	内科 小児科	鶴見区鶴見中央3-4-22 ☎045-503-3851
神奈川区休日急患診療所	10時～16時	内科 小児科	神奈川区反町1-8-4 ☎045-317-5474
西区休日急患診療所	10時～16時	内科 小児科	西区中央1-15-18 ☎045-322-5715
中区休日急患診療所	10時～16時	内科 小児科	中区本牧町2-353 ☎045-622-6372
南区休日急患診療所	9時30分～15時30分	内科 小児科	南区宿町4-76-1 ☎045-731-2416
港南区休日急患診療所	9時45分～15時45分	内科 小児科	港南区港南中央通7-29 ☎045-842-8806
保土ヶ谷区休日急患診療所	9時30分～15時30分	内科 小児科	保土ヶ谷区天王町1-21 ☎045-335-5975
旭区休日急患診療所	9時30分～16時	内科 小児科	旭区二俣川1-88-16 ☎045-363-2020
磯子区休日急患診療所	10時～16時	内科 小児科	磯子区滝頭2-31-6 ☎045-753-6011
金沢区休日急患診療所	9時30分～16時(内・小) 9時30分～12時(歯)	内科・歯科 小児科	金沢区金沢町48 ☎045-782-8785
港北区休日急患診療所	9時50分～15時50分	内科 小児科	港北区菊名4-4-22 ☎045-433-2311

施設名	受付時間	診療科目	住所 電話番号
緑区休日急患診療所	10時～16時	内科 小児科	緑区中山町1156-6 ☎045-937-2300
青葉区休日急患診療所	9時～12時 13時～16時	内科 小児科	青葉区藤が丘2-20-10 ☎045-973-2707
都筑区休日急患診療所	9時30分～16時	内科 小児科	都筑区牛久保西1-23-4 ☎045-911-0088
戸塚区休日急患診療所	9時45分～16時	内科 小児科	戸塚区原宿3-59-2 ☎045-852-6221
栄区休日急患診療所	9時30分～16時	内科 小児科	栄区公田町635-7 ☎045-893-2999
泉区休日急患診療所	9時45分～16時	内科 小児科	泉区中田北1-9-8 ☎045-801-2280
瀬谷区休日急患診療所	9時30分～16時	内科 小児科	瀬谷区橋戸1-36-1 ☎045-302-5115

その他の医療情報について

たばこ・洗剤などの誤飲の際の相談電話です。

中毒情報相談室（神奈川県医師会）

電話 045-262-4199 年中無休/24時間

大阪中毒110番

電話 072-727-2499 年中無休/24時間

精神疾患の急激な発症や症状の悪化で、早急な医療が必要な方に対する医療機関の紹介等を行っています。

精神科救急医療情報窓口

電話 045-261-7070

平日 17時～翌朝8時30分 土日祝・年末年始 24時間

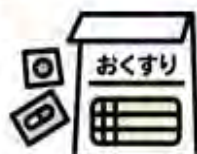
平日 8時45分～17時は各区福祉保健センターにご連絡ください。

救急車が来るまでに用意しておくもの



救急車を呼ぶ際は、こんな物を用意しておく便利です。

- 保険証や診察券
- お金
- 靴
- 普段飲んでいる薬
(おくすり手帳)



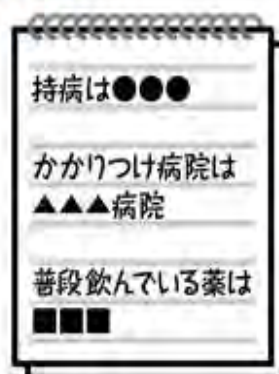
乳幼児の場合

- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- ほ乳瓶
- タオル



救急車が来たら、こんなことを伝えて下さい。

- 事故や具合が悪くなった状況や
救急隊が到着するまでの変化
- 行った応急手当の内容
- 具合の悪い方の情報
(持病、かかりつけの病院やクリニック、
普段飲んでいる薬、医師の指示など)



*持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、日頃からメモにまとめておく便利です。